

奈義町地域公共交通計画

令和6年3月

奈義町

目次

第1章 はじめに	1
1.1 計画策定の目的.....	1
1.2 計画の位置づけ.....	2
1.3 計画の区域.....	2
1.4 計画の期間.....	2
1.5 計画が対象とする「公共交通」の定義.....	2
第2章 奈義町の現状	3
2.1 位置・地勢.....	3
2.2 道路網の状況.....	4
2.3 人口・世帯状況.....	5
(1) 人口及び年齢3区分別人口の推移.....	5
(2) 地域別人口構成.....	6
(3) 世帯構成.....	8
(4) 地域別の通学人口及び将来の通学人口.....	9
2.4 移動状況(通勤・通学流動).....	10
(1) 通勤・通学流動.....	10
(2) 通勤特性.....	12
(3) 通学特性.....	12
2.5 土地利用状況.....	13
2.6 施設立地状況.....	14
(1) 施設立地状況.....	14
(2) 公共施設等.....	15
(3) 学校・幼稚園・保育園.....	17
(4) 医療施設・商業施設・金融機関.....	18
2.7 観光施設の状況.....	19
2.8 自動車運転免許の保有状況.....	21
第3章 上位・関連計画の概要	22
3.1 奈義町まちづくり総合計画.....	22
奈義町まち・ひと・しごと創生総合戦略(令和2年3月).....	22
3.2 奈義町過疎地域持続的発展市町村計画(令和3年3月).....	23
3.3 奈義町高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画(令和3年3月).....	24
第4章 奈義町における地域公共交通の現状	25

4.1 地域公共交通の概要	25
4.2 路線バス(中鉄北部バス)	26
(1) 路線バスの概要	26
(2) 路線バスの運行状況	26
(3) 路線バスの年間輸送人員の推移	29
(4) 路線バスの補助額	29
(5) 路線バスの利用状況(乗降調査)	30
4.3 市町村運営有償運送 なぎバス	33
(1) なぎバスの概要	33
(2) なぎバスの運行状況	33
(3) なぎバスの年間利用者数の推移	37
(4) なぎバスの利用状況(乗降調査)	38
4.4 さと丸乗り合い交通	43
(1) さと丸乗り合い交通の概要	43
(2) さと丸乗り合い交通の運行形態	43
(3) さと丸乗り合い交通の年間利用者数(延べ人数)の推移	47
(4) さと丸乗り合い交通の利用状況	48
4.5 なぎバス及びさと丸乗り合い交通の収支率	54
4.6 スクールバス	54
4.7 本町の公共交通への公的負担金	55
4.8 交通結節点の整備状況	56
4.9 公共交通空白地域	57
4.10 公共交通に対する住民ニーズ	59
(1) アンケート調査概要	59
(2) アンケート集計結果	59
4.11 交通事業者ヒアリング	64
第5章 地域公共交通に関する問題点と課題の整理	69
5.1 問題点の整理	69
5.2 課題の整理	70
第6章 地域公共交通の形成に向けた基本方針	71
6.1 地域公共交通のあるべき姿の整理	71
6.2 地域公共交通が目指す将来像	71
6.3 計画の基本方針	71
6.4 地域公共交通の将来イメージ	72
6.5 地域公共交通の位置づけ	73
(1) 交通手段の位置づけ	73
(2) 活用が見込まれる補助事業	73

(3) 交通結節点の位置づけ	74
第7章 基本方針を実現するための施策・事業	76
7.1 施策・事業体系	76
7.2 施策・事業の主な内容	77
第8章 基本方針の評価指標と進捗管理.....	92
8.1 基本方針の評価指標の設定	92
(1) 計画全体の評価指標.....	92
(2) 基本方針の評価指標.....	94
8.2 計画の実施及び進捗管理の体制	96
(1) 計画の実施.....	96
(2) 計画の進捗管理.....	96
資料	97

第 1 章 はじめに

1.1 計画策定の目的

本町では、現在、高齢者の通院・買い物や町内外への通勤・通学等、日常生活における移動を支える公共交通として、路線バス（中鉄北部バス）や町が運営するなぎバス、さと丸乗り合い交通、スクールバスが運行されています。公共交通の現状としては、近年の少子高齢化の進展に加え、生活スタイルの変化や自家用車への依存など、今後の利用者の減少を見据えた更なる効率的で効果的な運行や、増大する公共交通関連支出の抑制に取り組みつつ、住民の生活スタイルや利用実態などに見合った見直しが求められています。

一方、国においては平成 25 年 12 月に交通に関する基本理念や国・自治体・事業者等の責務などを定めた「交通政策基本法」が施行され、さらに、令和 2 年 11 月には「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」の一部改正が行われました。

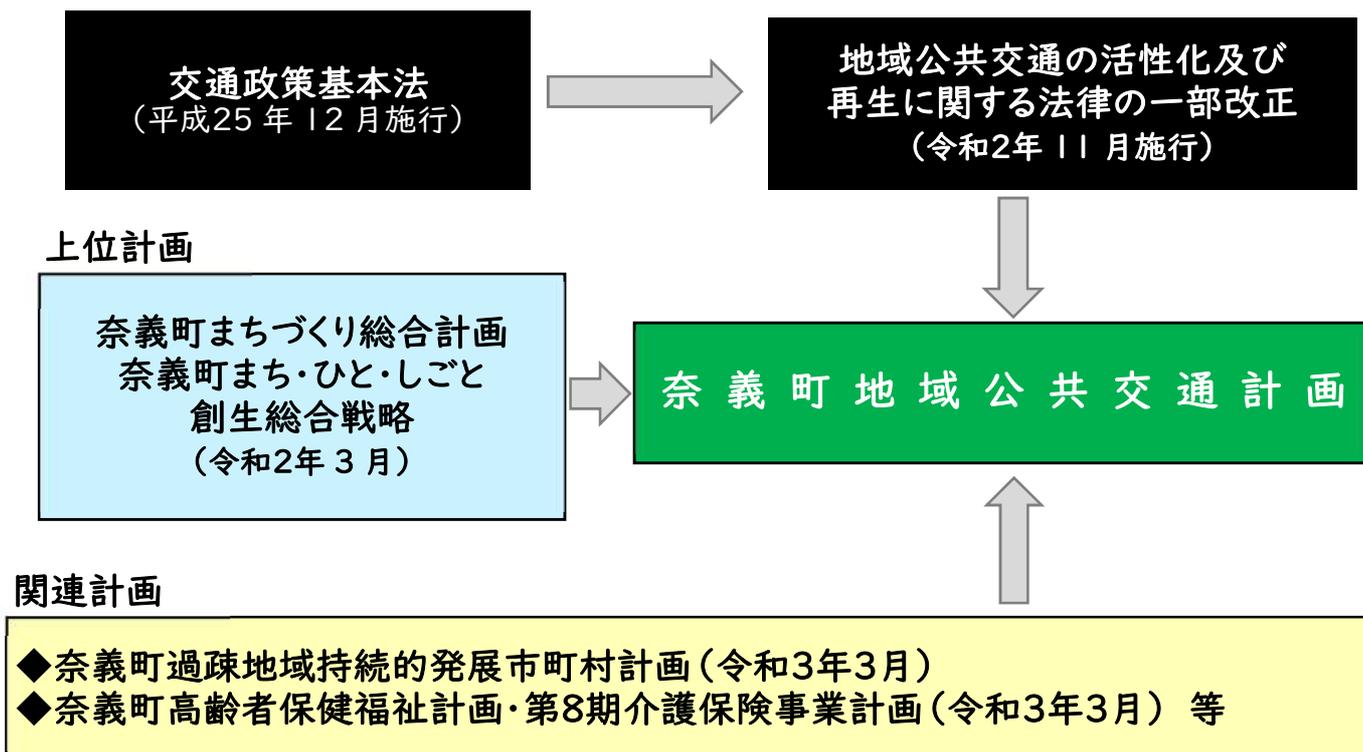
これにより、自治体为先頭に立ち、関係者との合意のもと、「地域公共交通ネットワークの形成」に加え、「地域における輸送資源を総動員」することで、持続可能な地域の旅客運送サービスの提供を確保するための基本計画となる「地域公共交通計画」の策定が努力義務化されることになりました。

こうした背景を踏まえ、本町の上位計画である「奈義町まちづくり総合計画」「奈義町まち・ひと・しごと創生総合戦略」などに基づき、町民誰もが安心して利用できる持続可能な公共交通の構築を目指し、地域が一丸となって取組を進めるため、「奈義町地域公共交通計画」を策定します。

1.2 計画の位置づけ

本計画は、「奈義町まちづくり総合計画(令和2年3月)」「奈義町まち・ひと・しごと創生総合戦略(令和2年3月)」を上位計画とし、「奈義町過疎地域持続的発展市町村計画(令和3年3月)」「奈義町高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画(令和3年3月)」等の関連計画と整合・連携を図りながら、本町における地域公共交通の方向性とその具体的な施策を示すものであり、地域公共交通政策を推進する際のマスタープランとして位置づけます。

▼計画の位置づけ



1.3 計画の区域

本計画の対象区域は、奈義町全域とします。

1.4 計画の期間

本計画の期間は、令和6(2024)年度から令和10(2028)年度までの5年間とします。

1.5 計画が対象とする「公共交通」の定義

本計画が対象とする公共交通とは、町内を運行する公共交通(路線バス、なぎバス、さと丸乗り合い交通、スクールバス)とします。

町外の公共交通(鉄道(JR 姫新線、因美線、津山線))等と連携して計画を進めていきます。

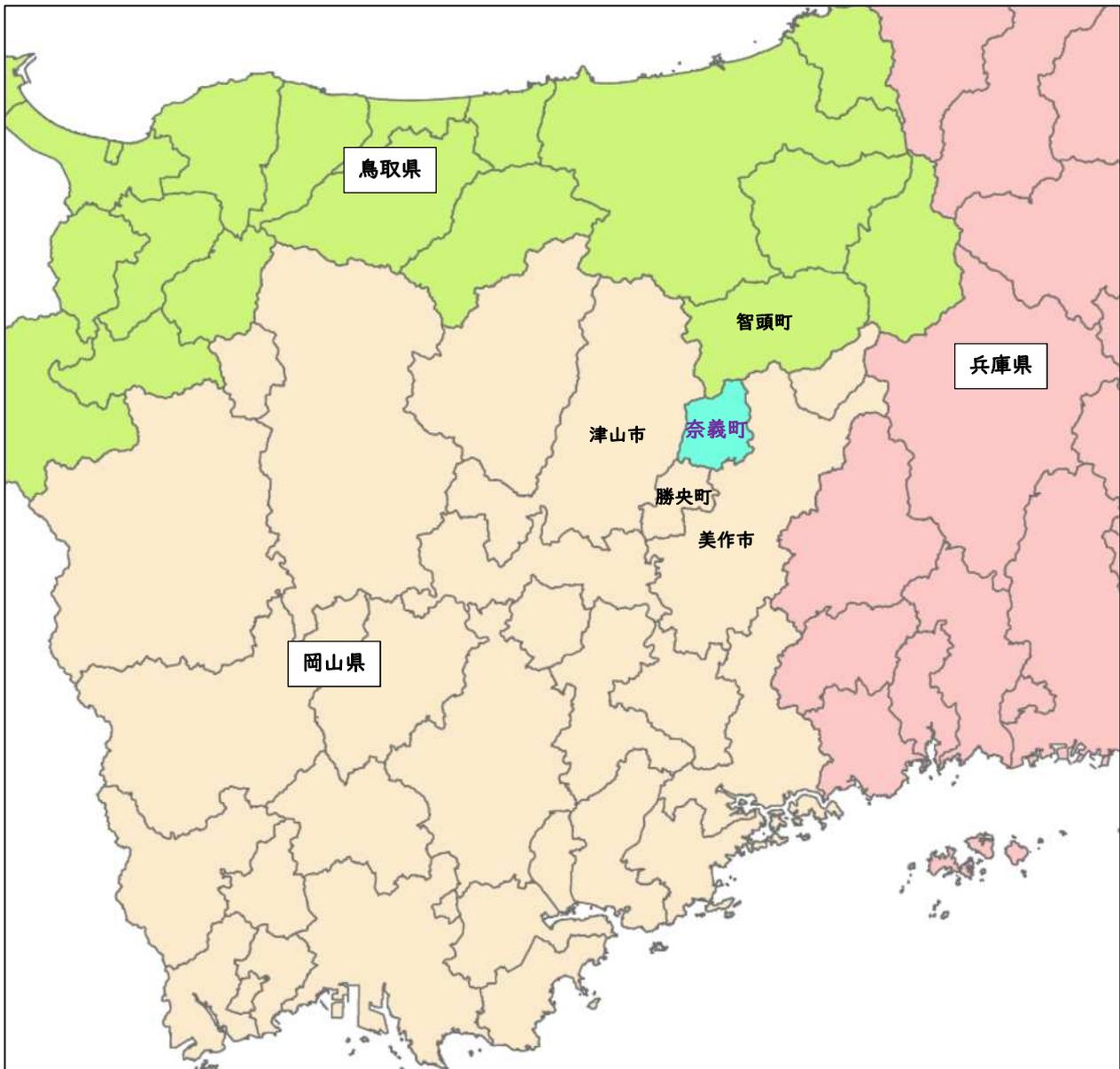
第2章 奈義町の現状

2.1 位置・地勢

本町は、岡山県東北部に位置し、東は美作市、西は津山市、南は勝央町、北に国定公園那岐山（標高1,255m）、滝山（標高1,197m）の連山の分水嶺を境として鳥取県智頭町と接しています。気候は、比較的雨が多く、那岐山麓一帯には年に1~2度局地的な暴風「広戸風」が吹くことがあります。

昭和40（1965）年の陸上自衛隊日本原駐屯地が創設されて以来、自衛隊との共存共栄を町是として、町の面積の約5分の1を占める日本原演習場の安定使用と地域住民の福祉向上を図るまちでもあります。

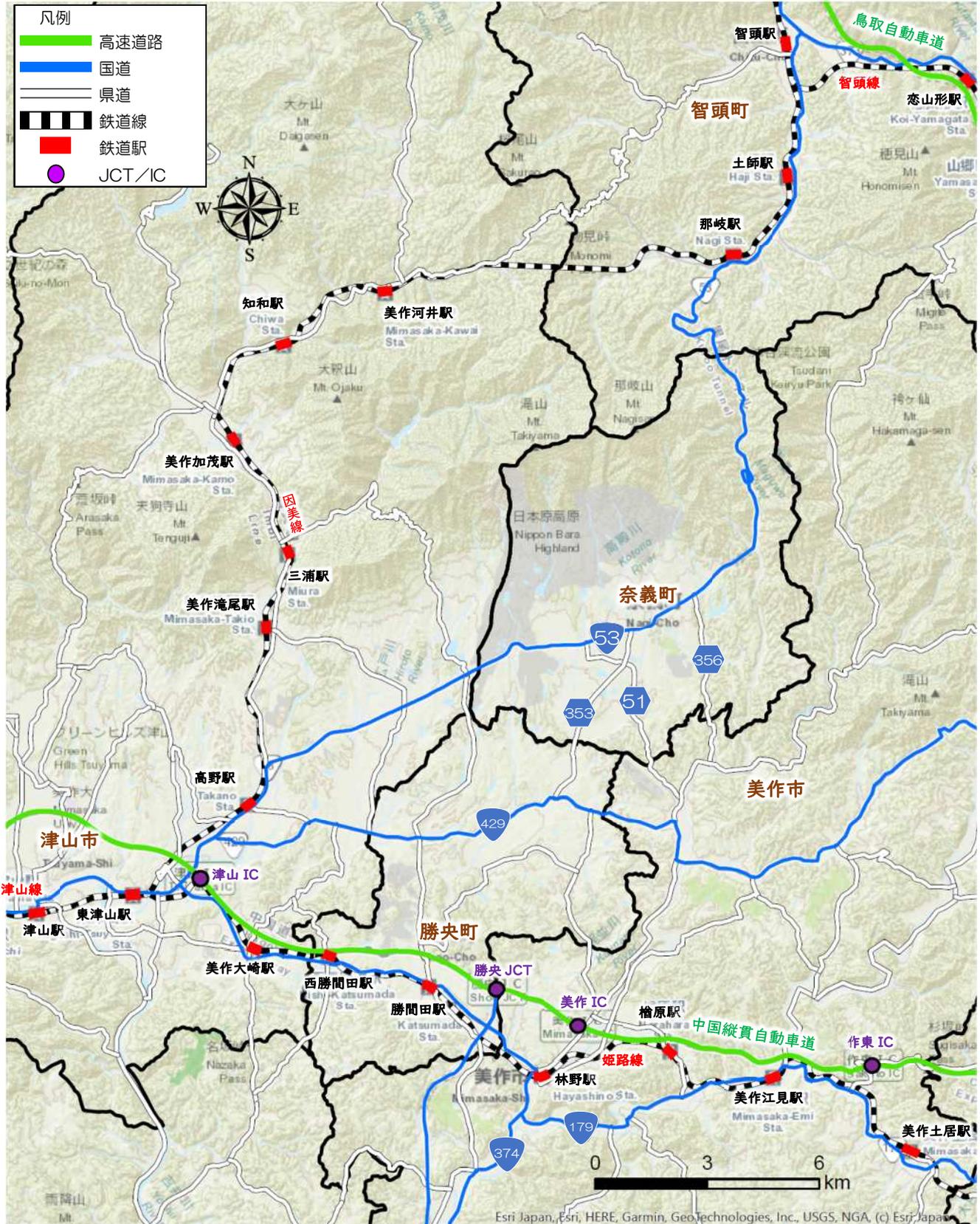
■ 本町の位置図



2.2 道路網の状況

本町内には高速道路はなく、主要道路網として国道 53 号、県道 51 号（美作奈義線）、県道 353 号（石生奈義線）、県道 356 号（行方勝田線）があり、これら国道、県道を補完するように町道等が町内の各集落を連絡するように形成されています。

■ 道路網図

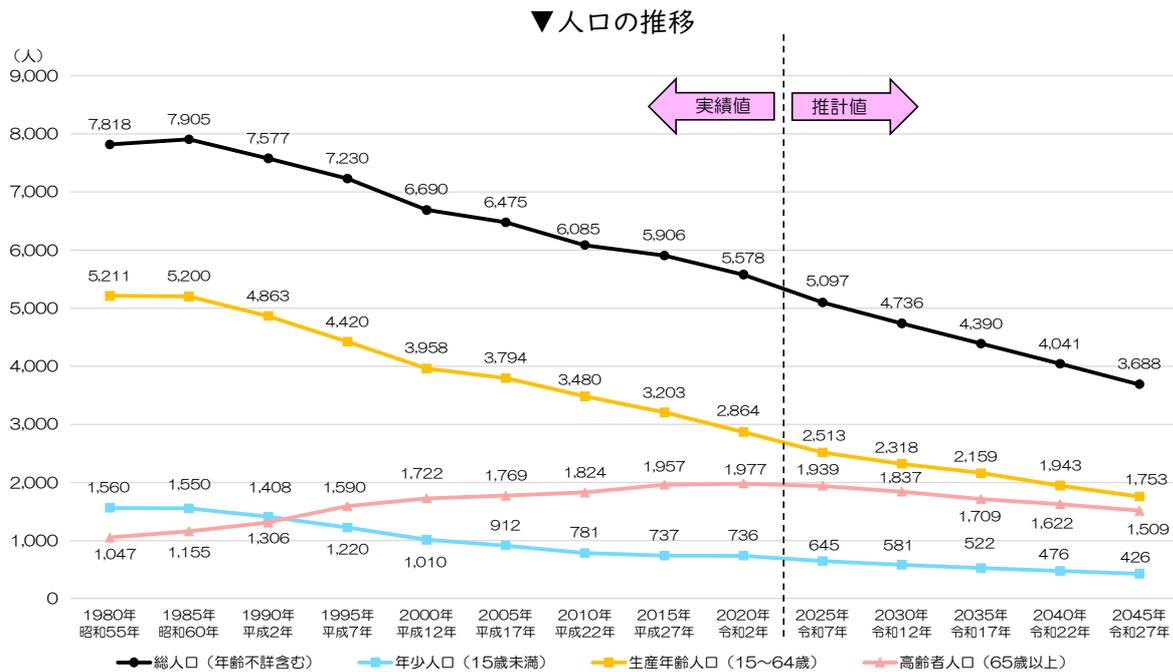


2.3 人口・世帯状況

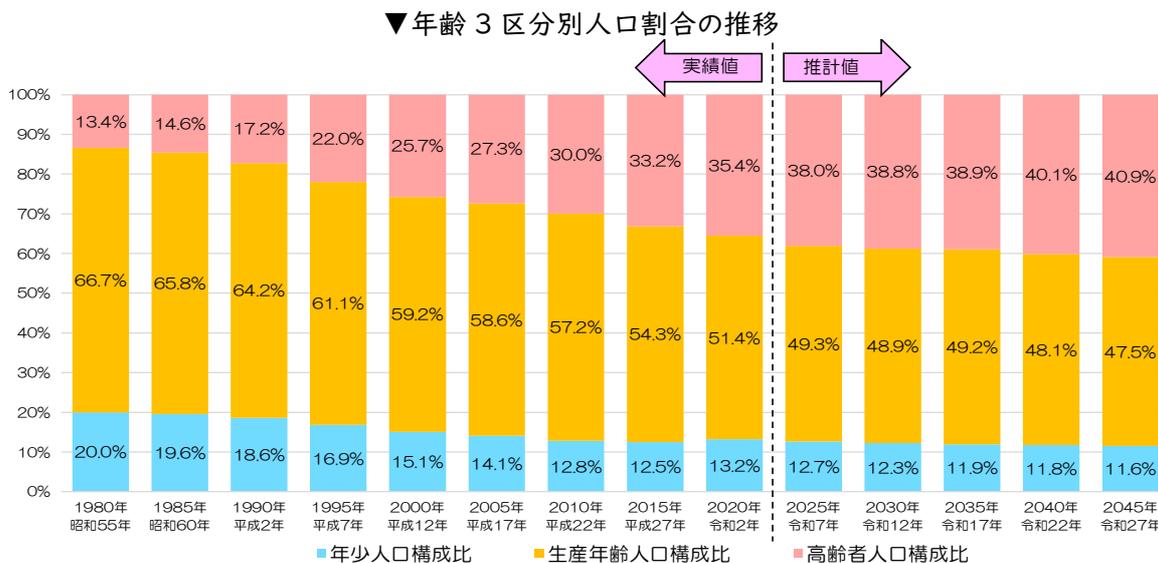
(1) 人口及び年齢3区分別人口の推移

近年の本町の総人口は、昭和60年の7,905人をピークに一貫して減少傾向にあります。平成7年には高齢者人口が年少人口を上回り、少子高齢化が進展しており、国立社会保障・人口問題研究所(社人研)による将来人口推計においても、令和27年には総人口が約3,700人程度まで減少することが予測されています。

年齢3区分別人口の割合では、年少人口、生産年齢人口の割合は減少傾向で推移し、一方、高齢者人口の割合は増加傾向で推移し、令和27年には約40.9%に達すると見込まれています。



出典:令和2年までは国勢調査、令和7年以降は国立社会保障・人口問題研究所(社人研)の「日本の地域別将来推計人口」(平成30年(2018)年推計)



出典:令和2年までは国勢調査、令和7年以降は国立社会保障・人口問題研究所(社人研)の「日本の地域別将来推計人口」(平成30年(2018)年推計)

※人口構成比は年齢「不詳」を除いて算出。

※端数処理の関係で合計が100%にならない場合がある。

(2) 地域別人口構成

人口の総数が最も多い地域は、西地域で 2,274 人となっています。

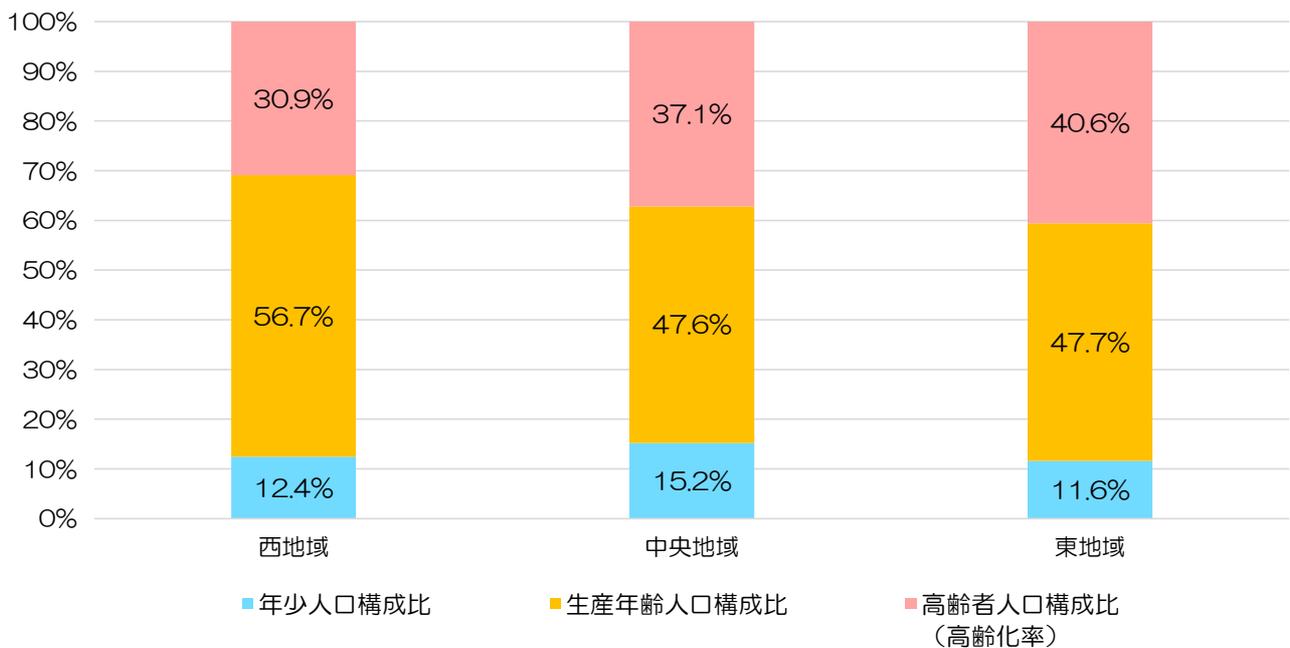
高齢者人口が最も多い地域は、中央地域で 716 人となっています。また高齢者人口構成比が最も高い地域は、東地域で 40.6%となっています。

年少人口が最も多い地域は、中央地域で 293 人となり、年少人口構成比も最も高く 15.2%となっています。

▼本町の地域別人口構成

単位：人

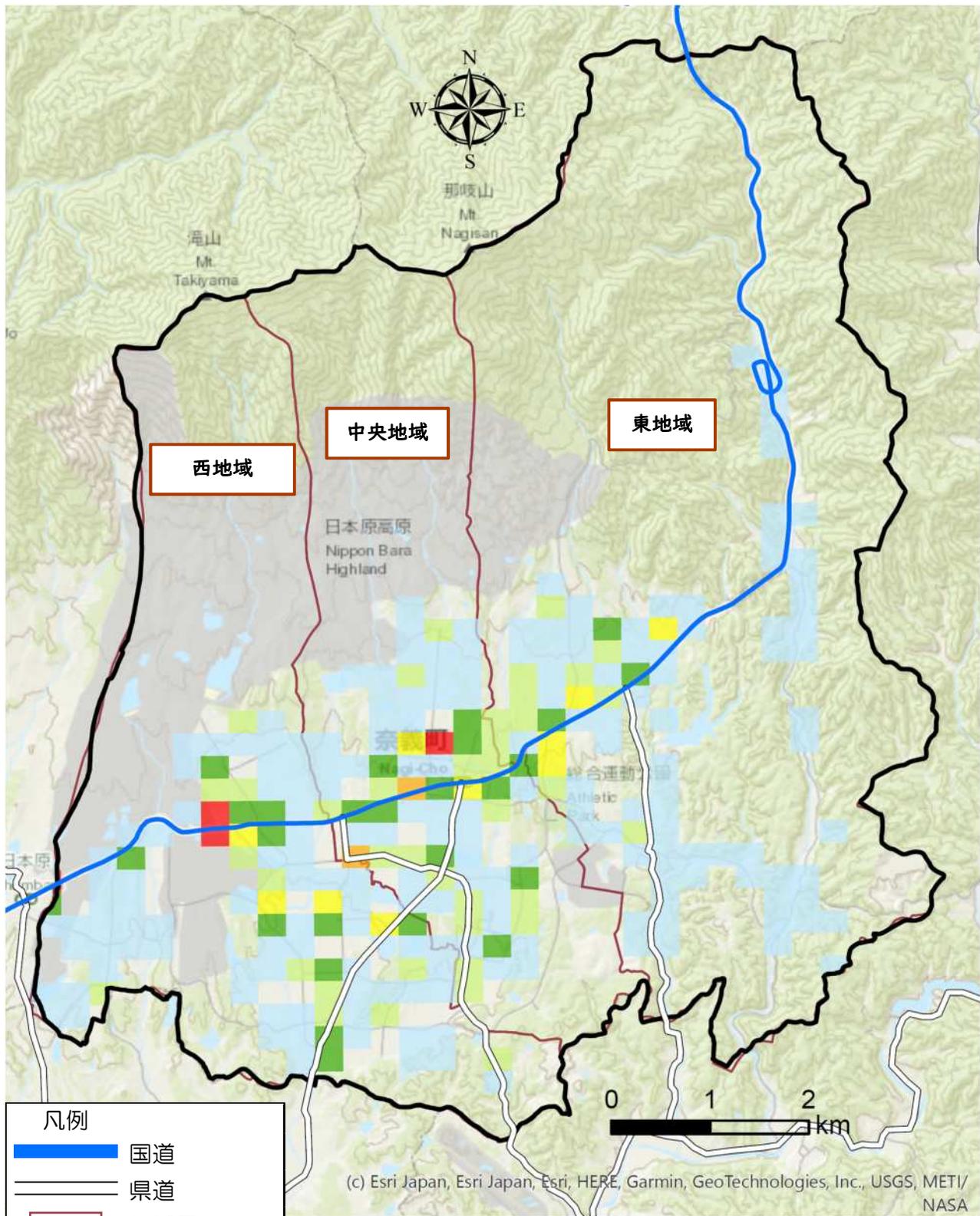
地区名	総数 (年齢「不詳」含む)	年少人口 (15歳未満)	生産年齢人口 (15~64歳)	高齢者人口 (65歳以上)	年少人口構成比	生産年齢人口構成比	高齢者人口構成比 (高齢化率)
全域	5,578	736	2,864	1,977	13.2%	51.3%	35.4%
西地域	2,274	283	1,289	702	12.4%	56.7%	30.9%
中央地域	1,928	293	918	716	15.2%	47.6%	37.1%
東地域	1,376	160	657	559	11.6%	47.7%	40.6%



出典：令和2年国勢調査

西地域 … 新吉野、上町川、滝本、荒内西、中島西、中島東
 中央地域… 柿、久常、広岡、豊沢、成松、宮内
 東地域 … 西原、皆木、行方、高円、関本、小坂、馬桑

■ 250mメッシュ総人口(令和2年国勢調査)の分布図



凡例	
	国道
	県道
	地域名 地域界
250mメッシュデータ	
	1-20人
	21-40人
	41-60人
	61-80人
	81-100人
	101人以上

(c) Esri Japan, Esri Japan, Esri, HERE, Garmin, GeoTechnologies, Inc., USGS, METI/NASA

出典:令和2年国勢調査 250mメッシュデータ

(3) 世帯構成

本町の一般世帯数は、1,934 世帯となっています。

一般世帯数のうち 65 歳以上の高齢者がいる世帯数の割合は、61.8% (1,195 世帯) となっています。

一般世帯数のうち 65 歳以上の高齢夫婦世帯数 (夫婦ともに 65 歳以上) の割合は、15.9% (307 世帯) となっています。

一般世帯数のうち 65 歳以上の単身者世帯数の割合は、15.1% (292 世帯) となっています。

▼世帯構成

単位：世帯

項目	総数	西地域	中央地域	東地域
一般世帯数	1,934	746	662	526
核家族世帯 (一般世帯数に占める割合)	1,137 58.8%	442 59.2%	401 60.6%	294 55.9%
3世代世帯 (一般世帯数に占める割合)	224 11.6%	82 11.0%	80 12.1%	62 11.8%
6歳未満の子どもがいる世帯数 (一般世帯数に占める割合)	206 10.7%	78 10.5%	81 12.2%	47 8.9%
65歳以上の高齢者がいる世帯数 (一般世帯数に占める割合)	1,195 61.8%	442 59.2%	408 61.6%	345 65.6%
65歳以上の高齢夫婦世帯数 (一般世帯数に占める割合)	307 15.9%	116 15.5%	98 14.8%	93 17.7%
65歳以上の単身者世帯数 (一般世帯数に占める割合)	292 15.1%	100 13.4%	101 15.3%	91 17.3%

出典：令和2年国勢調査

西地域 … 新吉野、上町川、滝本、荒内西、中島西、中島東
中央地域… 柿、久常、広岡、豊沢、成松、宮内
東地域 … 西原、皆木、行方、高円、関本、小坂、馬桑

※国勢調査における一般世帯とは、次のものをいいます。

- 1) 住居と生計を共にしている人の集まり又は一戸を構えて住んでいる単身者
ただし、これらの世帯と住居を共にする単身の住み込みの雇人については、人数に関係なく雇主の世帯に含めています。
- 2) 上記の世帯と住居を共にし、別に生計を維持している間借りの単身者又は下宿屋などに下宿している単身者
- 3) 会社・団体・商店・官公庁などの寄宿舎、独身寮などに居住している単身者

※国勢調査における核家族世帯とは、次のものをいいます。

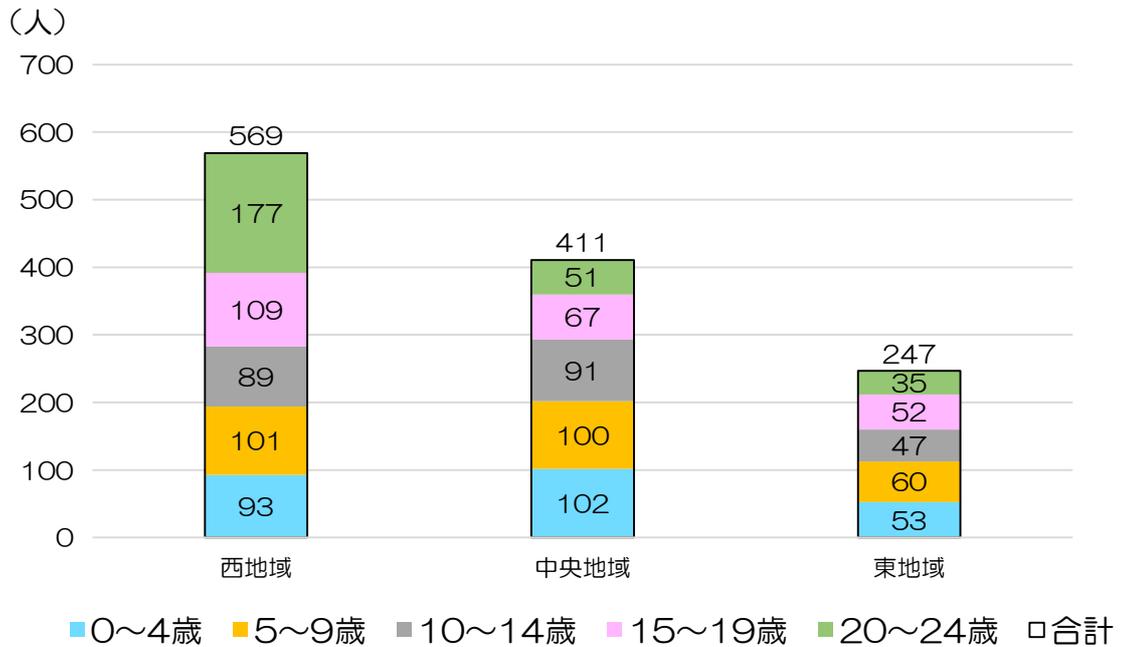
- 1) 夫婦のみの世帯
- 2) 夫婦と子供から成る世帯
- 3) 男親と子供から成る世帯
- 4) 女親と子供から成る世帯

(4) 地域別の通学人口及び将来の通学人口

通学人口である15～19歳の高校生で一番多い地域は、西地域で109人となっています。

将来の通学人口である0～4歳をみると、中央地域では102人となり、15～19歳と比べると35人増えています。西地域及び東地域において、0～4歳と15～19歳の人口を比較するとほぼ変わらない状況です。

▼地域別の通学人口及び将来の通学人口



出典：令和2年国勢調査

西地域 … 新吉野、上町川、滝本、荒内西、中島西、中島東
 中央地域… 柿、久常、広岡、豊沢、成松、宮内
 東地域 … 西原、皆木、行方、高円、関本、小坂、馬桑

2.4 移動状況(通勤・通学流動)

(1) 通勤・通学流動

町内在住の通勤者(15歳以上)・通学者(15歳以上)3,195人の従業・通学地についてみると、町内に通勤・通学している人が1,800人(56.3%)、他市町村に通勤・通学している人が1,342人(42.0%)となっています。

通勤・通学流動の流出先人口(奈義町に常住し、奈義町以外に通勤・通学する人口)が最も多いのは津山市の730人(54.4%)であり、次いで美作市の236人(17.6%)となっています。

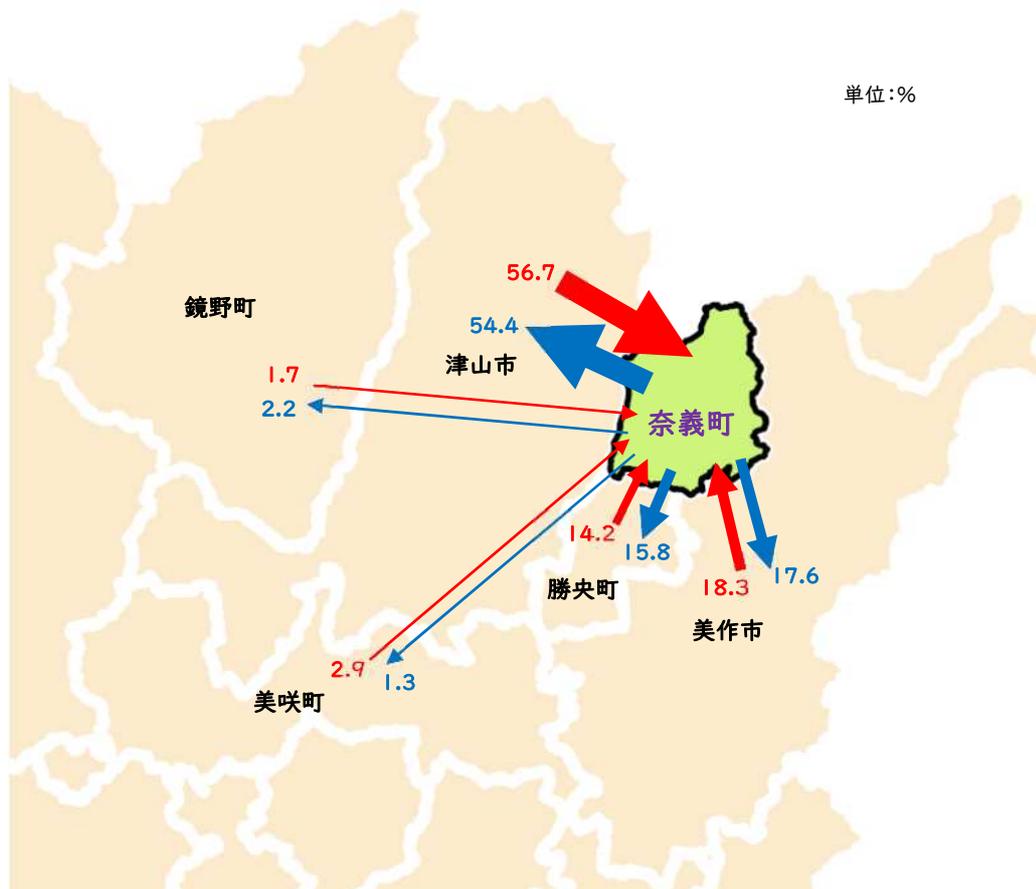
一方、流入元人口(奈義町以外に常住し、奈義町に通勤・通学する人口)が最も多いのも津山市の729人(56.7%)であり、次いで美作市の235人(18.3%)となっています。

▼通勤・通学状況

町内在住の通勤・通学の状況	人口(人)	割合		流入(人)	流出(人)	市外の流入構成比	市外の流出構成比
町内に通勤・通学	1,800	56.3%	奈義町外	1,286	1,342		
他市町村通勤・に通学	1,342	42.0%	津山市	729	730	56.7%	54.4%
不詳	53	1.7%	美作市	235	236	18.3%	17.6%
合計	3,195	100.0%	勝央町	182	212	14.2%	15.8%
			美咲町	37	18	2.9%	1.3%
			鏡野町	22	29	1.7%	2.2%
			岡山市	11	18	0.9%	1.3%
			その他市町村	70	99	5.4%	7.4%

出典:令和2年国勢調査

▼主な通勤者(15歳以上)・通学者(15歳以上)の状況【上位5市町】



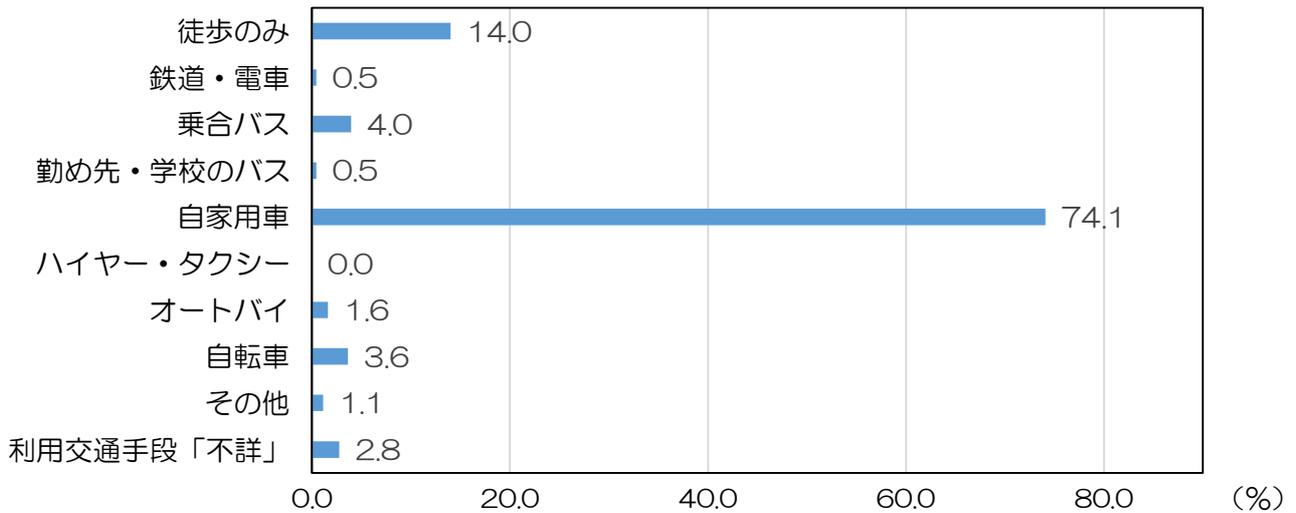
出典:令和2年国勢調査

町内在住の通勤者（15 歳以上）・通学者（15 歳以上）の移動手段で最も多いのは、自家用車で 1,966 人（74.1%）となっており、公共交通の乗合バスはこれに比べて 105 人（4.0%）と少なくなっています。

▼通勤者（15 歳以上）・通学者（15 歳以上）の移動手段

（人）

項目	自宅外の本町で従業・通学	他市区町村で従業・通学	従業地・通学地「不詳」	合計	割合（%）
総数	1,259	1,342	53	2,654	
徒歩のみ	363	7	2	372	14.0
鉄道・電車	1	11	0	12	0.5
乗合バス	4	100	1	105	4.0
勤め先・学校のバス	1	11	0	12	0.5
自家用車	781	1,172	13	1,966	74.1
ハイヤー・タクシー	0	0	0	0	0.0
オートバイ	25	17	1	43	1.6
自転車	72	23	1	96	3.6
その他	14	16	0	30	1.1
利用交通手段「不詳」	16	21	36	73	2.8



出典：令和2年国勢調査

※通勤・通学は15歳以上。自宅で従業は含まれていない（移動しないため）。

※利用交通手段については、該当する調査項目が複数回答可能であるため、内訳となる項目を足し上げても「総数」とは一致しない。

(2) 通勤特性

町内在住の通勤者（15歳以上）3,012人の従業地についてみると、町内に通勤している人が1,774人（58.9%）、他市町村に通勤している人が1,186人（39.4%）となっています。

流出先人口（奈義町に常住し、奈義町以外に通勤する人口）が最も多いのは津山市の630人（53.1%）であり、次いで美作市の222人（18.7%）、勝央町の201人（16.9%）となっています。

流入元人口（奈義町以外に常住し、奈義町に通勤する人口）が最も多いのは津山市の728人（56.7%）であり、次いで美作市の235人（18.3%）、勝央町の182人（14.2%）となっています。

▼通勤状況

町内在住の通勤の状況	人口（人）	割合	▼通勤状況				
				流入（人）	流出（人）	町外の流入 構成比	町外の流出 構成比
町内に通勤	1,774	58.9%	奈義町外	1,285	1,186		
他市町村に通勤	1,186	39.4%	津山市	728	630	56.7%	53.1%
不詳	52	1.7%	美作市	235	222	18.3%	18.7%
合計	3,012	100.0%	勝央町	182	201	14.2%	16.9%
			美咲町	37	18	2.9%	1.5%
			鏡野町	22	29	1.7%	2.4%
			その他市町村	81	86	6.3%	7.3%

出典：令和2年国勢調査

(3) 通学特性

町内在住の通学者（15歳以上）183人の通学地についてみると、町内に通学している人が26人（14.2%）、他市町村に通学している人が156人（85.2%）となっています。

流出先人口（奈義町に常住し、奈義町以外に通学する人口）が最も多いのは津山市の100人（64.1%）であり、次いで美作市の14人（9.0%）、吉勝央町の11人（7.1%）となっています。

流入元人口（奈義町以外に常住し、奈義町に通学する人口）は津山市の1人（100.0%）となっています。

▼通学状況

町内在住の通学の状況	人口（人）	割合	▼通学状況				
				流入（人）	流出（人）	町外の流入 構成比	町外の流出 構成比
町内に通学	26	14.2%	奈義町外	1	156		
他市町村に通学	156	85.2%	津山市	1	100	100.0%	64.1%
不詳	1	0.5%	美作市	0	14	0.0%	9.0%
合計	183	100.0%	勝央町	0	11	0.0%	7.1%
			その他市町村	0	31	0.0%	19.9%

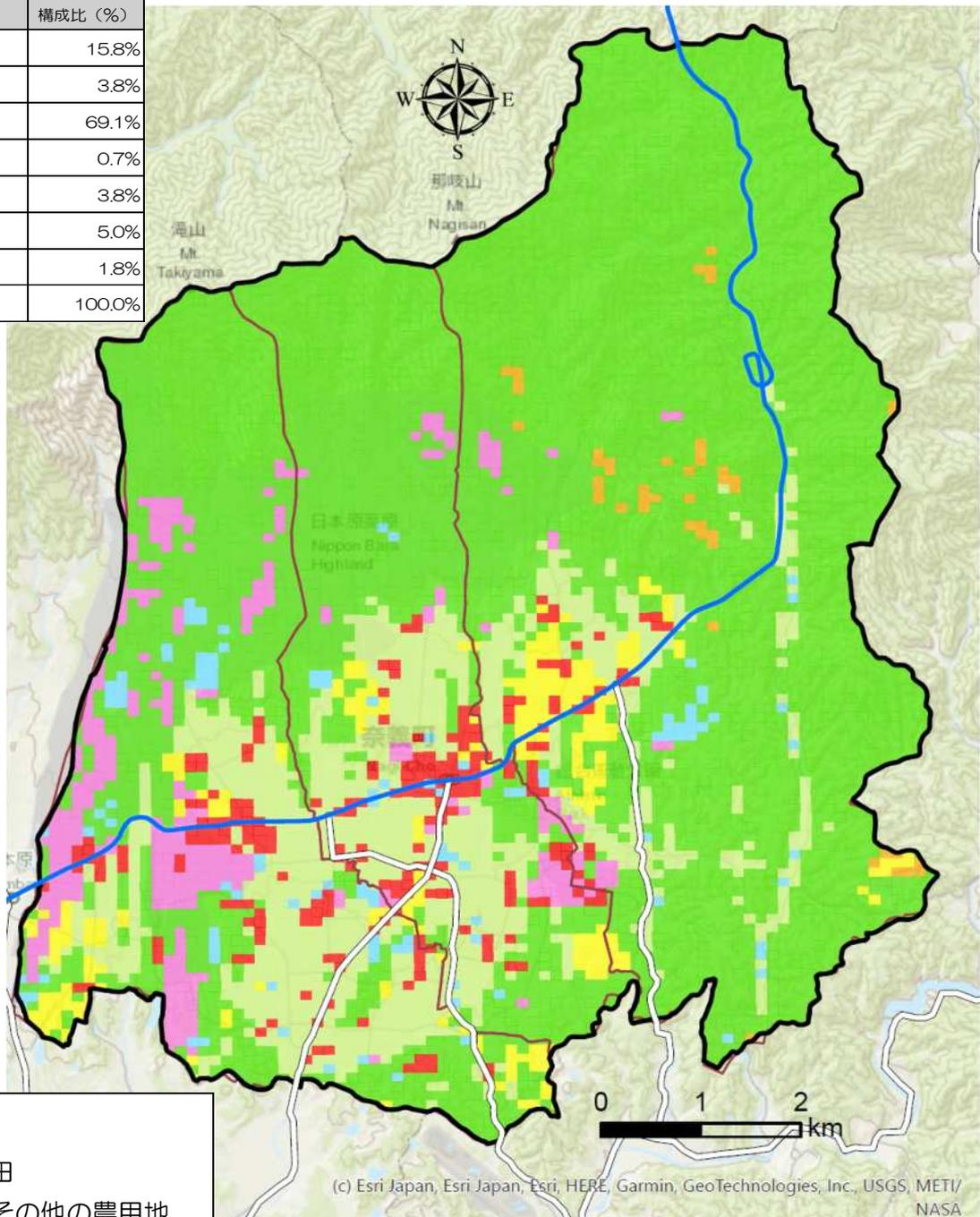
出典：令和2年国勢調査

2.5 土地利用状況

本町の土地利用の状況は、森林が町域面積の約7割を占めており、国道や県道沿いを中心に建物用地(宅地)が広がっています。

■土地利用状況図

種別	構成比(%)
田	15.8%
その他の農用地	3.8%
森林	69.1%
荒地	0.7%
建物用地	3.8%
その他の用地	5.0%
河川及び湖沼	1.8%
合計	100.0%



凡例	
	田
	その他の農用地
	森林
	荒地
	建物用地
	その他の用地
	河川及び湖沼
	国道
	県道
	地域界

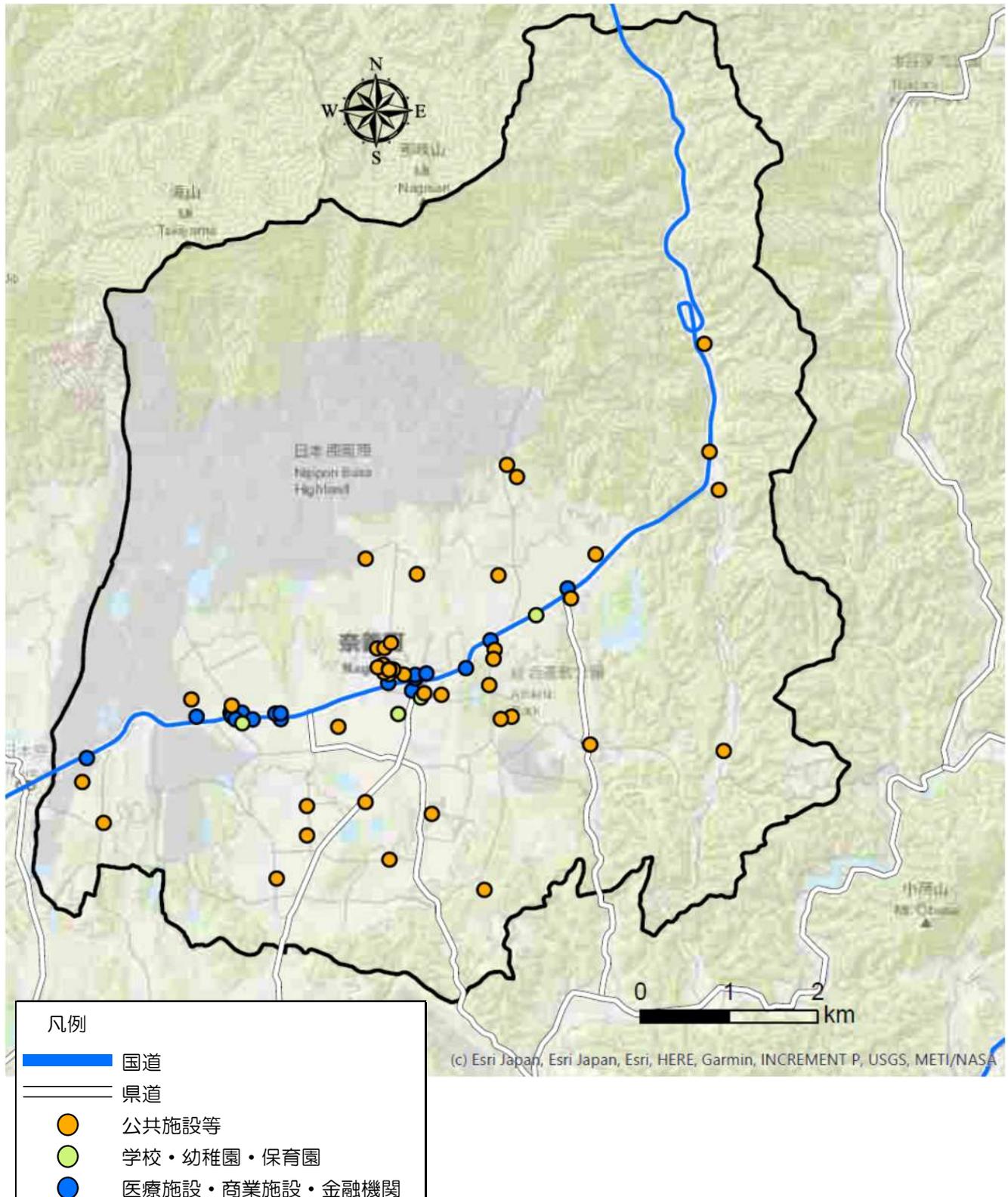
出典:平成 28 年度国土数値情報(土地利用細分メッシュデータ(100m メッシュ))

2.6 施設立地状況

(1) 施設立地状況

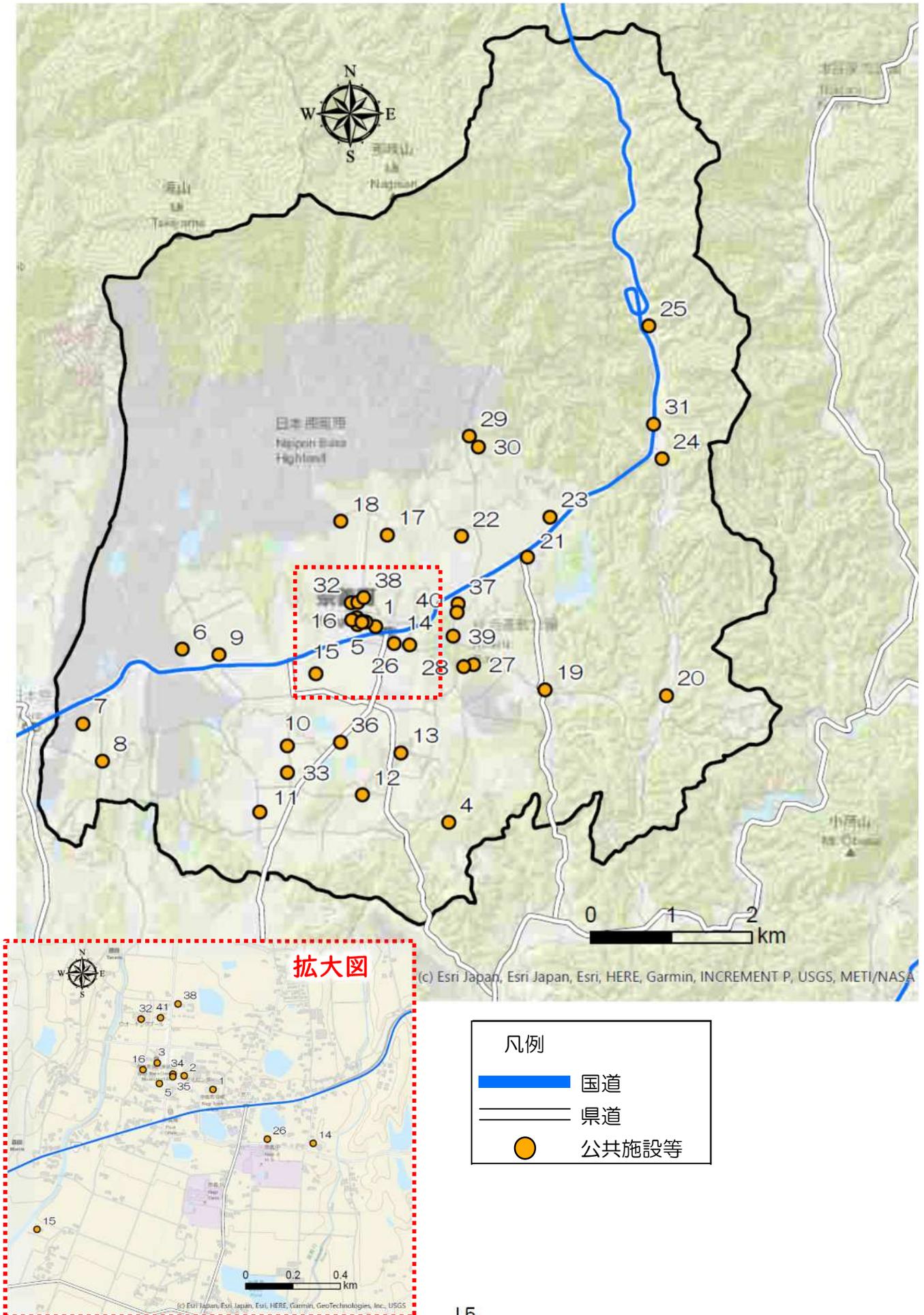
施設立地の状況を見ると、国道 53 号の沿線に学校・幼稚園・保育園や、医療施設・商業施設・金融機関が分布しています。

■施設の位置図



(2) 公共施設等

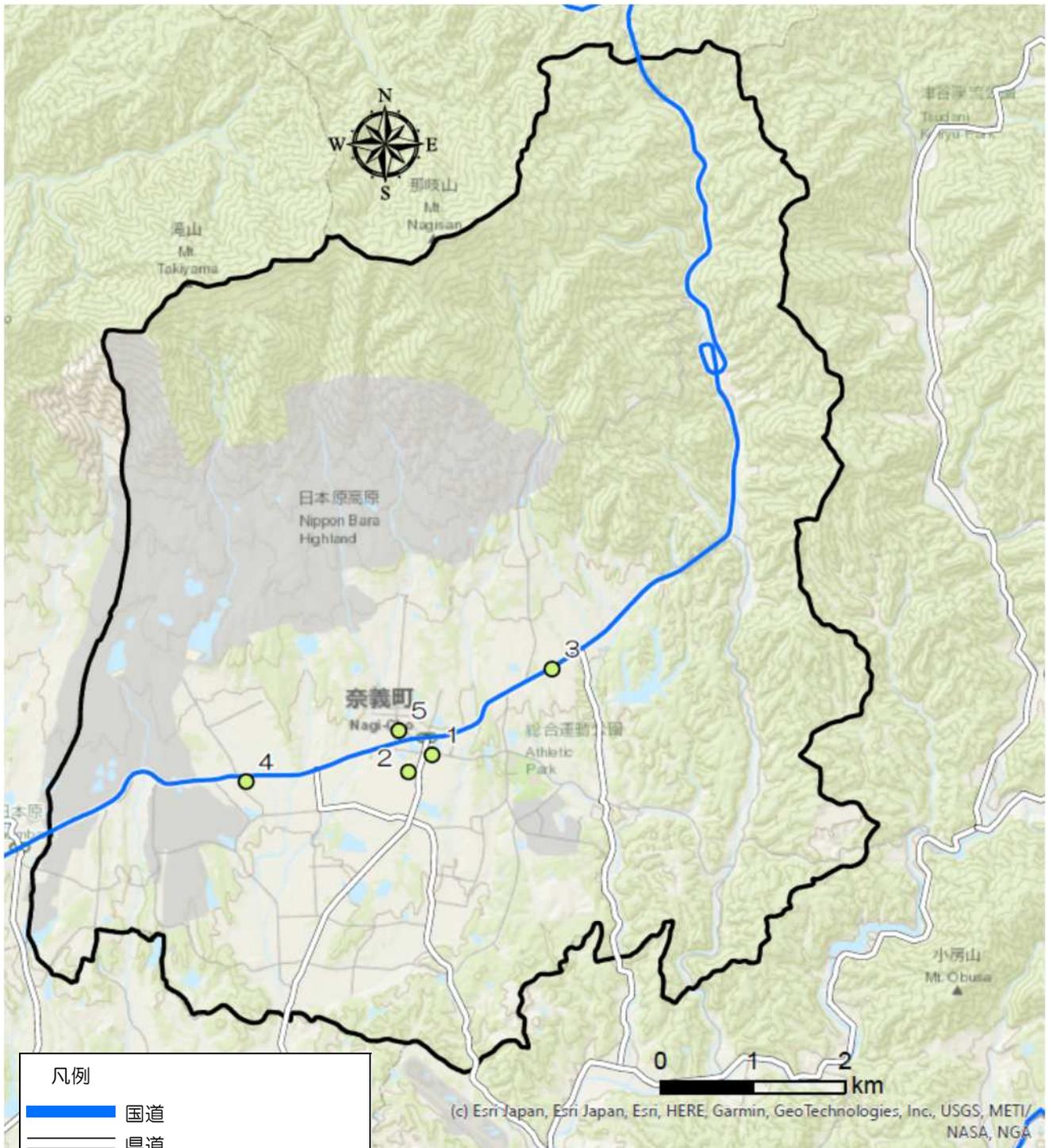
■ 施設の位置図



No	大分類	中分類	名称
1	行政系施設	庁舎等	奈義町役場
2	住民文化系施設	文化施設	町文化センター
3	社会教育系施設	博物館等	奈義町現代美術館・奈義町立図書館
4	社会教育系施設	博物館等	なぎピカリアミュージアム
5	住民文化系施設	集会施設	地域振興センター
6	住民文化系施設	集会施設	地域交流センター
7	住民文化系施設	集会施設	新吉野コミュニティハウス
8	住民文化系施設	集会施設	上町川コミュニティハウス
9	住民文化系施設	集会施設	瀧本コミュニティハウス
10	住民文化系施設	集会施設	荒内西コミュニティハウス
11	住民文化系施設	集会施設	中島西コミュニティハウス
12	住民文化系施設	集会施設	中島東コミュニティハウス
13	住民文化系施設	集会施設	柿コミュニティハウス
14	住民文化系施設	集会施設	久常コミュニティハウス
15	住民文化系施設	集会施設	広岡コミュニティハウス
16	住民文化系施設	集会施設	豊沢コミュニティハウス
17	住民文化系施設	集会施設	成松コミュニティハウス
18	住民文化系施設	集会施設	宮内コミュニティハウス
19	住民文化系施設	集会施設	西原コミュニティハウス
20	住民文化系施設	集会施設	皆木コミュニティハウス
21	住民文化系施設	集会施設	行方コミュニティハウス
22	住民文化系施設	集会施設	高円コミュニティハウス
23	住民文化系施設	集会施設	関本コミュニティハウス
24	住民文化系施設	集会施設	小坂多目的集会施設
25	住民文化系施設	集会施設	馬桑コミュニティハウス
26	スポーツ・レクリエーション系施設	スポーツ施設	町立体育館（中学校北側）
27	スポーツ・レクリエーション系施設	スポーツ施設	奈義町総合運動公園
28	スポーツ・レクリエーション系施設	スポーツ施設	奈義町B&G海洋センター
29	スポーツ・レクリエーション系施設	レクリエーション施設・観光施設	那岐山麓 山の駅
30	スポーツ・レクリエーション系施設	レクリエーション施設・観光施設	山野草公園
31	保健・福祉施設	高齢福祉施設	やまびこ荘
32	保健・福祉施設	高齢福祉施設	介護予防施設ウォーキングプール
33	保健・福祉施設	高齢福祉施設	小規模多機能型居宅介護事業所 つくし園（旧つくし幼稚園）
34	保健・福祉施設	保健施設	町保健相談センター
35	保健・福祉施設	その他社会福祉施設	町福祉センター
36	公営住宅	公営住宅	荒内東住宅
37	公営住宅	公営住宅	高円住宅
38	公営住宅	公営住宅	ユースメゾン奈義（若者住宅）
39	公営住宅	公営住宅	パークサイド奈義（若者住宅）
40	公営住宅	公営住宅	グリーンビレッジ奈義
41	公営住宅	公営住宅	センタービレッジ奈義

(3) 学校・幼稚園・保育園

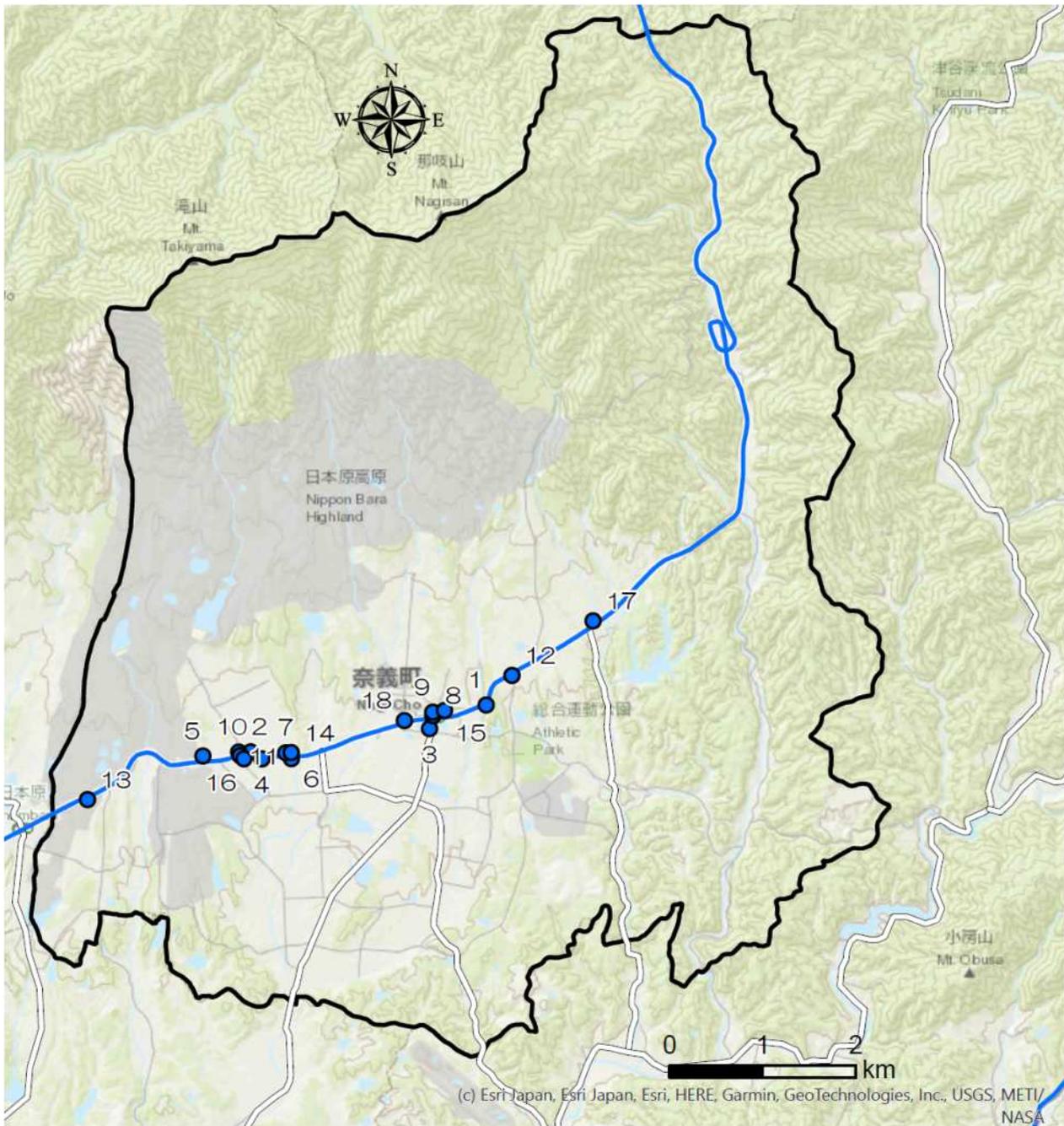
■施設の位置図



No	分類	名称
1	中学校	奈義中学校
2	小学校	奈義小学校
3	幼稚園	中央東幼稚園
4	幼稚園	滝川つくし幼稚園
5	保育園	奈義保育園

(4) 医療施設・商業施設・金融機関

■施設の位置図



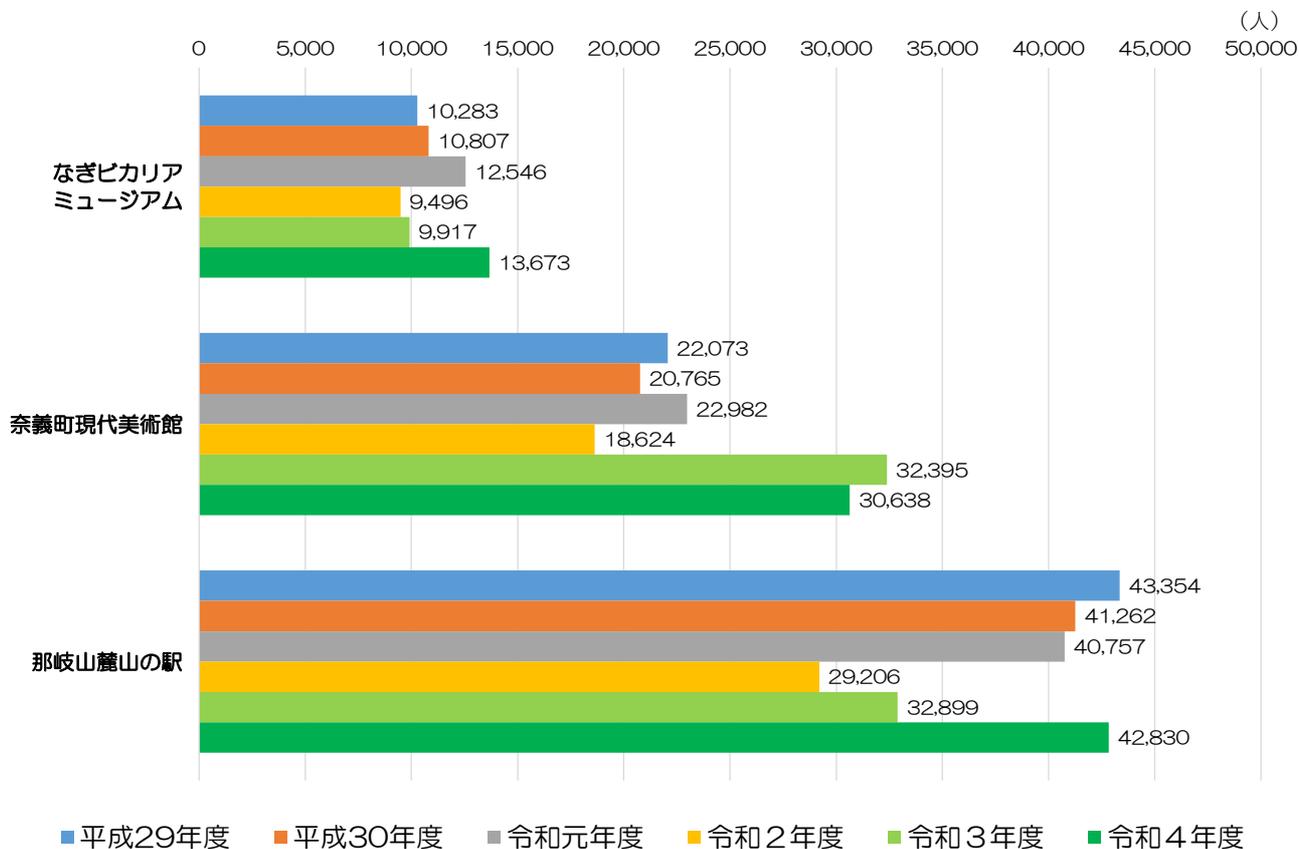
凡例	
	国道
	県道
	医療施設・商業施設・金融機関

No	分類	名称
1	医療施設	小川歯科医院
2	医療施設	野々上医院
3	医療施設	奈義ファミリークリニック
4	医療施設	なざとよぶくデンタルクリニック
5	商業施設	大橋ストアー
6	商業施設	なざ高原山彩村
7	商業施設	ザ・大黒天奈義店
8	商業施設	辻商店
9	商業施設	Aコープ奈義
10	商業施設	大内商店
11	商業施設	ローソン（岡山奈義町店）
12	商業施設	ローソン（奈義町高円店）
13	商業施設	ファミリーマート（奈義町店）
14	商業施設	コメリハード&グリーン奈義店
15	金融機関	晴れの国岡山農業協同組合奈義支店
16	金融機関	滝本郵便局
17	金融機関	行方郵便局
18	金融機関	奈義郵便局

2.7 観光施設の状況

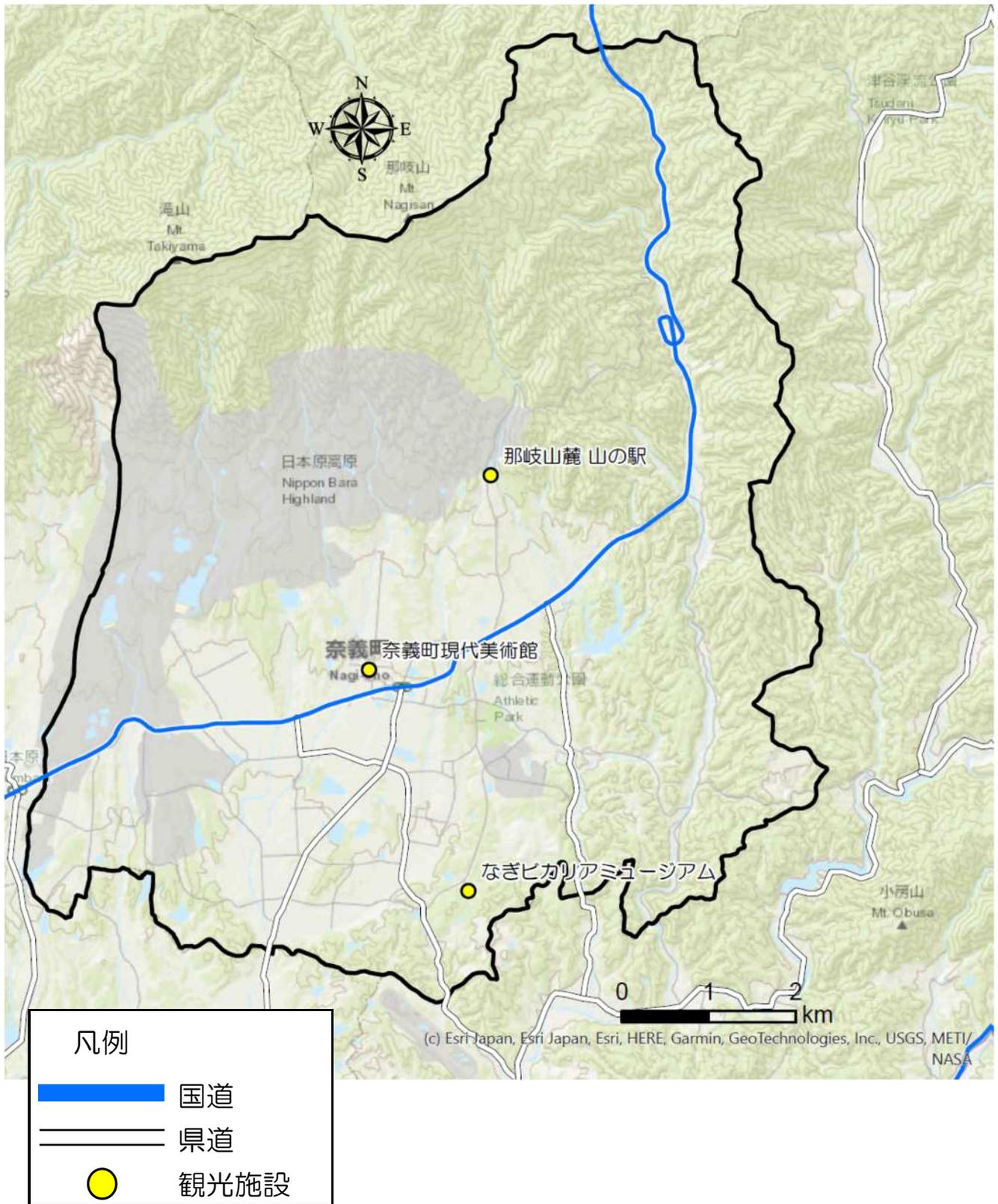
本町の主要な観光施設は下記のとおりです。令和2年度は新型コロナウイルスの影響が大きく、観光入込客数は減少しましたが、令和3年度以降は回復傾向にあります。

▼主要な観光施設の観光入込客数



出典:奈義町資料

■ 観光施設の位置図



2.8 自動車運転免許の保有状況

60歳以上の自動車運転免許の保有率は59.5%となっています。

70～74歳の自動車運転免許の保有率は90.4%で高い状況です。

▼自動車運転免許保有の状況

	自動車運転免許保有者			総人口			自動車運転免許保有率		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計
60歳以上	740	657	1,397	1,028	1,320	2,348	72.0%	49.8%	59.5%
70～74歳	242	240	482	257	276	533	94.2%	87.0%	90.4%
75歳以上	317	241	558	404	673	1,077	78.5%	35.8%	51.8%

出典：美作警察署交通課（自動車運転免許保有者は令和4年7月末）

出典：奈義町資料（総人口は令和4年4月1日の住民基本台帳）

第3章 上位・関連計画の概要

3.1 奈義町まちづくり総合計画

奈義町まち・ひと・しごと創生総合戦略(令和2年3月)

計画の概要	
計画期間	令和2(2020)年度～令和11(2029)年度までの10年間
施策の大綱	基本目標1 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる 基本目標2 稼ぐ地域づくりを進め、安心して働けるようにする 基本目標3 つながりを築き、新しいひとの流れをつくる 基本目標4 ひとが集い、豊かで安心して暮らすことができる魅力的なまちをつくる
施策11 戦略的な観光・交流	基本的な施策 ・観光地域づくり法人((一社)ビジット奈義)により、観光に来てもらえるコンテンツの洗練、魅力の発信、町内の動線づくりなど、トータルマネジメントを推進します。また、他市町村等との広域連携を進め、広域的な観光ルートづくりを推進します。 重点プロジェクト11 戦略的な観光・交流 ◇観光誘客促進のための環境整備や積極展開 ○観光客の回遊性・利便性の向上とリピーターの獲得(交通など移動手段、宿泊、飲食など)
施策14 いつまでも元気で輝き続けられる高齢者	基本的な施策 ・交通弱者対策を進め、高齢者が生活しやすいまちづくりを進めます。 ・乗り合い交通の導入により町内全域の交通手段の確保を行います。また、社会福祉協議会に委託し、サポート組織「なぎサポ」による通所付き添いサポート事業やサロンへの送迎を行うなど地域内でのサポート組織による交通手段の確保等に取り組みます。 重点プロジェクト14 いつまでも元気で輝き続けられる高齢者 ◇いつまでも元気で輝き続けられる高齢者 ○高齢者がいつまでも買い物ができる仕組みづくり(買い物輸送サービス、移動販売、ドローン輸送など) ○交通弱者のニーズに応じた便利で快適な新たな「交通」(Society5.0 社会への対応)の検討と環境整備 ○地域公共交通の充実
施策15 安全で安心な暮らしの確保	基本的な施策 ・さと丸乗り合い交通は、利用者のニーズに合わせた柔軟な運行形態の見直しを行うとともに、交通弱者に対する交通の充実を図り、安心な暮らしの確保をめざします。 重点プロジェクト15 安全で安心な暮らしの確保 ◇安全で安心な暮らしの確保 ○高齢者世帯や独居老人等の的確な把握と地域の中で安全安心に暮らせる地域づくりの推進

<p>施策18 参画と協働、連携による まちづくり</p>	<p>基本的な施策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集落生活圏の維持や「小さな拠点」づくり、ナギテラスの活用など、町や地域の実情に応じた、コンパクトでネットワークされたまちづくりをめざします。 ・地域交通（津山・美作地域及び町内）の利便性の向上や生活基盤、住環境の整備などにより、快適な生活空間を創出します。 ・津山圏域など、周辺自治体との連携や交流を促進するとともに、他地域の自治体や民間とも、その特性や機能を生かしながら個別の連携を進め、町の総合力の向上を図ります。 <p>重点プロジェクト18 参画と協働、連携によるまちづくり</p> <p>◇参画と協働、連携によるまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ○津山圏域や県北地域など、自治体連携や住民間連携による課題解決（交通・福祉・子育て支援など）と圏域全体の魅力づくり（観光・移住定住など）への取組み
---------------------------------------	--

3.2 奈義町過疎地域持続的発展市町村計画（令和3年3月）

計画の概要	
計画期間	令和3（2021）年度～令和7（2025）年度までの5年間
地域の持続的発展のための基本目標	<p>基本目標1 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる</p> <p>基本目標2 稼ぐ地域づくりを進め、安心して働けるようにする</p> <p>基本目標3 つながりを築き、新しいひとの流れをつくる</p> <p>基本目標4 ひとが集い、豊かで安心して暮らすことができる魅力的なまちをつくる</p>
公共交通に関する対策	
2. 移住・定住・地域間交流の促進、人材育成	<p>(3) 地域間交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通・福祉・子育て支援など津山圏域や県北地域など、自治体連携や住民間連携による課題解決と、観光・移住定住など圏域全体の魅力づくりへの取り組みを進める。
4. 地域における情報化	<p>(1) 地域における情報化の方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用した公共交通システムを構築する。
5. 交通施設の整備、交通手段の確保	<p>(3) 地域旅客運送サービスの持続可能な提供の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近隣市町村との広域連携の維持および発展により、利用者の利便性向上を図る。 ・地域交通全体のマネジメントの一元化を図り、サービス主体間の連携強化による持続可能な公共交通サービスの提供体制を構築する。 <p>◇重要業績評価指標（町民まなぞく量調査R2→R7）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通機関が乗りやすく、便利である 目標値【49.0% → 53.0%】

3.3 奈義町高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画(令和3年3月)

計画の概要	
計画期間	令和3(2021)年度から令和5(2023)年度までの3年間
本町が目指す高齢社会像	住み慣れた地域で最期まで安心して暮らせる町
基本目標	基本目標1 地域包括ケア体制の深化・推進 基本目標2 いきいきと暮らす町づくり 基本目標3 健やかに暮らす町づくり 基本目標4 安心して暮らす町づくり
公共交通に関する施策	
具体的施策	<p>基本目標4 安心して暮らす町づくり</p> <p>③ 移動支援の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢社会が進む中、買い物や受診、金融機関などへの移動が困難な高齢者が増加している現状から、平成元年度から、新たな巡回バス事業や「ドアツードア」事業を行っています。引き続き高齢者の日常生活の移動手段を確保していきます。 ・また、通いの場(各地区サロン等)への自力で参加することが困難な方へ住民相互による「通所付添サポート事業」を実施しており、その効果などを実証していきます、またサポーターの養成も引き続き行い利用者の増加を目指します。

第4章 奈義町における地域公共交通の現状

4.1 地域公共交通の概要

町内を運行している公共交通は次のとおりです。

種類	運行事業者・運行団体	路線名・駅名等
路線バス	中鉄北部バス	津山駅～津山中央病院～イオン津山～日本原～行方～小坂線
市町村運営有償運送 なぎバス	ビジット奈義	ナギテラス～勝間田駅
さと丸乗り合い交通	ビジット奈義	【運行エリア】 奈義町内全域及び日本原病院
スクールバス	ビジット奈義	奈義小学校

▼路線バス(中鉄北部バス)



▼なぎバス



▼さと丸乗り合い交通



2 運行ダイヤ

▼津山駅～津山中央病院～イオン津山～日本原～行方～小坂線の時刻表(令和5年12月21日現在)

勝北・奈義町方面 津山駅～津山中央病院～イオン津山～日本原～行方～小坂線												[奈義町現代美術館前]へお越しの方は「ナギテラス」をご利用ください。 <small>粉…粉保経由 高…高野経由</small>			
津山駅③	山北	奈義町役所前	東津山	津山中央病院	津山インター	イオン津山店前	押入中	勝北支所前	日本原	滝本局前	ナギテラス	行方	小坂		
★ 7:05	—	—	7:13	—	7:16	—	7:18	7:30	7:32	7:37	7:40	7:44			
8:30	—	—	8:38	—	8:41	8:44	8:48	9:00	9:02	9:07	9:10	9:14			
9:25	—	—	9:33	—	9:36	9:39	9:43	9:55	9:57	10:02	10:05	10:09			
10:25	—	—	10:33	10:39	10:42	10:45	10:49	11:01	11:03	11:08	11:11	11:15			
11:25	—	—	11:33	11:39	11:42	11:45	11:49	12:01	12:03	12:08	12:11	12:15			
12:25	—	—	12:33	12:39	12:42	12:45	12:49	13:01	13:03	13:08	13:11	13:15			
13:25	—	—	13:33	13:39	13:42	13:45	13:49	14:01	14:03	14:08	14:11	14:15	14:18		
14:25	—	—	14:33	14:39	14:42	14:45	14:49	15:01	15:03	15:08	15:11	15:15	15:18		
(粉)15:40	15:48	15:50	—	—	—	—	—	16:12	16:14	16:19	16:22	16:26	16:29		
16:25	—	—	16:33	—	16:36	16:39	16:43	16:55	16:57	17:02	17:05	17:09			
●(粉)16:40	16:48	16:50	—	—	—	—	—	17:12	17:14	17:19	17:22	17:26	17:29		
17:25	—	—	17:33	—	17:36	17:39	17:43	17:55	17:57	18:02	18:05	18:09			
★(高)18:05	18:15	18:17	—	—	—	—	—	18:38	18:40	18:45	18:48	18:52	18:55		
18:30	—	—	18:38	—	18:41	18:44	18:48	19:00	19:02	19:07	19:10	19:14			
19:25	—	—	19:33	—	19:36	19:39	19:43	19:55	19:57	20:02	20:05	20:09			
20:00	—	—	20:08	—	20:11	20:14	20:18	20:30	20:32	20:37	20:40	20:44			
小坂	行方	ナギテラス	滝本局前	日本原	勝北支所前	押入中	イオン津山店前	津山インター	津山中央病院	東津山	奈義町役所前	山北	津山駅		
(粉)6:54	6:57	7:01	7:04	7:09	7:11	—	—	—	—	—	7:33	7:35	7:45		
■(粉)7:02	7:06	7:06	7:09	7:14	7:16	—	—	—	—	—	7:38	7:40	7:50		
	7:06	7:10	7:13	7:18	7:20	7:32	—	7:34	—	7:37	—	—	7:48		
(高)7:12	7:15	7:19	7:22	7:27	7:29	—	—	—	—	—	7:50	7:52	8:00		
7:45	7:48	7:52	7:55	8:00	8:02	8:14	—	8:16	8:19	8:25	—	—	8:33		
	8:21	8:25	8:28	8:33	8:35	8:47	—	8:49	8:52	8:58	—	—	9:06		
	9:26	9:30	9:33	9:38	9:40	9:52	9:56	9:59	10:02	10:08	—	—	10:16		
	11:06	11:10	11:13	11:18	11:20	11:32	11:36	11:39	11:42	11:48	—	—	11:56		
	12:06	12:10	12:13	12:18	12:20	12:32	12:36	12:39	12:42	12:48	—	—	12:56		
	13:06	13:10	13:13	13:18	13:20	13:32	13:36	13:39	13:42	13:48	—	—	13:56		
	14:06	14:10	14:13	14:18	14:20	14:32	14:36	14:39	14:42	14:48	—	—	14:56		
	15:06	15:10	15:13	15:18	15:20	15:32	15:36	15:39	15:42	15:48	—	—	15:56		
	16:06	16:10	16:13	16:18	16:20	16:32	16:36	16:39	16:42	16:48	—	—	16:56		
	17:06	17:10	17:13	17:18	17:20	17:32	17:36	17:39	—	17:42	—	—	17:50		
	18:06	18:10	18:13	18:18	18:20	18:32	18:36	18:39	—	18:42	—	—	18:50		
	19:06	19:10	19:13	19:18	19:20	19:32	19:36	19:39	—	19:42	—	—	19:50		

「さと丸乗合交通をご利用の方へ」

停留所ナギテラスにおいて、中鉄ほくぶバス株式会社と相互利用される場合乗継特典として路線バスの料金を300円助成されます。

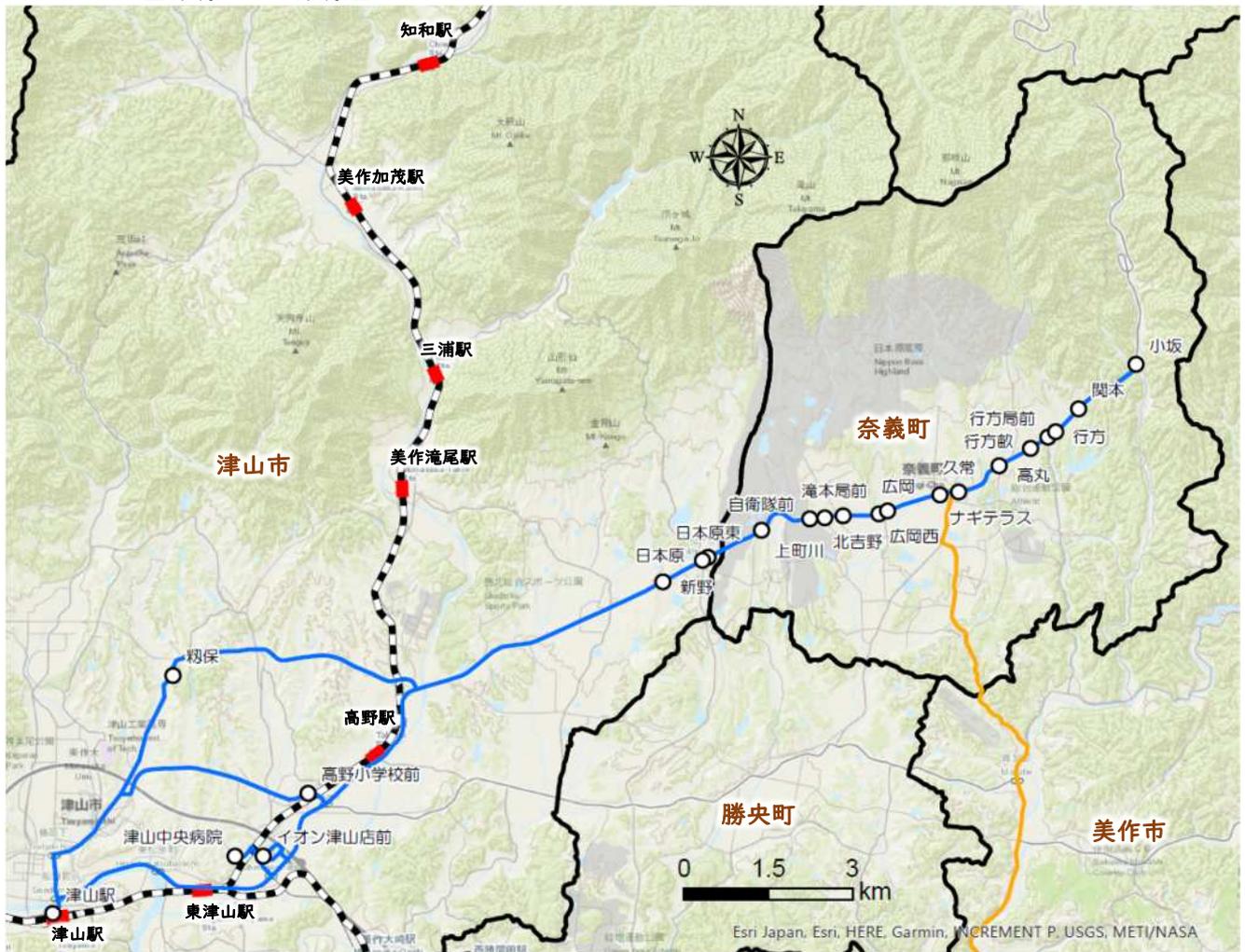
出典:中鉄北部バス(令和5年12月21日現在)

★印…土曜・日曜・祝日・振替休日は運休。

●印…日曜・祝日・振替休日は運休。

■印…土曜・日曜・祝日・振替休日・休校日は運休。

■路線バスの路線図

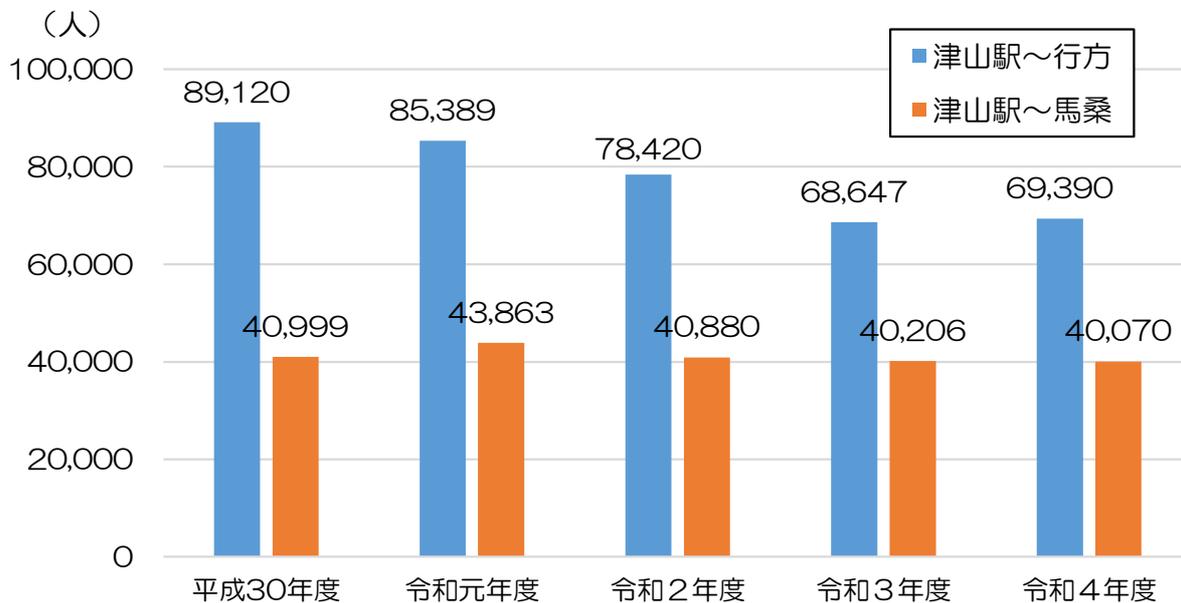


凡例	
	鉄道線
	鉄道駅
	路線バス (ルート)
	バス停

(3) 路線バスの年間輸送人員の推移

路線バスの年間輸送人員は、減少傾向にあり、令和4年度においては、津山駅から行方間は 69,390 人、津山駅から馬桑間は 40,070 人となっています。

▼年間輸送人員の推移

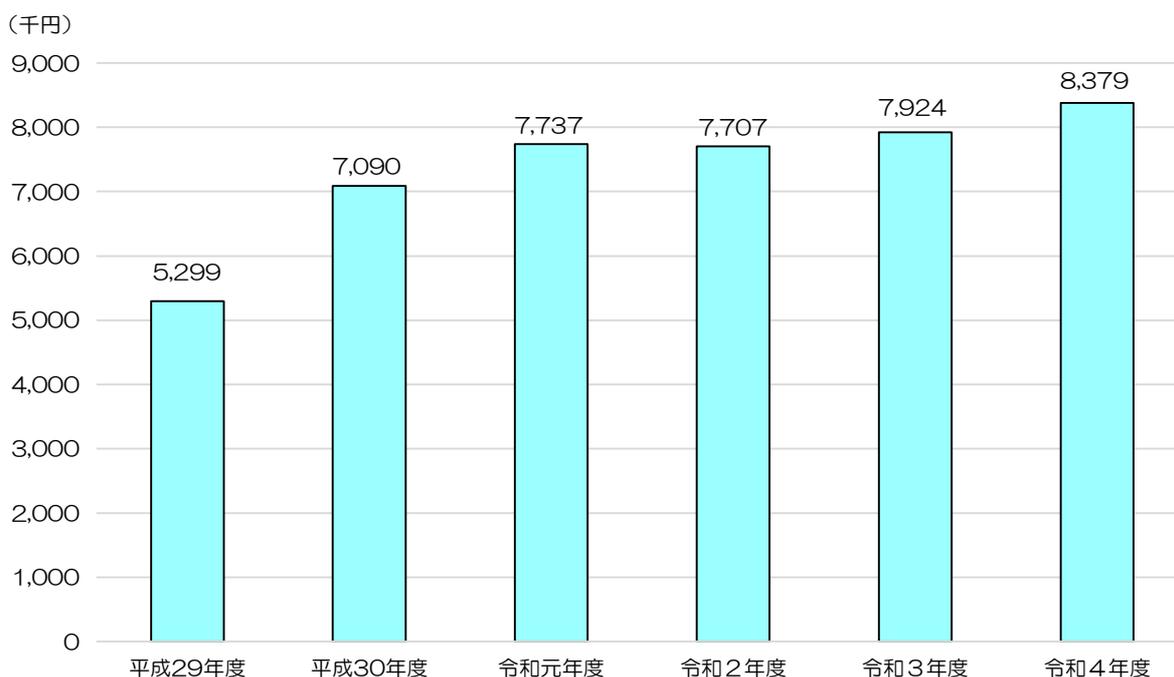


出典：中鉄北部バス

(4) 路線バスの補助額

路線バス（中鉄北部バス）の補助額は、増加傾向にあり、令和4年度においては 8,379 千円となっています。

▼路線バスの補助額の推移



出典：奈義町資料

(5) 路線バスの利用状況(乗降調査)

1 調査概要

- ・調査期間：令和3年10月18日～24日【7日】
- ・調査方法：バス停における乗車人数、降車人数を人手観測
- ・調査時間帯：【津山駅→馬桑】津山駅発13時25分、14時25分、15時25分の3便

2 調査結果

ア) 便別・曜日別の利用者数

便別にみると、津山駅から馬桑行きの1便あたりの利用者は、津山駅発13時25分は6人、津山駅発14時25分・15時25分は8人となっています。

▼便別の利用者数

単位	(人)	(便)	(人/便)
便別	津山駅→馬桑	便数	1便あたり
津山駅発13時25分	43	7	6.1
津山駅発14時25分	58	7	8.3
津山駅発15時25分	58	7	8.3

出典：中鉄北部バス

▼曜日別の利用者数

津山駅→馬桑			
単位	(人)		
曜日別	津山駅発13時25分	津山駅発14時25分	津山駅発15時25分
月曜	5	3	10
火曜	7	9	8
水曜	4	9	5
木曜	6	2	5
金曜	15	14	8
土曜	6	6	15
日曜	0	15	7

出典：中鉄北部バス

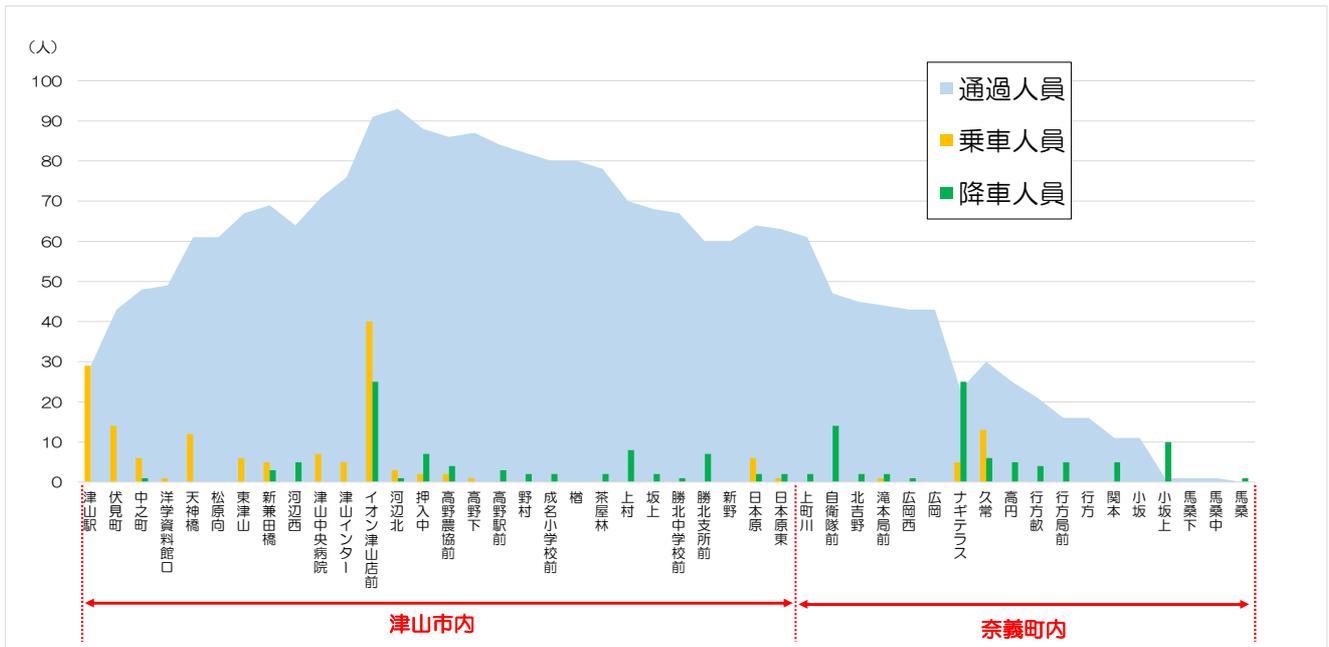
イ) バス停別利用者数

◇津山駅→馬桑 馬桑行

バス停別利用者数の3便の合計をみると、津山市内の津山駅、伏見町、天神橋、イオン津山店前や奈義町内の久常で多く乗車し、津山市内のイオン津山や奈義町内の自衛隊前、ナギテラス、小坂上で多く降車しています。

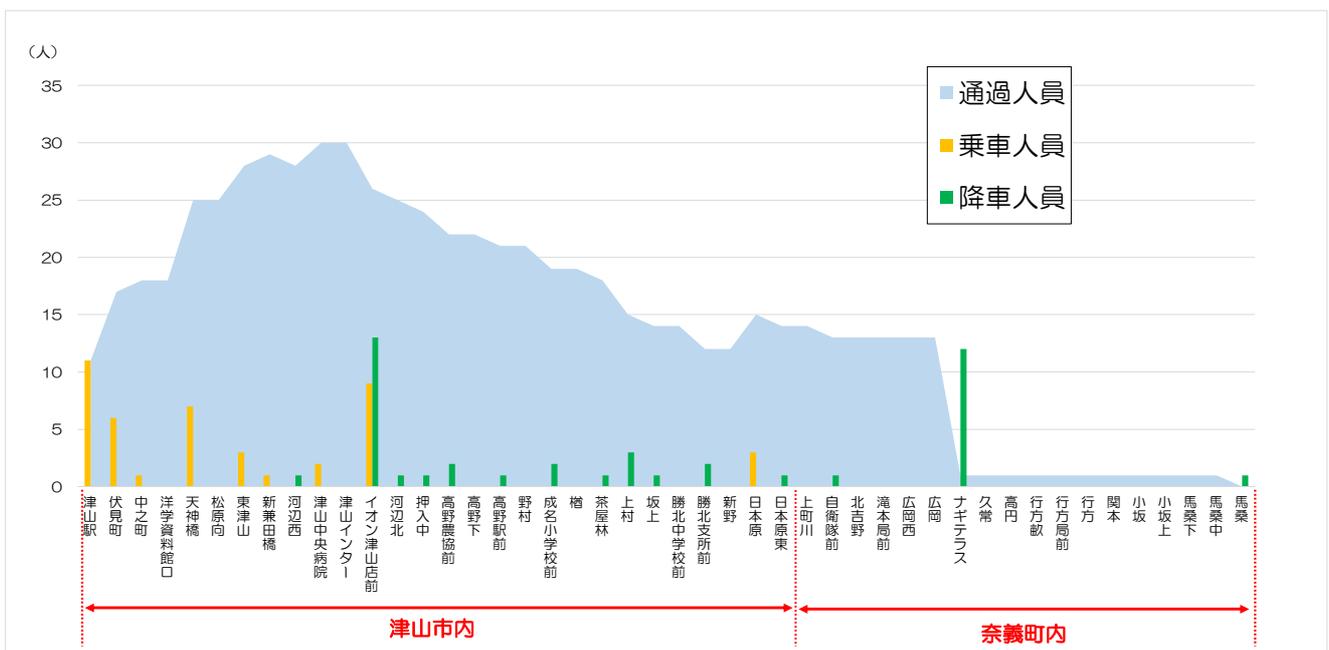
津山駅発 13 時 25 分をみると、津山市内の津山駅、伏見町、天神橋、イオン津山店前で多く乗車し、津山市内のイオン津山店前や奈義町内のナギテラスで多く降車しています。

▼津山駅→馬桑 馬桑行(3便の合計)



出典: 中鉄北部バス

▼津山駅→馬桑 馬桑行(津山駅発 13 時 25 分)

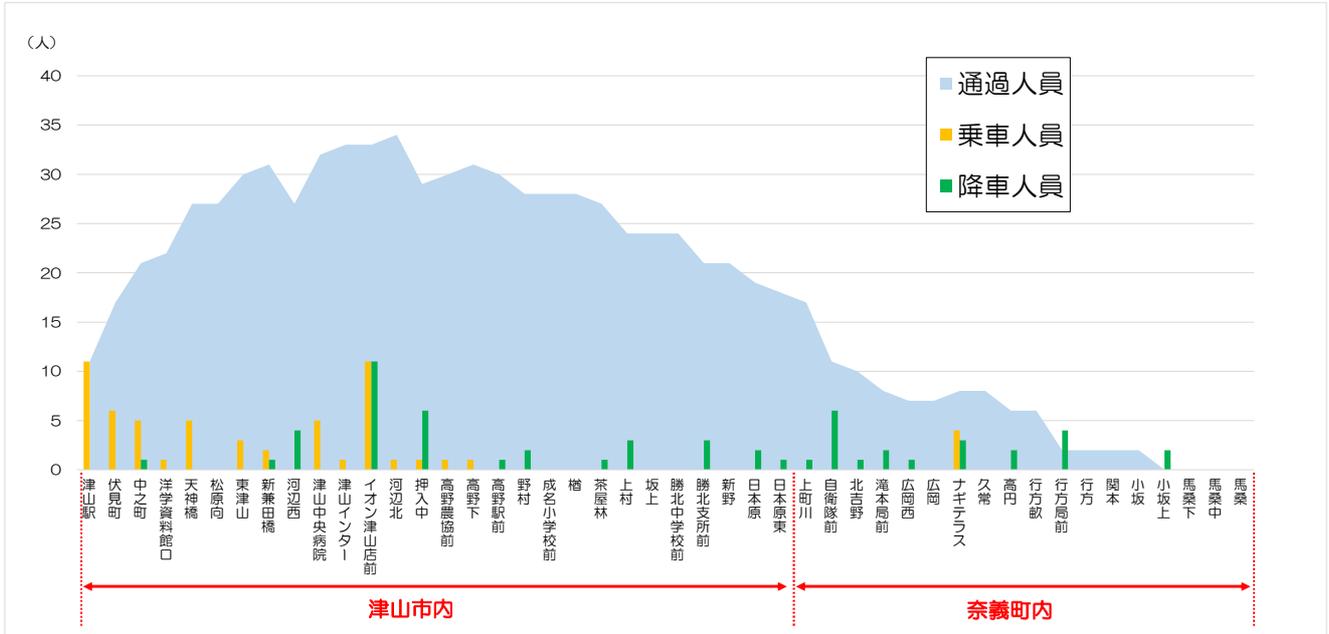


出典: 中鉄北部バス

津山駅発 14 時 25 分をみると、津山市内の津山駅、伏見町、イオン津山店前で多く乗車し、津山市内のイオン津山店前、押入中や奈義町内の自衛隊前で多く降車しています。

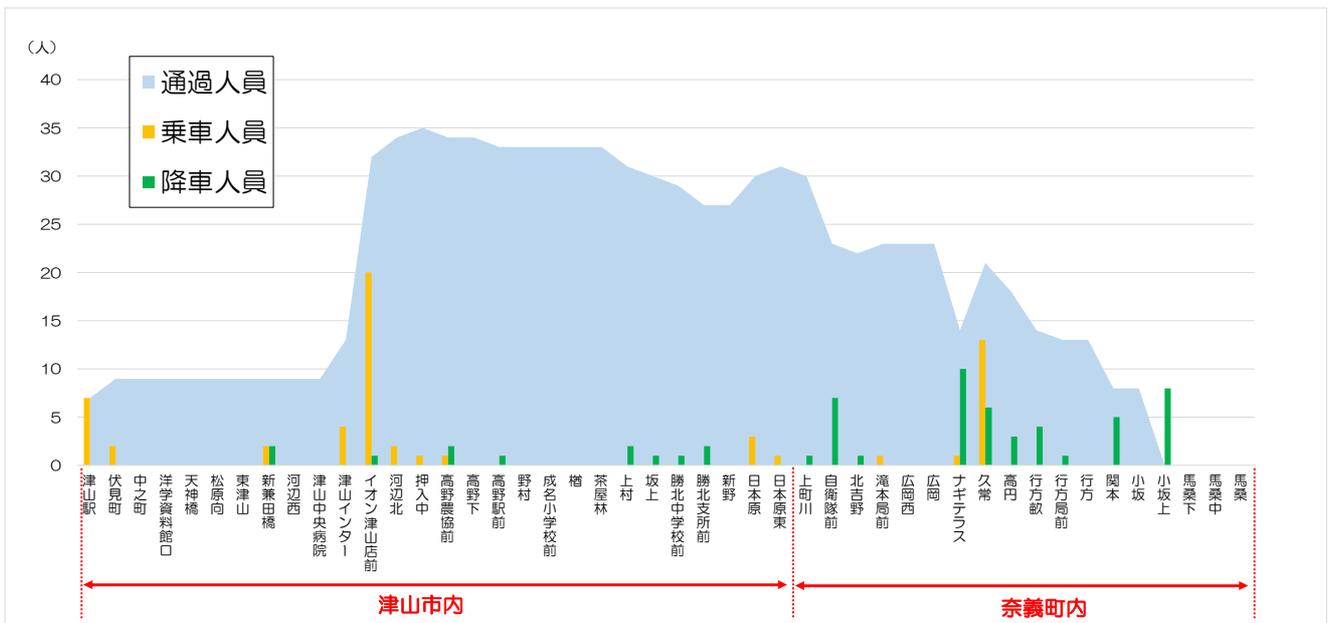
津山駅発 15 時 25 分をみると、津山市内の津山駅、イオン津山店前や奈義町内の久常で多く乗車し、奈義町内の自衛隊前、ナギテラス、久常、小坂上で多く降車しています。

▼津山駅→馬桑 馬桑行(津山駅発 14 時 25 分)



出典: 中鉄北部バス

▼津山駅→馬桑 馬桑行(津山駅発 15 時 25 分)



出典: 中鉄北部バス

4.3 市町村運営有償運送 なぎバス

(1) なぎバスの概要

なぎバスは、奈義町内と美作市内、勝央町内を連絡する路線であり、奈義町が運行しています。

その背景としては、豊沢交通(株)が運行する奈義町豊沢から美作市林野高校を結ぶ路線バスが、経営上継続が困難となり、平成 30 年1月 31 日に開かれた奈義町地域公共交通会議の協議を経て、平成 30 年3月 31 日に路線休業となりました。

そのため奈義町では、林野高校と勝間田高校への通学手段として、また美作市と勝央町をつなぐ新たな交通手段として、平成 31 年4月から市町村運営有償運送による定時定路線型バスの運行を行っています。

運行委託については、令和元年度から令和2年度までは(株)のと香、令和3年度からは(一社)ビジット奈義が運行しています。

(2) なぎバスの運行状況

1 運行本数

なぎバスは、平日・土曜にナギテラスから勝間田駅行3本、勝間田駅からナギテラス行3本が運行されています。

▼運行本数

起点	起点	勝間田駅行	ナギテラス行
		平日・土曜	平日・土曜
ナギテラス	勝間田駅	3	3

出典：奈義町資料
※日曜・祝日は運行なし。

2 運賃

運賃は下記のとおりです。

▼なぎバスの運賃

運賃 1 (ナギテラス発 → 勝間田駅行き)		運賃 2 (勝間田駅発 → ナギテラス行き)		
1.ナギテラス		30.勝間田駅		
2.豊沢		29.勝間田高校		
3.奈義小前		28.黒土上	この区間は乗車のみ(降りられません)	
4.柿	200円 町内で乗降した場合200円	25.林野駅前		300円
5.油尾		26.栄町		勝間田駅から21.美作インターまでは
6.金面		27.林野高校		300円
7.屯地		24.明見東	以降は500円	
8.観音堂		23.ナンバ美作店前	ただし、勝間田駅～林野高校区間は	
9.真加部上		22.豊国原	乗車のみ(降りられません)	
10.真加部下	整理券 「勝間田駅行き」 林野高校まで ¥300 以降500円	21.美作インター	整理券 「ナギテラス行き」 観音堂まで300円 以降500円	
11.南町		20.北山		
12.河内		19.吉		
13.小畑	8.観音堂から24.明見東で乗車の際、整理券を受け取ります。	18.一色橋	27.林野高校から8.観音堂で乗車の際、整理券を受け取ります。	
14.矢田		17.和田		
15.矢田下		16.広山口		
16.広山口		15.矢田下		
17.和田		14.矢田	300円	
18.一色橋	300円	13.小畑	500円	
19.吉		12.河内		
20.北山	500円 町内で乗車し、町外で降車した場合500円	11.南町	500円 町外で乗車し、町内で降車した場合500円	
21.美作インター		10.真加部下		
22.豊国原		9.真加部上		
23.ナンバ美作店前		8.観音堂		
24.明見東		7.屯地		
25.林野駅前		6.金面		
26.栄町		5.油尾	200円 町内で乗降した場合200円	
27.林野高校		4.柿	500円	
28.黒土上	500円	3.奈義小前		
29.勝間田高校		2.豊沢		
30.勝間田駅		1.ナギテラス		

出典：奈義町資料

2 運行ダイヤ

運行ダイヤは下記のとおりです。

▼なぎバスの運行ダイヤ

勝間田駅行き

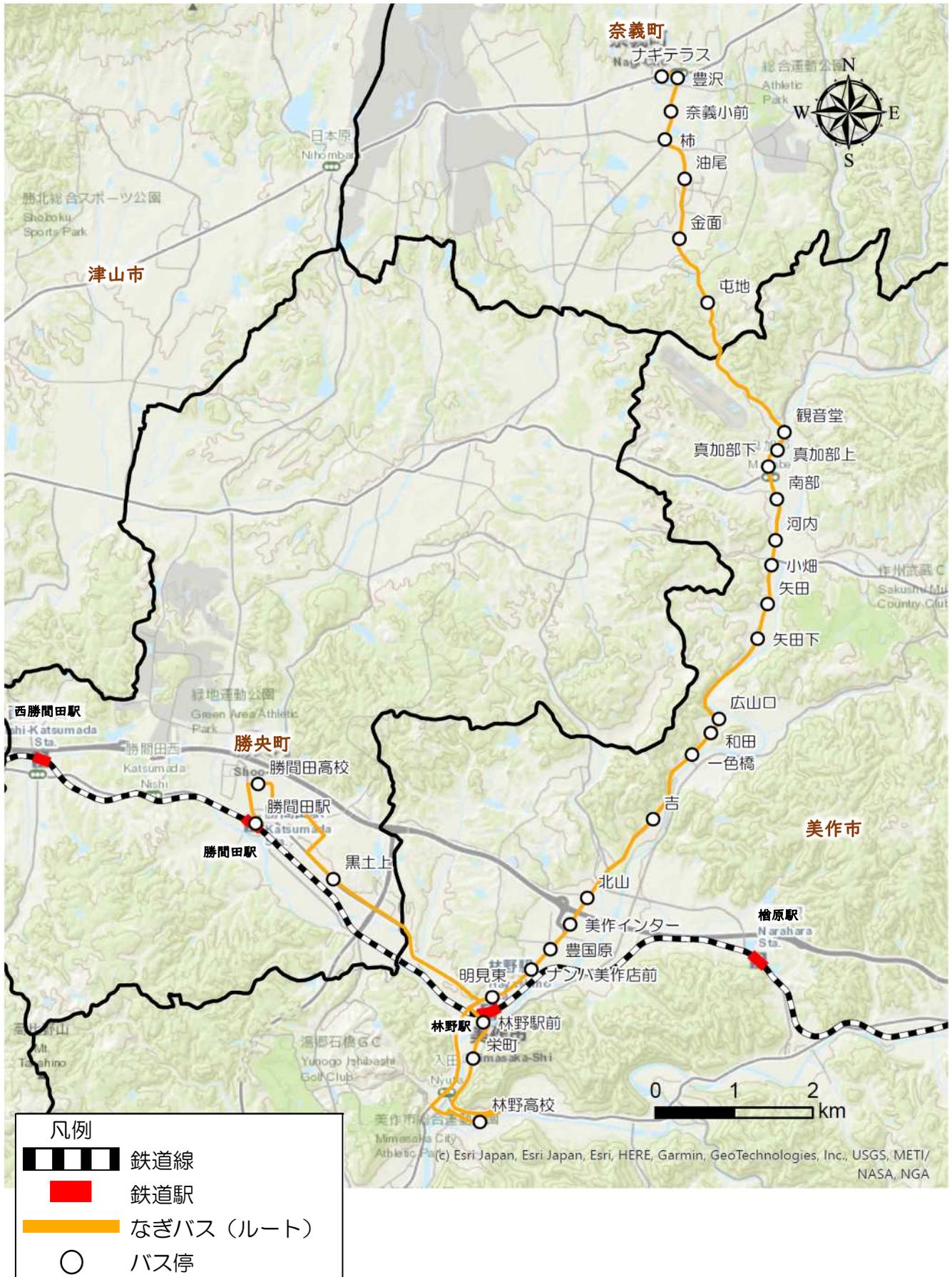
ナギテラス	7:20	11:10	16:20
豊 沢	7:21	11:11	16:21
奈義小前	7:22	11:12	16:22
柿	7:23	11:13	16:23
油 尾	7:24	11:14	16:24
金 面	7:25	11:15	16:25
屯 地	7:27	11:17	16:27
観音堂	7:30	11:20	16:30
真加部上	7:30	11:20	16:30
真加部下	7:31	11:21	16:31
南 町	7:32	11:22	16:32
河 内	7:33	11:23	16:33
小 畑	7:33	11:23	16:33
矢 田	7:34	11:24	16:34
矢田下	7:35	11:25	16:35
広山口	7:37	11:27	16:37
和 田	7:37	11:27	16:37
一色橋	7:38	11:28	16:38
吉	7:40	11:30	16:40
北 山	7:42	11:32	16:42
美作インター	7:43	11:33	16:43
豊国原	7:44	11:34	16:44
ナンバ美作店前	7:45	11:35	16:45
明見東	7:46	11:36	16:46
林野駅前	7:48	11:38	16:48
栄 町	7:49	11:39	16:49
林野高校	7:54	11:44	16:54
黒土上	8:02	11:52	17:02
勝間田高校	8:06	11:56	17:06
勝間田駅	8:07	11:57	17:07

ナギテラス行き

勝間田駅	8:30	12:45	17:35
勝間田高校	8:31	12:46	17:36
黒土上	8:35	12:50	17:40
林野駅前	8:40	12:55	17:45
栄 町	8:41	12:56	17:46
林野高校	8:46	13:01	17:51
明見東	8:50	13:05	17:55
ナンバ美作店前	8:51	13:06	17:56
豊国原	8:52	13:07	17:57
美作インター	8:53	13:08	17:58
北 山	8:54	13:09	17:59
吉	8:56	13:11	18:01
一色橋	8:58	13:13	18:03
和 田	8:58	13:13	18:03
広山口	8:59	13:14	18:04
矢田下	9:01	13:16	18:06
矢 田	9:02	13:17	18:07
小 畑	9:02	13:17	18:07
河 内	9:03	13:18	18:08
南 町	9:04	13:19	18:09
真加部下	9:05	13:20	18:10
真加部上	9:06	13:21	18:11
観音堂	9:06	13:21	18:11
屯 地	9:09	13:24	18:14
金 面	9:11	13:26	18:16
油 尾	9:12	13:27	18:17
柿	9:13	13:28	18:18
奈義小前	9:14	13:29	18:19
豊 沢	9:15	13:30	18:20
ナギテラス	9:16	13:31	18:21

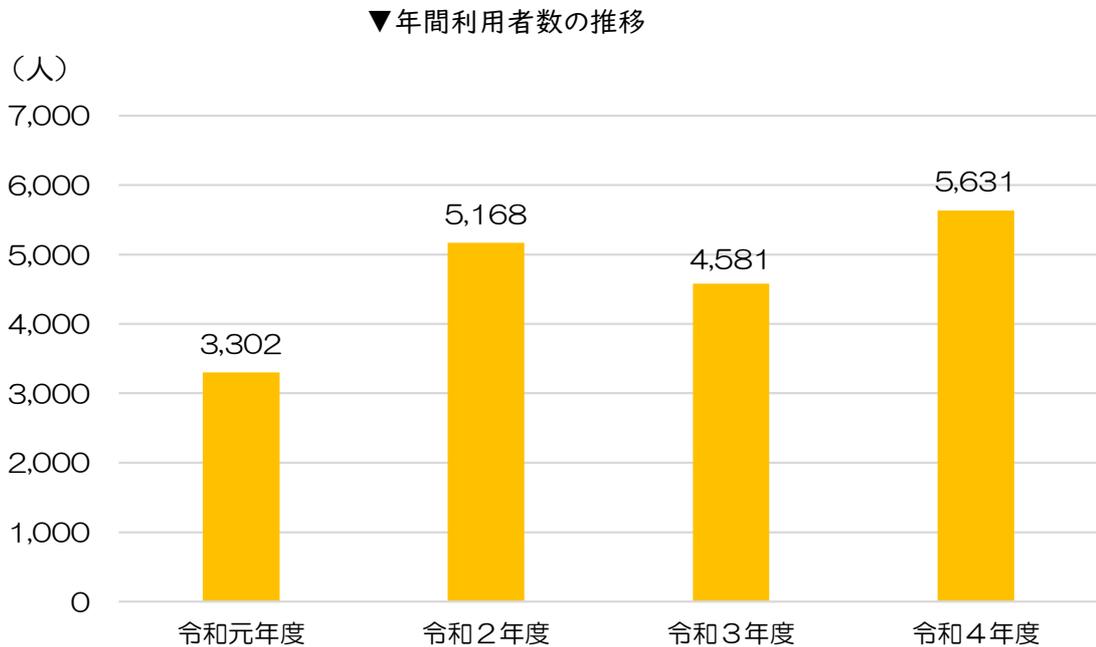
出典: 奈義町資料(令和3年7月改正)

■ なぎバスの路線図



(3) なぎバスの年間利用者数の推移

なぎバスの年間利用者数は、令和3年度は令和2年度よりも減少しましたが、令和4年度は増加に転じ5,631人となっています。



出典: 奈義町資料

▼便別の年間利用者数

年度	ナギテラス→勝間田駅 勝間田駅行			勝間田駅→ナギテラス ナギテラス行			合計
	第1便	第2便	第3便	第1便	第2便	第3便	
令和元年度	1,398	512	170	184	380	658	3,302
令和2年度	2,523	558	143	148	629	1,167	5,168
令和3年度	2,076	565	150	104	618	1,068	4,581
令和4年度	2,684	575	186	88	691	1,407	5,631

出典: 奈義町資料

(4) なぎバスの利用状況(乗降調査)

1 調査概要

- ・調査期間:令和4年9月1日~30日(日曜・祝日は除く)【24日】
- ・調査方法:バス停における乗車人数、降車人数を人手観測

2 調査結果

ア) 便別・曜日別の利用者数

調査期間1ヶ月内の利用者数は558人(ナギテラス→勝間田駅340人、勝間田駅→ナギテラス218人)となります。

便別にみると、利用者が多いのは、ナギテラスから勝間田駅行きの第1便で278人、勝間田駅からナギテラス行きの第3便で174人となり、主な利用者は林野高校や勝間田高校へ登下校する高校生です。

一方、ナギテラスから勝間田駅行きの第2・3便、勝間田駅からナギテラス行きの第1・2便の利用者数は少なく、1便あたり1人以下の便があります(ナギテラスから勝間田駅行きの第3便、勝間田駅からナギテラス行きの第1便)。

曜日別にみると、ナギテラスから勝間田駅行きの1日あたりの利用者は、平日13人以上となっていますが、土曜は5人となり、平日と比べると少なくなっています。

また、勝間田駅からナギテラス行きの1日あたりの利用者は、平日7人以上となっていますが、土曜は3人となり平日と比べると少なくなっています。

▼便別の利用者数

単位	(人)	(便)	(人/便)
便別	ナギテラス→勝間田駅	便数	1便あたり
第1便	278	24	11.6
第2便	47	24	2.0
第3便	15	24	0.6
合計	340	72	4.7

単位	(人)	(便)	(人/便)
便別	勝間田駅→ナギテラス	便数	1便あたり
第1便	9	24	0.4
第2便	35	24	1.5
第3便	174	24	7.3
合計	218	72	3.0

出典:奈義町資料

▼曜日別の利用者数

単位	(人)	(便)	(人/便)	(日)	(人/日)
曜日別	ナギテラス→勝間田駅	便数	1便あたり	日数	1日あたり
月曜	39	9	4.3	3	13.0
火曜	66	12	5.5	4	16.5
水曜	54	12	4.5	4	13.5
木曜	96	15	6.4	5	19.2
金曜	65	12	5.4	4	16.3
土曜	20	12	1.7	4	5.0
合計	340	72	4.7	24	14.2

単位	(人)	(便)	(人/便)	(日)	(人/日)
曜日別	勝間田駅→ナギテラス	便数	1便あたり	日数	1日あたり
月曜	32	9	3.6	3	10.7
火曜	31	12	2.6	4	7.8
水曜	46	12	3.8	4	11.5
木曜	60	15	4.0	5	12.0
金曜	37	12	3.1	4	9.3
土曜	12	12	1.0	4	3.0
合計	218	72	3.0	24	9.1

出典:奈義町資料

イ) バス停別利用者数

◇ナギテラス→勝間田駅 勝間田駅行

バス停別利用者数の総数を見ると、奈義町内のナギテラス、豊沢、金面や美作市内の南町で多く乗車し、美作市内の林野高校や勝央町内の勝間田高校で多く降車しています。

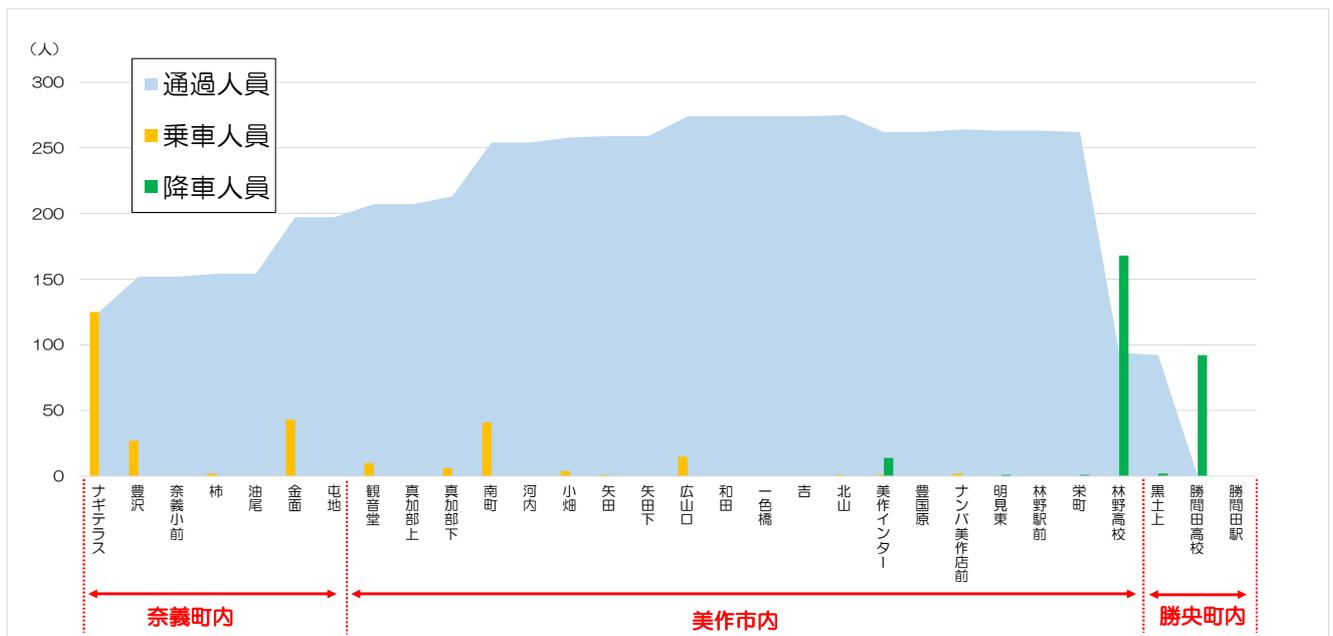
1便をみると、奈義町内のナギテラス、豊沢、金面や美作市内の南町で多く乗車し、美作市内の林野高校や勝央町内の勝間田高校で多く降車しています。

▼ナギテラス→勝間田駅 勝間田駅行(総数)



出典: 奈義町資料

▼ナギテラス→勝間田駅 勝間田駅行(1便)

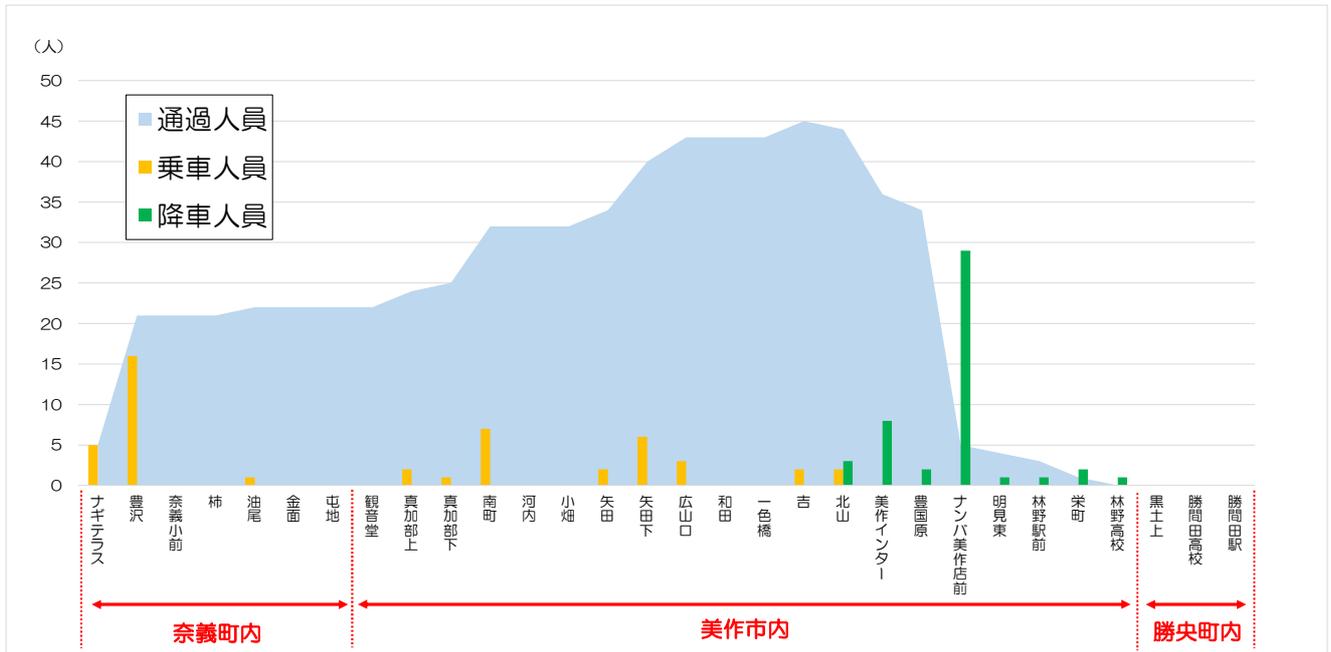


出典: 奈義町資料

2便をみると、奈義町内のナギテラス、豊沢や美作市内の南町、矢田下で多く乗車し、美作市内の美作インター、ナンバ美作店前で多く降車しています。

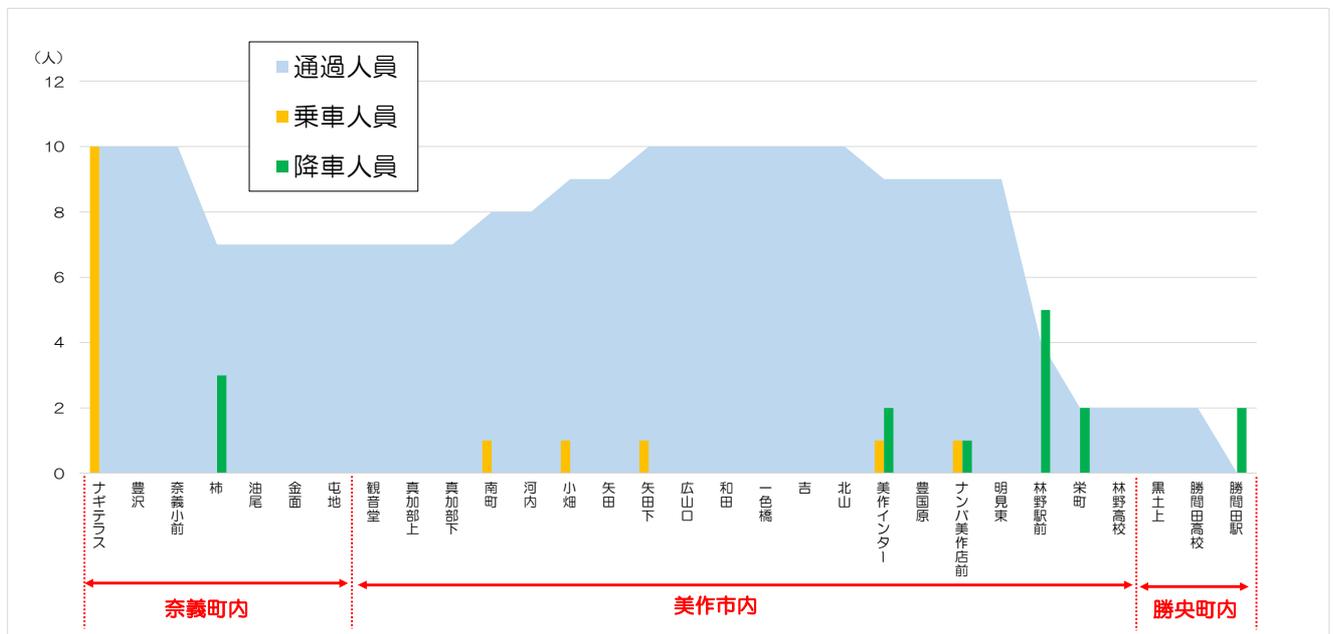
3便をみると、奈義町内のナギテラスで多く乗車し、美作市内の林野駅前で多く降車しています。

▼ナギテラス→勝間田駅 勝間田駅行(2便)



出典:奈義町資料

▼ナギテラス→勝間田駅 勝間田駅行(3便)



出典:奈義町資料

◇勝間田駅→ナギテラス ナギテラス行

バス停別利用者数の総数をみると、勝央町内の勝間田高校や美作市内の林野高校で多く乗車し、奈義町内の金面、豊沢、ナギテラスで多く降車しています。

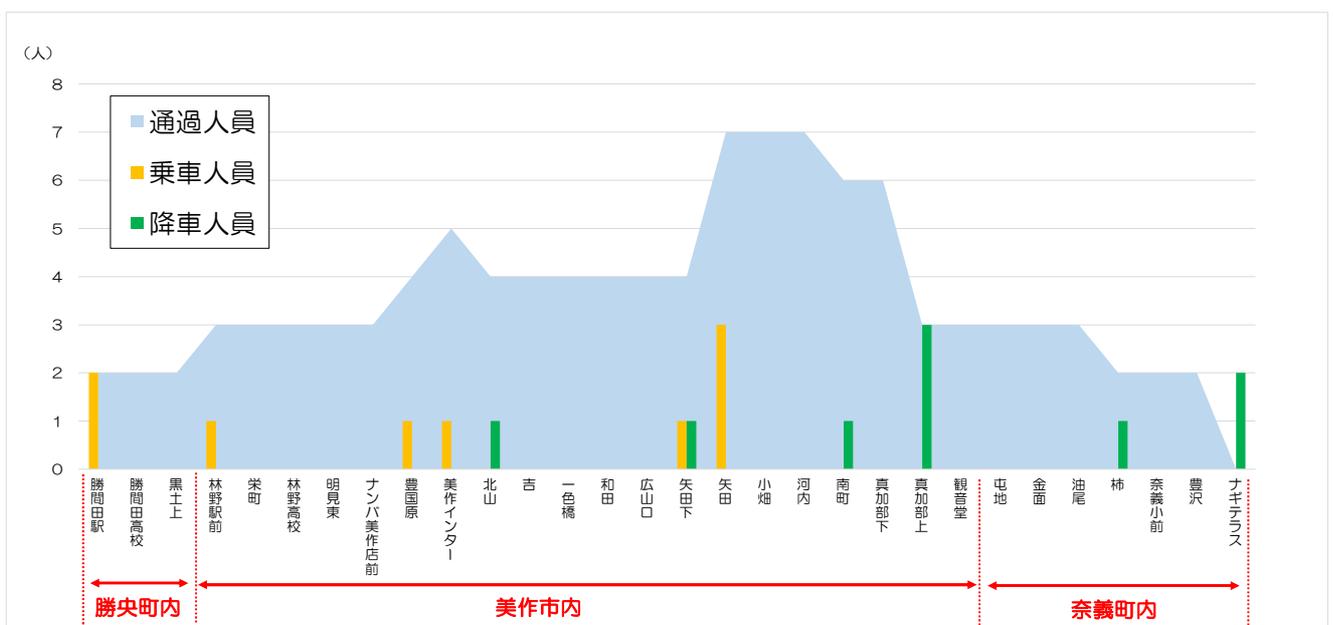
1便をみると、勝央町内の勝間田駅や美作市内の矢田で多く乗車し、美作市内の真加部上や奈義町内のナギテラスで多く降車しています。

▼勝間田駅→ナギテラス ナギテラス行(総数)



出典:奈義町資料

▼勝間田駅→ナギテラス ナギテラス行(1便)

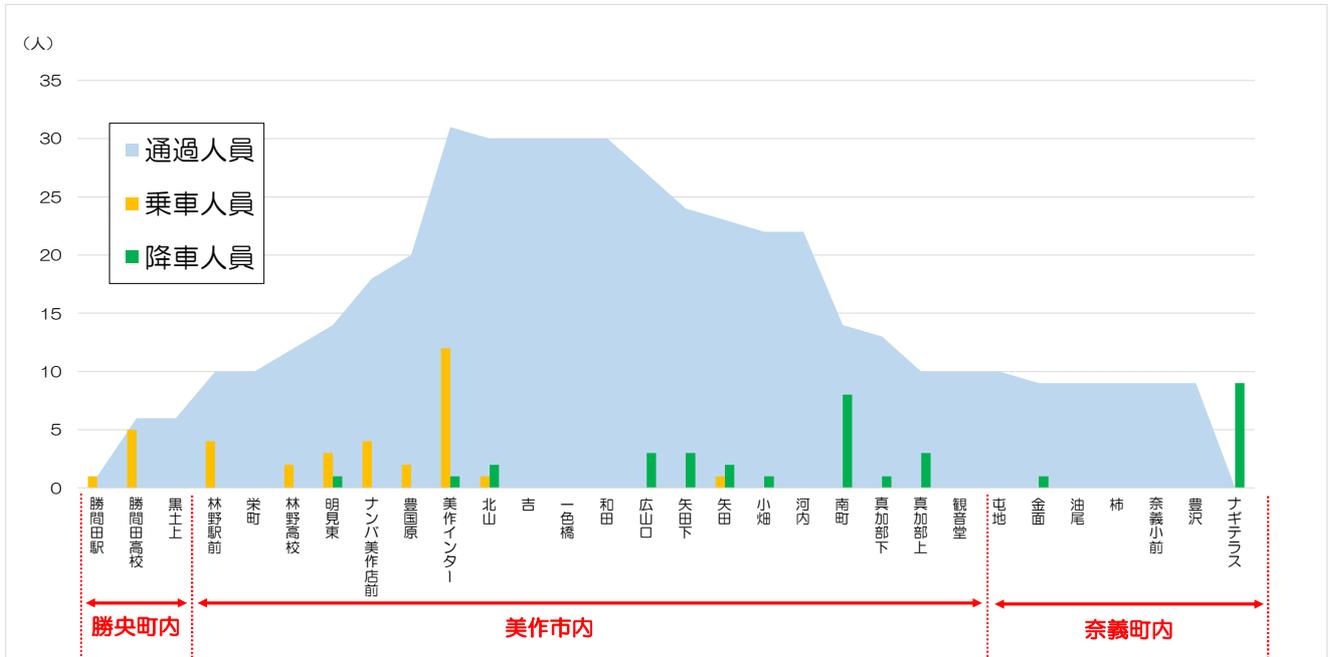


出典:奈義町資料

2便をみると、美作市内の美作インターで多く乗車し、美作市内の南町や奈義町内のナギテラスで多く降車しています。

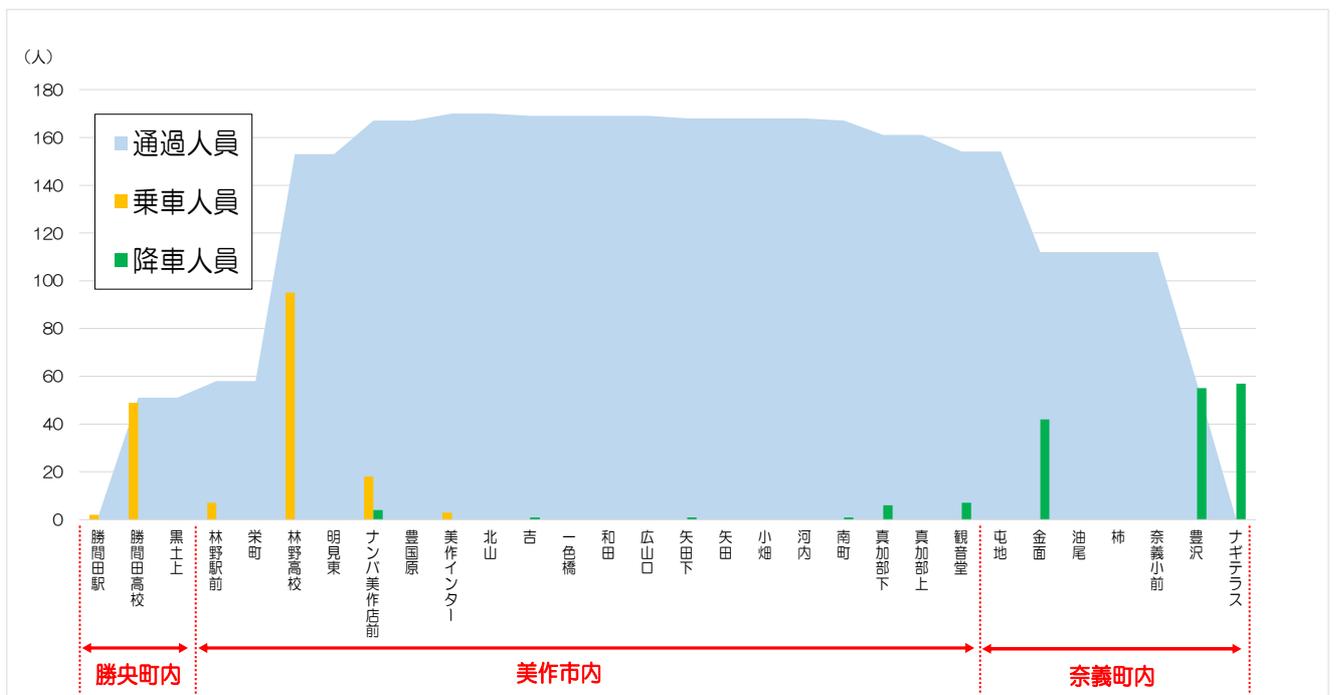
3便をみると、勝央町内の勝間田高校や美作市内の林野高校で多く乗車し、奈義町内の金面、豊沢、ナギテラスで多く降車しています。

▼勝間田駅→ナギテラス ナギテラス行(2便)



出典:奈義町資料

▼勝間田駅→ナギテラス ナギテラス行(3便)



出典:奈義町資料

4.4 さと丸乗り合い交通

(1) さと丸乗り合い交通の概要

本町では、平成 14 年から無料の福祉バス(さと丸バス)として、奈義町社会福祉協議会へ委託し、町内3コースの定時運行をしてきました。しかし、定路線のために福祉バスを利用できない地域があること、また近年の高齢化の進行により、自家用車による移動が困難な高齢者が増加していること等を勘案し、令和元年7月から町の地方創生の柱である『生涯活躍のまちづくり』に向けて、誰もが使いやすい乗り合い型の「さと丸乗り合い交通」を導入しました。

(2) さと丸乗り合い交通の運行形態

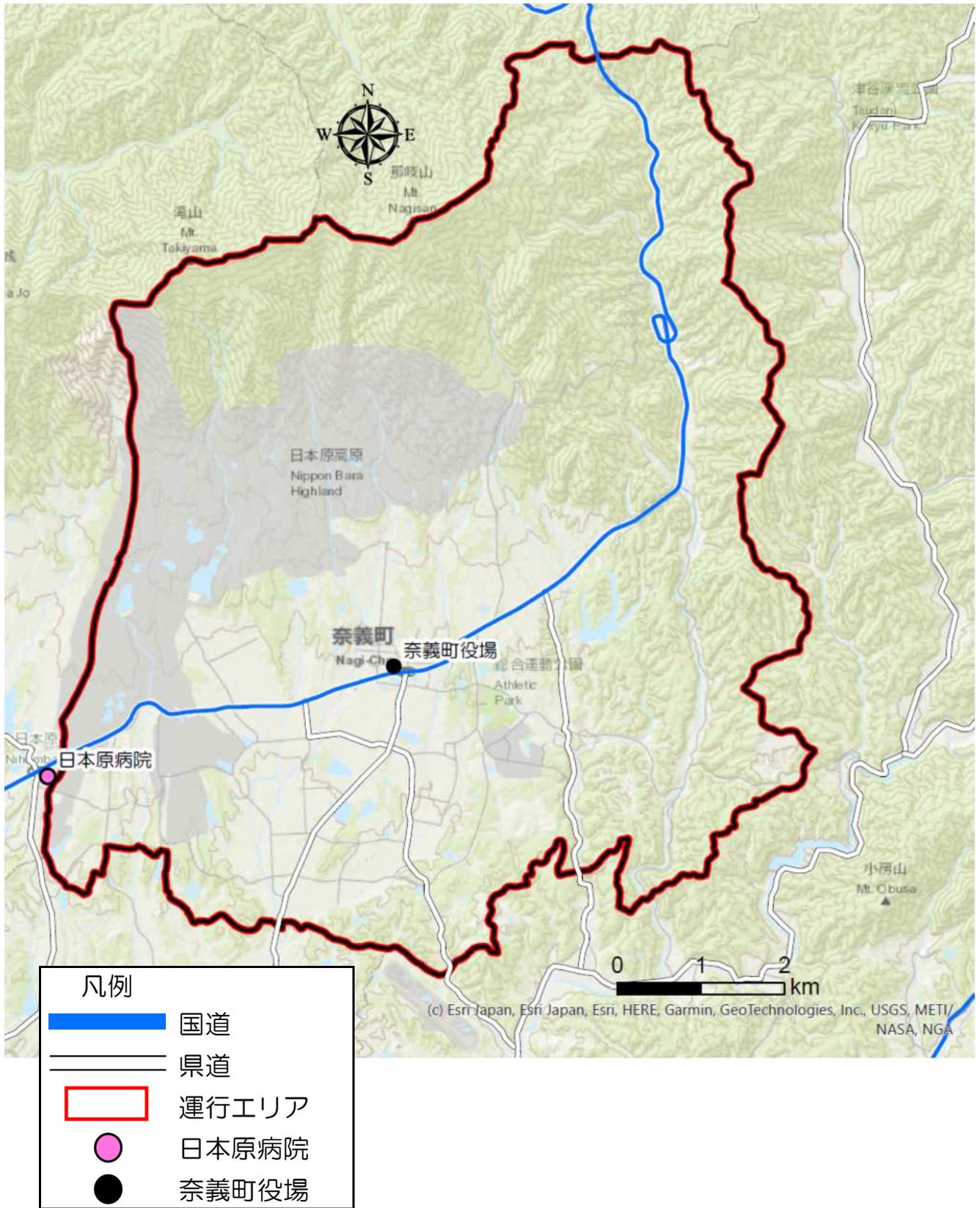
▼運行形態の概要

運行日	月曜日～土曜日【※日曜・祝日・12/29～1/3は運休日】
運行時間	午前8時30分～午後5時00分
予約受付時間	平日の午前8時30分～午後5時00分 ※予約時期：1・2便は前日、2便～15便は1時間前までに予約 ※利用希望日の7日前より受付可能である。
運行エリア	奈義町内全域(個人宅含む)及び日本原病院 【※中鉄北部バスの停留所間(小坂～日本原)の利用はできない】
運賃 (1乗車1人につき)	300円 ・一般利用者(中学生以上)及び町外在住者
	150円 ・小学生 ・障害者手帳等をお持ちの方 ・岡山愛カードをお持ちの方 ・70歳以上の方(運転免許証の有無を問わない) ・乳幼児は無料(原則として保護者同伴)
	回数乗車券 ・3,000円(300円×11枚) ・1,500円(150円×11枚) ※車内及びウォーキングプールで販売中 ※1日の往復料金(600円または300円)で3回以上の利用が可能である。

▼運行時間

8:30～	9:00～	9:30～	10:00～	10:30～	11:00～	11:30～	13:00～
1便	2便	3便	4便	5便	6便	7便	8便
13:30～	14:00～	14:30～	15:00～	15:30～	16:00～	16:30～	
9便	10便	11便	12便	13便	14便	15便	

▼運行エリア



利用方法については、下記のとおりです。

▼利用方法

～ご利用方法～



0120-310-531へ電話



- ①登録番号〇-〇〇の
- ②奈義花子です。
- ③〇日の〇便
- ④自宅で
- ⑤ファミリークリニックまでお願いします。



かしこまりました。
お時間になりましたら
車が見えるところで
お待ちください。

- ①登録番号（登録のある方）
- ②お名前
- ③ご利用日と便名
- ④乗車場所
- ⑤降車場所

個人宅はお名前・所番地
をお知らせください

「帰り」の便がわかっているならば
「行き」と併せて予約できます

ナギテラスで中鉄ほくぶバスに乗り継ぐと 運賃¥300引き！！

※さと丸車内で中鉄に乗り
継ぐ旨を伝えてください
乗り継ぎ券をお渡しします

中鉄に乗り
継ぎます

乗り継ぎ券



乗り継ぎ券



¥300割引いた運賃



乗り継ぎ



乗り継ぎ

※通常の運賃



乗車証明

※乗車証明を渡すとさと丸は無料
になります

さと丸に乗り
継ぎます



乗車証明

※中鉄バスを降りる際に、乗務員にさと丸に乗り継ぐ旨を伝えてください
乗車証明が発行されます

※ご注意ください

- 車両の進入・転回ができない場合は、ご自宅付近までの送迎となります。
- 車内での飲食・喫煙、危険物の持ち込み及びペットの同乗はご遠慮ください。
- 他のお客様のご迷惑となる荷物の持ち込みはご遠慮ください。
- 手押し車、ベビーカーは折りたたんでお乗りください。車両到着時にご指定の場所にいらっしゃらない場合、待つことなく次の利用者のため出発します。
- 利用中、買い物をするなど車両を待たせることはできません。

本町では新型コロナウイルスによる経済対策として、期間限定で利用料金割引を実施しています。さと丸乗り合い交通では利用料金が100円となっています。

▼利用料金割引について

さと丸乗り合い交通・なぎバス

ご利用の皆様へ



利用料金割引のお知らせ

ご利用者の皆様方におかれましては平素よりのご利用ありがとうございます。
このたび奈義町は、新型コロナにより停滞しております経済対策、また昨今の物価高を鑑み、期間限定で町が運行するさと丸交通及びなぎバスの運賃割引を行います。



さと丸乗り合い交通



利用料金は一律100円

- 対象者：町内在住者の方
- 既存の回数券をご利用の方の場合
 -  回数券150円利用者→現金50円返金します。
 -  回数券300円利用者→現金200円返金します。
- なぎバス（乗継割引）

ナギテラスを起点・終点として、なぎバスとさと丸乗り合い交通の両方をご利用の方は、なぎバスの利用料金が片道ごと300円割引となります。

さと丸乗り合い交通←乗継→なぎバス



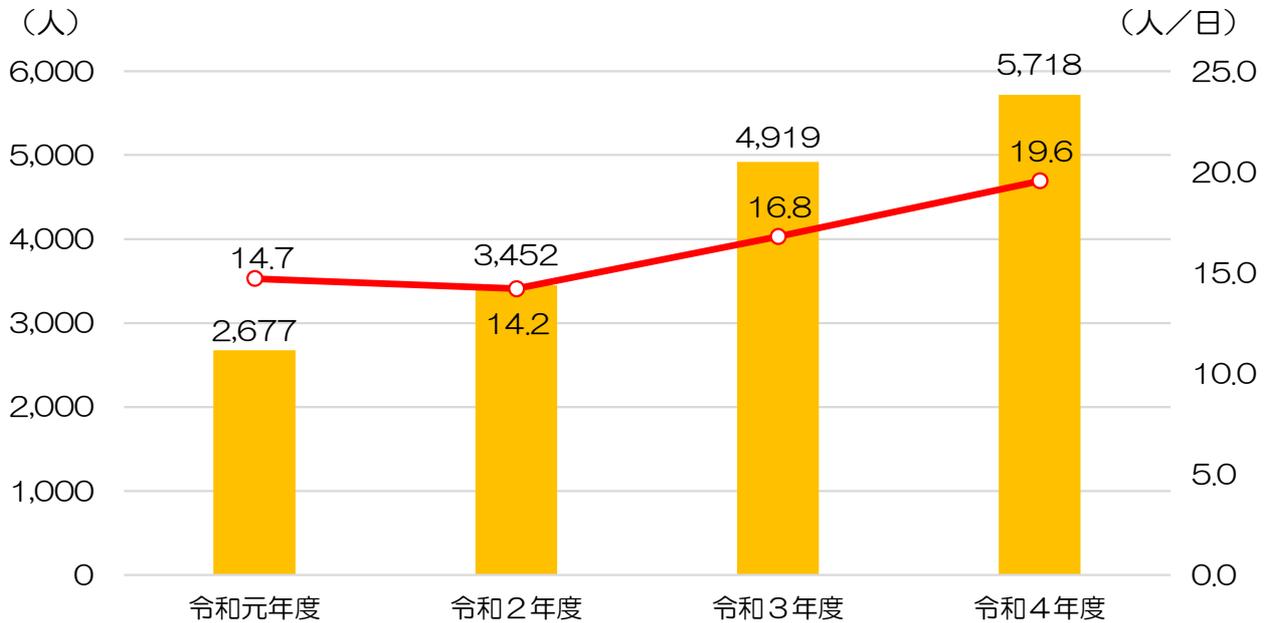
**期間：令和4年7月 1日から
令和5年3月31日まで**

出典：奈義町資料

(3) さと丸乗り合い交通の年間利用者数(延べ人数)の推移

年間利用者数(延べ人数)は増加傾向にあり、令和4年度は5,718人となっています。

▼年間利用者数(延べ人数)及び1日あたりの利用者数の推移



出典: 奈義町資料

※令和元年度は令和元年7月～令和2年3月の合計

※令和元年から令和2年度までは平日のみの運行。令和3年度からは平日と土曜の運行

※延べ人数とは、例えば1人の利用者が1日3回利用した場合、3人として計上することをいう

▼曜日別の年間利用者数(延べ人数)

年度	(人)						合計	(日)	(人/日)
	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜			
令和元年度	237	535	697	577	631		2,677	182	14.7
令和2年度	488	608	685	957	714		3,452	243	14.2
令和3年度	743	942	682	977	1,108	467	4,919	293	16.8
令和4年度	964	1,170	875	1,045	1,036	621	5,711	292	19.6

出典: 奈義町資料

(4) さと丸乗り合い交通の利用状況

1 利用登録者の状況

ア) 大字別の登録者・利用者数

さと丸乗り合い交通の利用者数の状況は、令和4年11月1日現在で217人(男性54人、女性163人)が登録しています。登録者のうち122人(本町の人口の2.1%)の方が利用されています。

大字別の登録者数をみると、人数が最も多いのは高円で32人、割合が最も高いのは小坂で14.0%(14人)となっています。

また、大字別の利用者数をみると、人数が最も多いのは高円で22人、割合が最も高いのは小坂で8.0%(8人)となっています。

▼ 大字別-登録者・利用者数割合(令和3年度)

(人)

地域	大字	登録者数			利用者数	大字別人口	登録者数割合	利用者数割合
		男性	女性	合計				
西地域	上町川	5	8	13	10	282	4.6%	3.5%
	滝本	6	18	24	13	1,041	2.3%	1.2%
	荒内西	1	10	11	8	394	2.8%	2.0%
	中島西	3	8	11	10	437	2.5%	2.3%
	中島東	0	6	6	6	213	2.8%	2.8%
中央地域	柿	4	10	14	11	430	3.3%	2.6%
	久常	1	6	7	2	316	2.2%	0.6%
	広岡	3	9	12	4	322	3.7%	1.2%
	豊沢	4	12	16	5	645	2.5%	0.8%
	成松	1	5	6	1	90	6.7%	1.1%
	宮内	0	2	2	2	110	1.8%	1.8%
東地域	西原	2	13	15	10	191	7.9%	5.2%
	皆木	7	4	11	1	100	11.0%	1.0%
	行方	4	7	11	3	201	5.5%	1.5%
	高円	7	25	32	22	658	4.9%	3.3%
	関本	1	8	9	4	139	6.5%	2.9%
	小坂	5	9	14	8	100	14.0%	8.0%
	馬桑	0	3	3	2	56	5.4%	3.6%
合計		54	163	217	122	5,725	3.8%	2.1%

登録者数(令和4年11月1日現在)

利用者数は、令和3年度に1回以上利用された方の人数
 大字別人口は住民基本台帳(令和4年3月31日現在)より

※上町川の中には、新吉野も含まれる

イ) 年代別の登録者・利用者数

年代別の登録者数をみると、人数が最も多い年代は 80～89 歳で 106 人、割合が最も多い年代は 90～99 歳で 21.9% (48 人) となっています。

また、年代別の利用者数をみると、人数が最も多い年代は 80～89 歳で 56 人、割合が最も多い年代は 80～89 歳で 10.6% (56 人) となっています。

▼年代別・大字別-登録者数割合(令和3年度)

(人)

年代	登録者数																			年代別人口	登録者数割合	
	西地域					中央地域					東地域					合計						
	上町川	滝本	荒内西	中島西	中島東	柿	久常	広岡	豊沢	成松	宮内	西原	皆木	行方	高円		関本	小坂	馬桑			
0～9歳	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	506	0.2%
10～19歳	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	521	0.6%
20～29歳	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	584	0.3%
30～39歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	586	0.3%
40～49歳	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	618	0.2%
50～59歳	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	4	554	0.7%
60～69歳	0	0	0	0	1	1	1	1	1	0	0	0	2	1	0	0	2	0	0	10	738	1.4%
70～79歳	3	3	2	5	1	1	2	0	3	1	0	1	3	2	10	2	1	0	0	40	863	4.6%
80～89歳	3	14	4	3	4	10	3	7	8	4	1	6	3	7	16	4	7	2	0	106	528	20.1%
90～99歳	2	6	4	3	0	2	1	4	2	1	1	8	1	1	5	3	3	1	0	48	219	21.9%
100歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0.0%
合計	13	24	11	11	6	14	7	12	16	6	2	15	11	11	32	9	14	3	0	217	5,725	3.8%

登録者数(令和4年11月1日現在)

年代別人口は住民基本台帳(令和4年3月31日現在)より
※上町川の中には、新吉野も含まれる

▼年代別・大字別-利用者数割合(令和3年度)

(人)

年代	利用者数																			年代別人口	利用者数割合	
	西地域					中央地域					東地域					合計						
	上町川	滝本	荒内西	中島西	中島東	柿	久常	広岡	豊沢	成松	宮内	西原	皆木	行方	高円		関本	小坂	馬桑			
0～9歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	506	0.0%
10～19歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	521	0.4%
20～29歳	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	584	0.2%
30～39歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	586	0.2%
40～49歳	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	618	0.2%
50～59歳	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	4	554	0.7%
60～69歳	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	6	738	0.8%
70～79歳	1	1	4	5	0	0	0	0	1	0	0	2	0	5	1	2	0	0	0	22	863	2.5%
80～89歳	2	7	3	3	4	8	0	1	3	1	1	4	1	2	11	1	2	2	0	56	528	10.6%
90～99歳	0	4	0	1	0	2	0	2	1	0	1	3	0	0	2	1	1	0	0	18	219	8.2%
100歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0.0%
合計	7	13	7	10	4	11	1	3	5	1	2	9	1	3	22	4	6	2	0	111	5,725	1.9%

登録者数(令和4年11月1日現在)

年代別人口は住民基本台帳(令和4年3月31日現在)より

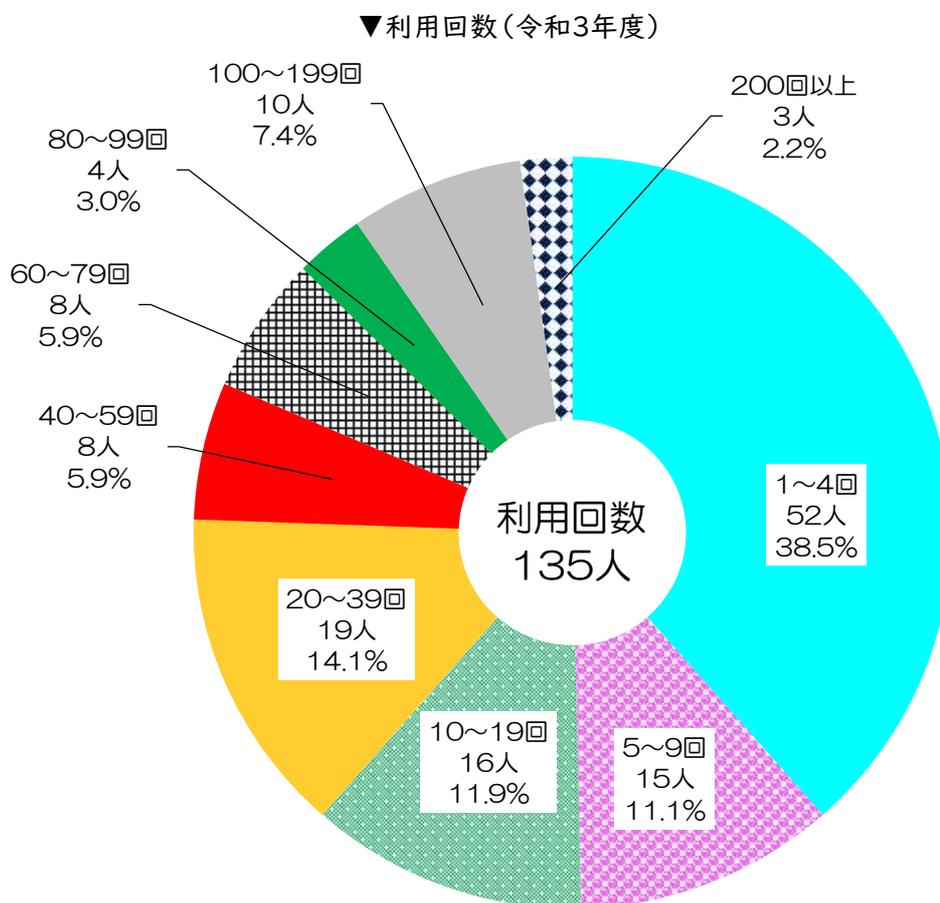
年齢不明: 11人

※上町川の中には、新吉野も含まれる

2 運行状況(令和3年度)

ア) 利用回数(令和3年度)

利用回数をみると、割合が最も高い利用回数は1~4回で38.5%(52人)となっています。また最多利用回数は465回となっています。



出典: 奈義町資料

▼利用回数のまとめ(令和3年度)

運行日数	293日
利用者数(延べ人数)	4,919人
1日の最多利用者数	48人【4/22(木)、6/11(金)、10/29(金)】
1日の最少利用者数	1人【4/3(土)、11/20(土)】
1日の平均利用者数	約16.8人/日(4,919人/293日)
最多利用回数	465回(1人)
利用者数	町内: 122人
	町外: 13人
利用者数(延べ人数)	町内: 4,871人
	町外: 48人

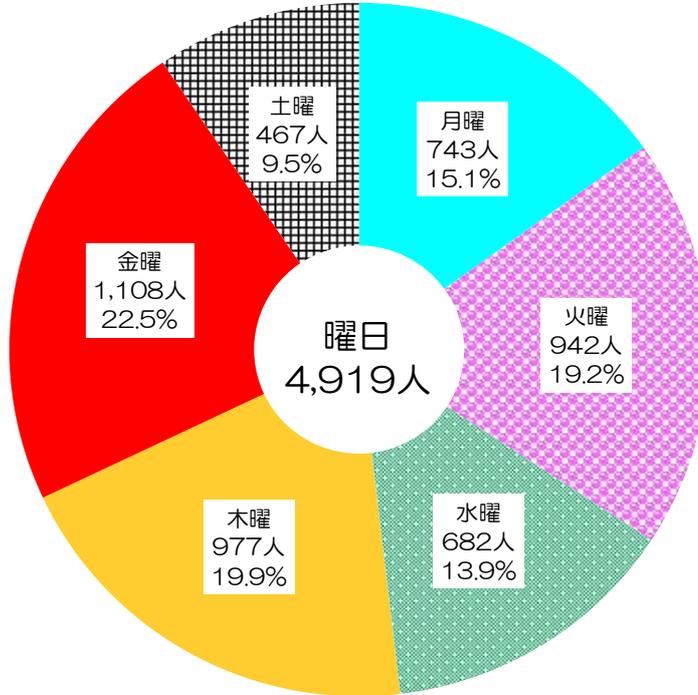
出典: 奈義町資料

イ) 曜日・時間帯別利用者数(延べ人数)(令和3年度)

曜日別をみると、割合が最も高い曜日は、金曜で22.5%(1,108人)となっています。

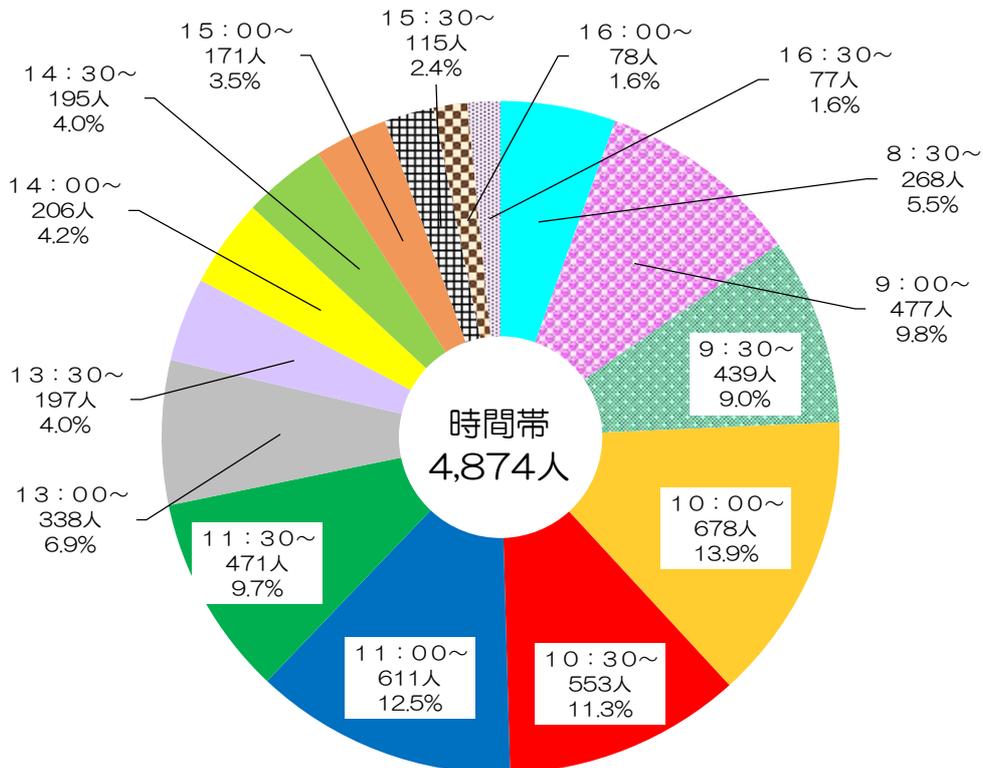
また時間帯別をみると、割合が最も高い時間帯は、10時台で25.2%(1,231人)、次いで11時台で22.2%(1,082人)となっています。

▼曜日別利用者数(延べ人数)(令和3年度)



出典: 奈義町資料

▼時間帯別利用者数(延べ人数)(令和3年度)



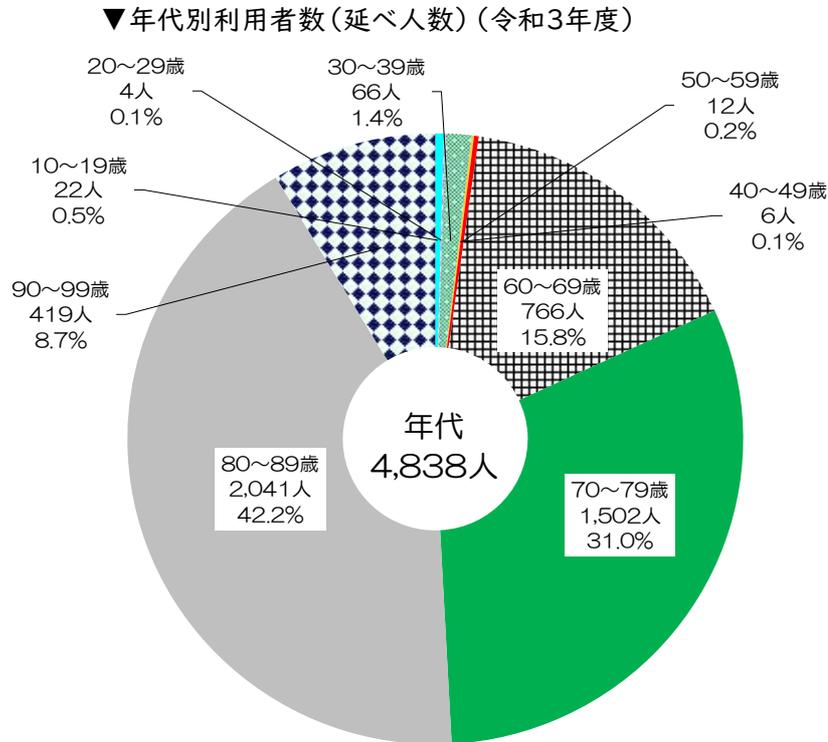
出典: 奈義町資料

※不明: 45人

ウ) 年代・大字別利用者数(延べ人数)(令和3年度)

年代別にみると、割合が最も高い年代は、80～89歳で42.2%(2,041人)となり、次いで70～79歳で31.0%(1,502人)となっています。

大字別に見ると、割合が最も高いのは、高円で27.8%(1,367人)となり、次いで中島西12.8%(630人)となっています。



出典: 奈義町資料
※不明: 81人

▼大字別利用者数(延べ人数)(令和3年度)

(人)

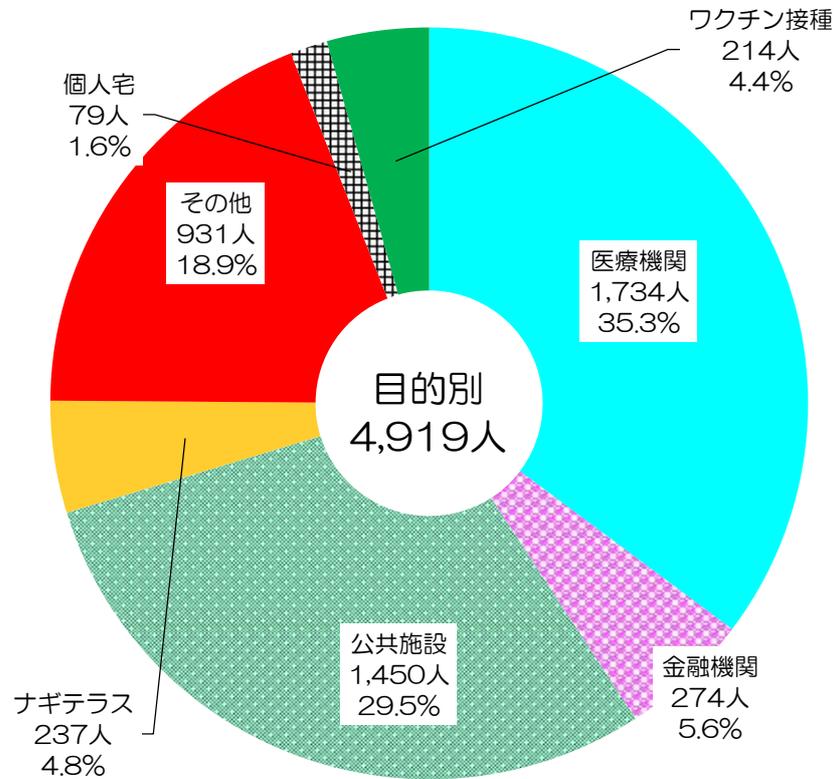
地域	大字	利用者数(延べ人数)	割合
西地域	上町川	73	1.5%
	滝本	413	8.4%
	荒内西	118	2.4%
	中島西	630	12.8%
	中島東	130	2.6%
中央地域	柿	130	2.6%
	久常	116	2.4%
	広岡	41	0.8%
	豊沢	74	1.5%
	成松	69	1.4%
	宮内	154	3.1%
東地域	西原	506	10.3%
	皆木	50	1.0%
	行方	192	3.9%
	高円	1,367	27.8%
	関本	26	0.5%
	小坂	586	11.9%
	馬桑	196	4.0%
町外		48	1.0%
合計		4,919	100.0%

出典: 奈義町資料
※上町川の中には、新吉野も含まれる

エ) 目的別利用者数(延べ人数)(令和3年度)

目的別にみると、割合が最も高い目的は、医療機関で 35.3%(1,734 人)となり、次いで公共施設で 29.5%(1,450 人)となっています。

▼目的別利用者数(延べ人数)(令和3年度)



出典: 奈義町資料

4.5 なぎバス及びさと丸乗り合い交通の収支率

令和4年度の運賃収入は、なぎバス 2,255,110 円、さと丸乗り合い交通 855,500 円となっており、なぎバス及びさと丸乗り合い交通の収支率は12.0%となっています。

▼運行事業費、財源及び収支率

		令和3年度	令和4年度
さと丸乗合交通・なぎバス等運行事業費（円）		23,546,782	25,871,718
事業費内訳	会計年度任用職員報酬（円）	13,335,833	13,861,927
	会計年度任用職員期末手当（円）	2,498,805	2,567,340
	職員共済組合負担金（円）		438,805
	会計年度任用職員社会保険料（円）	2,460,426	2,011,159
	費用弁償（円）	285,600	285,600
	業務・事業委託料（円）	4,966,118	6,585,337
	備品購入費（円）		121,550
財源（円）		23,546,782	25,871,718
財源内訳	なぎバス運賃収入（円）	1,845,200	2,255,110
	さと丸乗り合い交通運賃収入（円）	636,450	855,500
	なぎバス運行負担金（円）	704,000	883,000
	一般財源（円）	20,361,132	21,878,108
収支率（%）		10.5	12.0
年間利用者数 （延べ人数）	なぎバス（人）	4,581	5,631
	さと丸乗り合い交通（人）	4,919	5,718

出典：奈義町資料

$$\text{収支率} = ((\text{なぎバス運賃収入} + \text{さと丸乗り合い交通運賃収入}) / \text{さと丸乗合交通・なぎバス等運行事業費}) \times 100$$

4.6 スクールバス

奈義町では奈義小学校へ通学するためのスクールバスを運行しています。

スクールバスの車種はハイエースで、乗車定員は15人です。

利用料金は、1年間で3,300円（300円×11ヶ月分）となります。

▼スクールバスの利用者数の推移

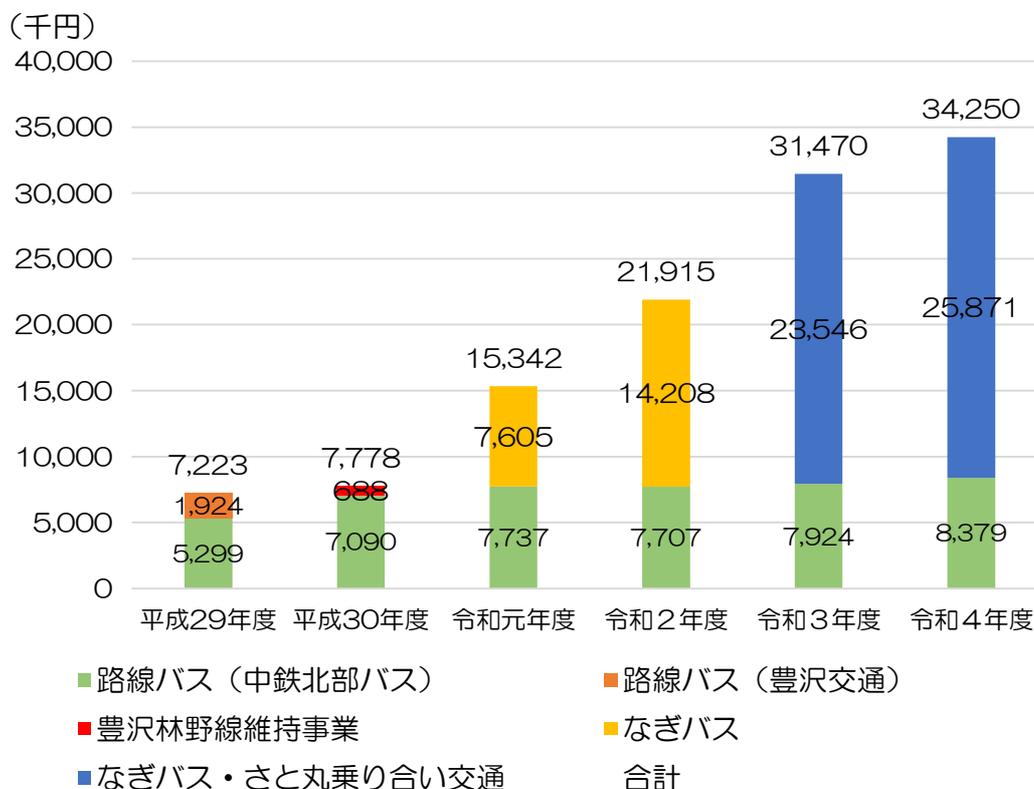
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用者数（人）	5	6	4	5	7	5

出典：奈義町資料

4.7 本町の公共交通への公的負担金

本町の公共交通への公的負担金の推移は、増加傾向にあり、令和4年度は約 34,250 千円となっています。

▼本町の公共交通への公的負担金の推移



	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	千円	割合										
路線バス（中鉄北部バス）	5,299	73.4%	7,090	91.2%	7,737	50.4%	7,707	35.2%	7,924	25.2%	8,379	24.5%
路線バス（豊沢交通）	1,924	26.6%										
豊沢林野線維持事業			688	8.8%								
なぎバス					7,605	49.6%	14,208	64.8%				
なぎバス・さと丸乗り合い交通									23,546	74.8%	25,871	75.5%
合計	7,223	100.0%	7,778	100.0%	15,342	100.0%	21,915	100.0%	31,470	100.0%	34,250	100.0%

出典：奈義町資料
※百円以下切り捨て

4.8 交通結節点の整備状況

本町では多世代交流広場ナギテラスを整備しており、交通結節点となっています。

▼整備状況

待合機能				車両転回 場所	駐車場	駐輪場
待合所	上屋	ベンチ	トイレ			
○(室内)	○	○	○	○	○	○

▼ナギテラスの外観



▼なぎバスのバス停



▼中鉄北部バス(左)とさと丸乗り合い交通(右)



▼上屋



▼駐輪場



▼観光案内所前



4.9 公共交通空白地域

路線バス及びなぎバスのバス停から 300m 圏域内に含まれる 250m メッシュの令和2年国勢調査の人口を公共交通カバー人口とし、令和2年国勢調査の本町の人口から公共交通カバー人口を引いたものを公共交通空白地域の人口とした場合、本町の公共交通空白地域の人口は、3,522 人(63.1%)になります。

ただし、本町ではさと丸乗り合い交通の運行エリアを町内全域としているため、さと丸乗り合い交通の運行エリアを追加して公共交通空白地域の人口を算出した場合、0人(0.0%)になります。

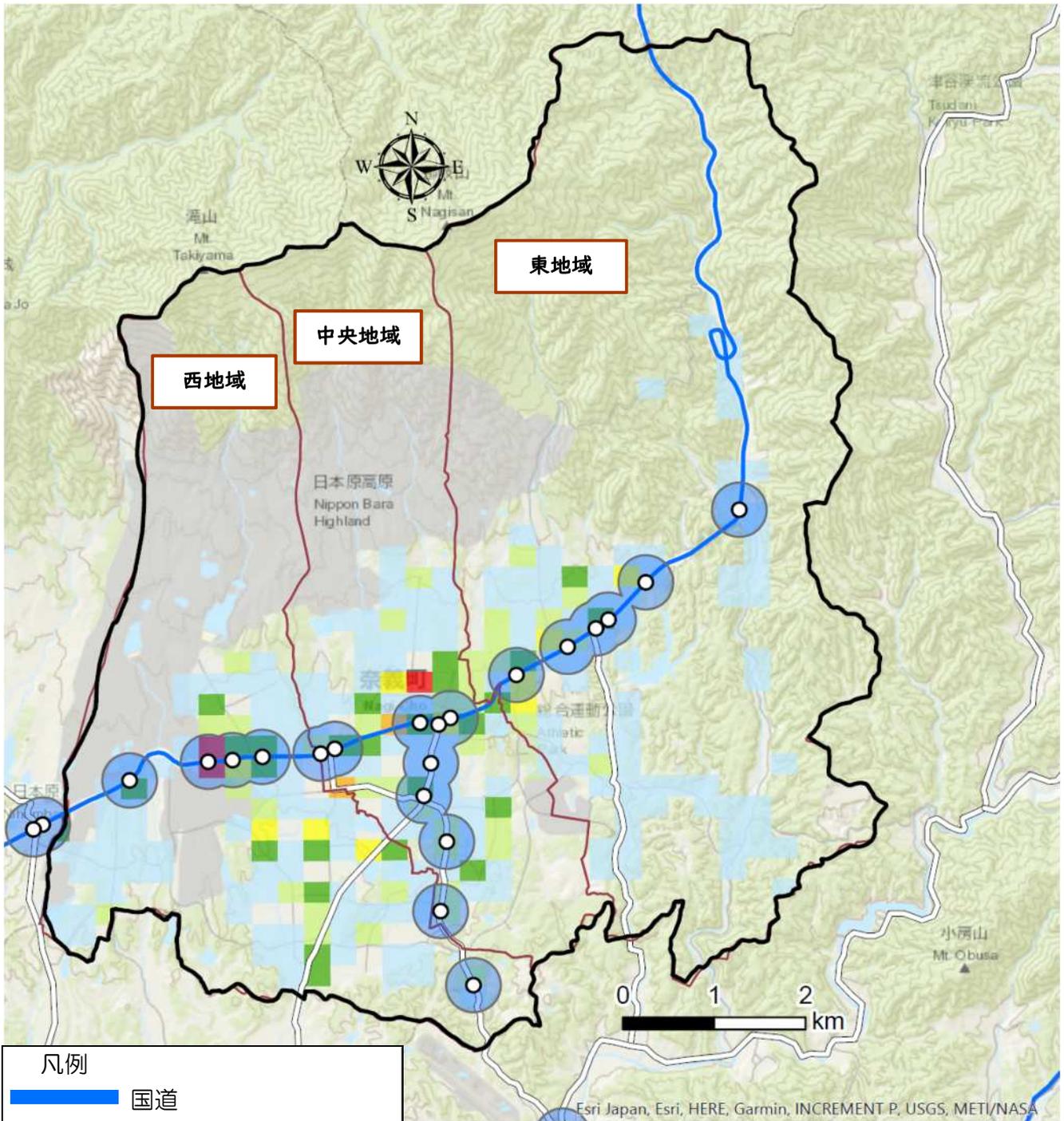
▼公共交通空白地域の人口

地域	総人口(人) (年齢「不詳」含む)	公共交通空白地域	
		人口(人)	人口比率(%)
全域	5,578	3,522	63.1%
西地域	2,274	1,414	62.2%
中央地域	1,928	1,219	63.2%
東地域	1,376	889	64.6%

出典：令和2年国勢調査 250m メッシュデータより算出

西地域 … 新吉野、上町川、滝本、荒内西、中島西、中島東
 中央地域… 柿、久常、広岡、豊沢、成松、宮内
 東地域 … 西原、皆木、行方、高円、関本、小坂、馬桑

■バス 300m 圏域及び 2020 年国勢調査による 250mメッシュ総人口



凡例	
	国道
	県道
	地域名 地域界
250mメッシュデータ	
	1-20人
	21-40人
	41-60人
	61-80人
	81-100人
	101人以上
	バス停
	バス停から300m圏域

出典:令和2年国勢調査 250mメッシュデータ

この範囲以外が公共交通空白地域となる。

4.10 公共交通に対する住民ニーズ

(1) アンケート調査概要

1 目的

「奈義町地域公共交通計画」の策定に際して、本町における公共交通の利用実態や住民ニーズ等を把握し、今後の地域公共交通の方向性を検討するための基礎資料を得ることを目的として住民アンケート調査を実施しました。

2 調査概要

- ① 調査対象：15 歳以上
- ② 調査期間：令和4年9月
- ③ 調査方法：郵送による配布・回収
- ④ 配布数：(全体)送付数 400 通
- ⑤ 回収状況：(全体)回収数 回収：168 通 有効回収率：42.0%

3 調査項目

- ① あなた自身のことについて(回答者の属性)
- ② 外出の頻度や目的について(外出の実態)
- ③ 奈義町の将来的な公共交通のあり方について

4 アンケート設問と回答方法及び集計方法

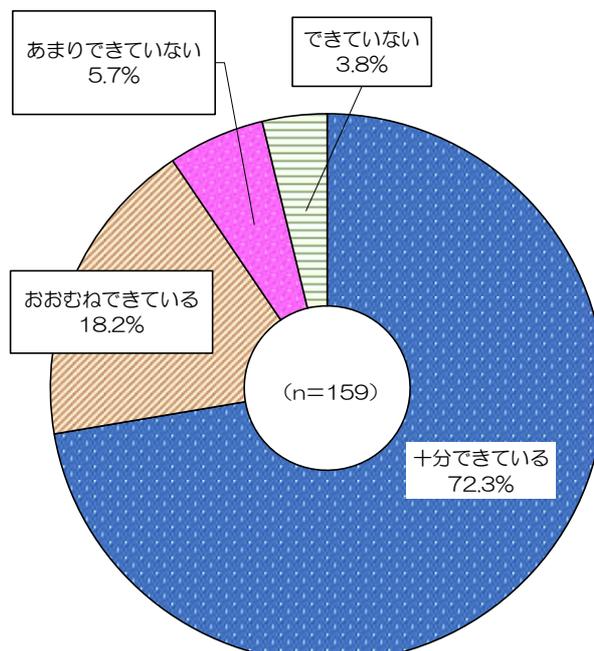
アンケート各設問に対し、単純集計を行い、さらにクロス集計(居住地域別・性別・年齢別・世帯構成別・職業別)を行い、グラフ等を用いて分析しました。

(2) アンケート集計結果

【現在、希望どおりの外出(通院や買物など日常生活の移動)はできていますか。】(回答1つ)

「十分できている・おおむねできている」方が90.5%。

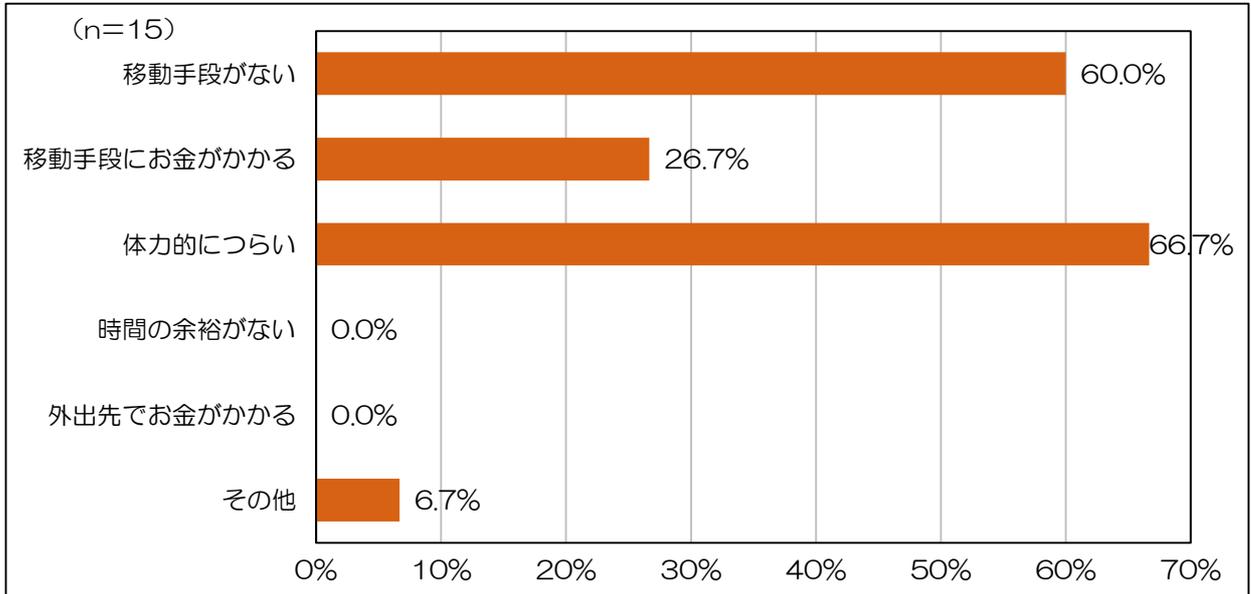
「あまりできていない・できていない」方が9.5%。



【希望どおりの外出ができない理由】（回答2つ以内）

（前ページの設問で「あまりできていない・できていない」と回答された方が回答）

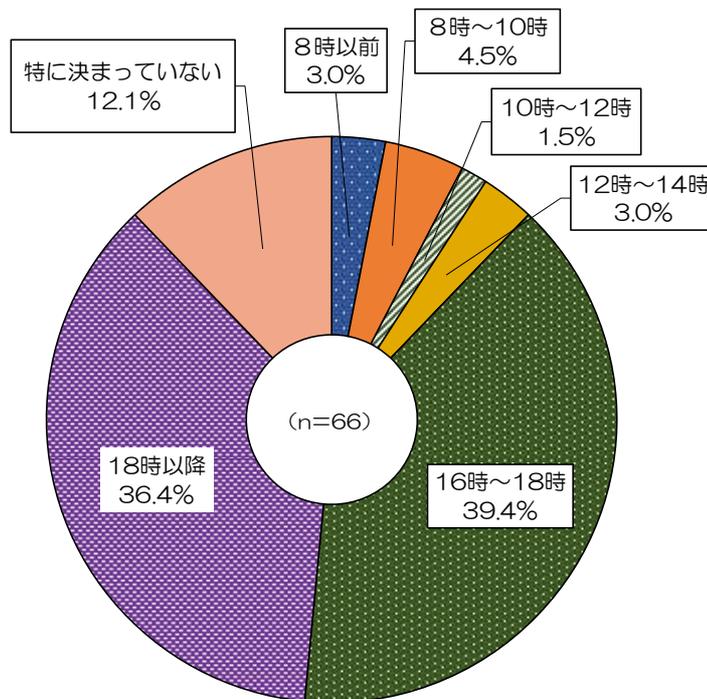
「体力的につらい」が66.7%で最も多い。
 次いで「移動手段がない」が60.0%の順に多い。
 その他の内容「介護世帯のため」。



※複数回答のため合計が100%にならない。

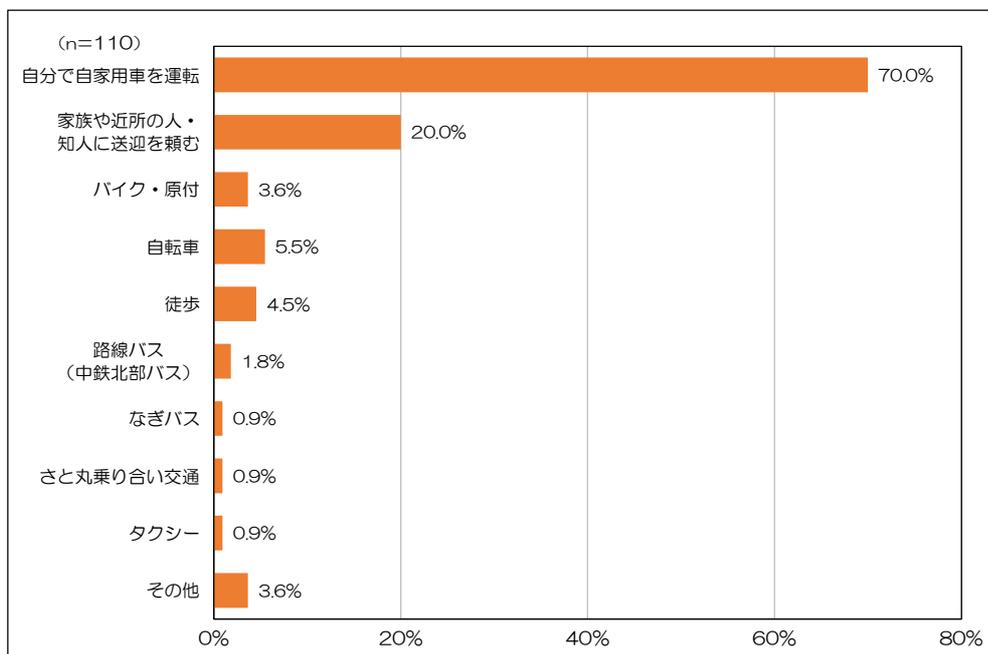
【通勤・通学の時間帯について（自宅への帰宅時間）】（回答1つ）

「16時～18時」が39.4%で最も多い。
 次いで「18時以降」が36.4%、「特に決まっていない」が12.1%の順に多い。



【通院の主な交通手段】(あてはまるもの全て)

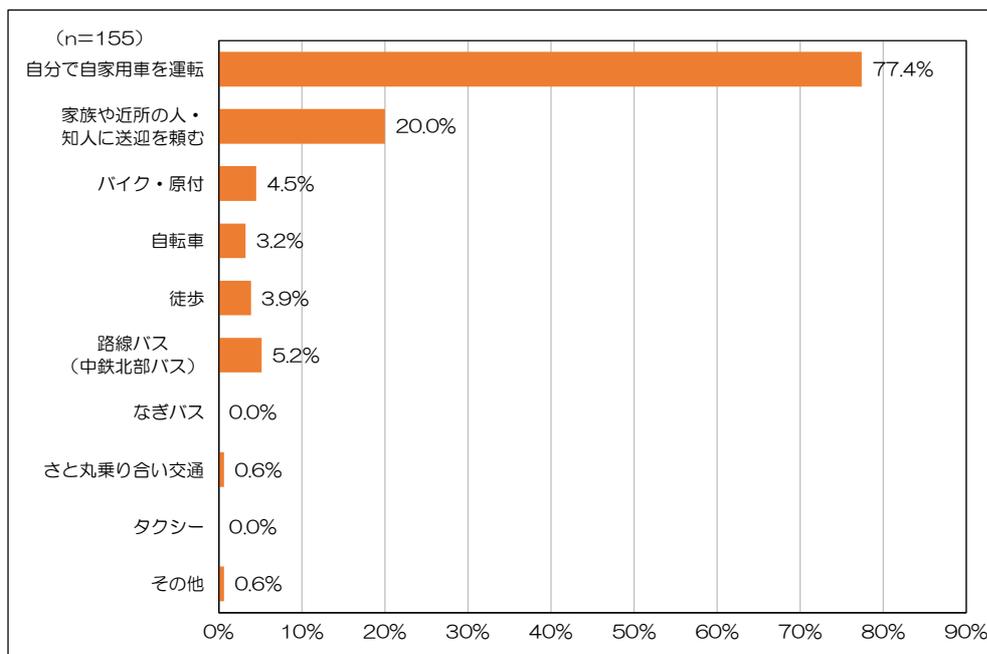
「自分で自家用車を運転」が70.0%で最も多い。
次いで「家族や近所の人・知人に送迎を頼む」が20.0%、
「自転車」が5.5%、「徒歩」が4.5%の順に多い。



※複数回答のため合計が100%にならない。

【通院の主な交通手段】(あてはまるもの全て)

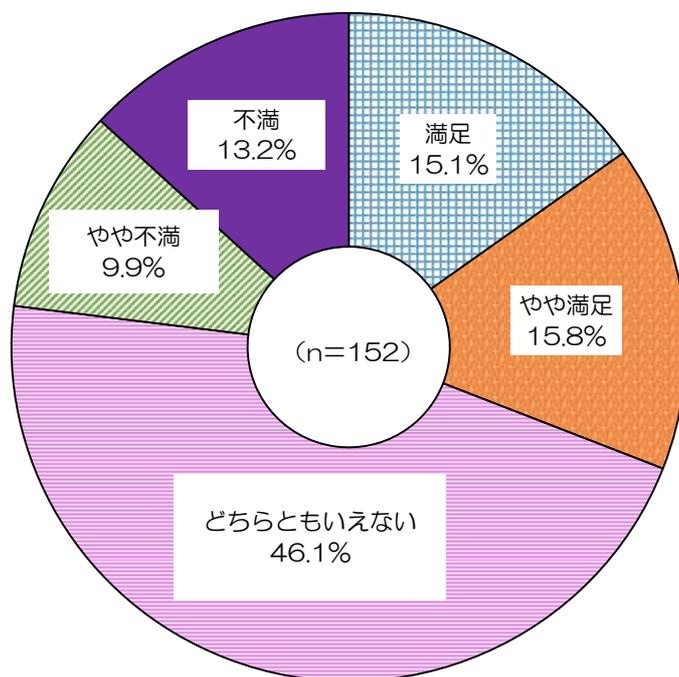
「自分で自家用車を運転」が77.4%で最も多い。
次いで「家族や近所の人・知人に送迎を頼む」が20.0%、
「路線バス(中鉄北部バス)」が5.2%、「バイク・原付」が4.5%の順に多い。



※複数回答のため合計が100%にならない。

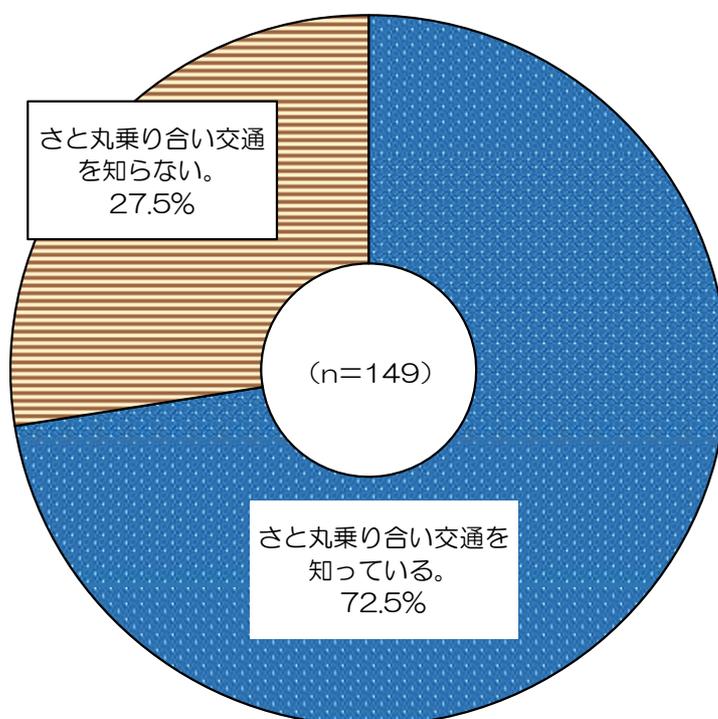
【公共交通に満足していますか。】(回答1つ)

「どちらともいえない」が46.1%で最も多い。
次いで「やや満足」が15.8%、「満足」が15.1%の順に多い。



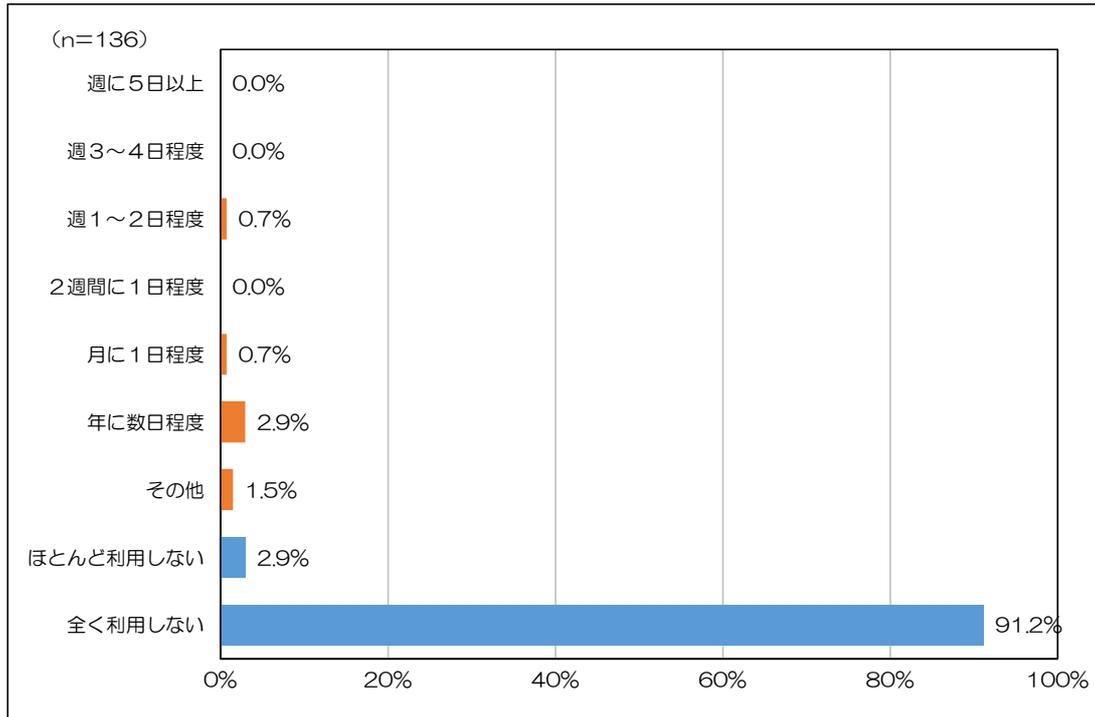
【さと丸乗り合い交通を知っていますか。】(回答1つ)

さと丸乗り合い交通を「知っている」方が72.5%。「知らない」方が27.5%。



【普段の生活で、さと丸乗り合い交通を利用していますか。】(回答1つ)

「ほとんど利用しない」「全く利用しない」が94.1%となっている。



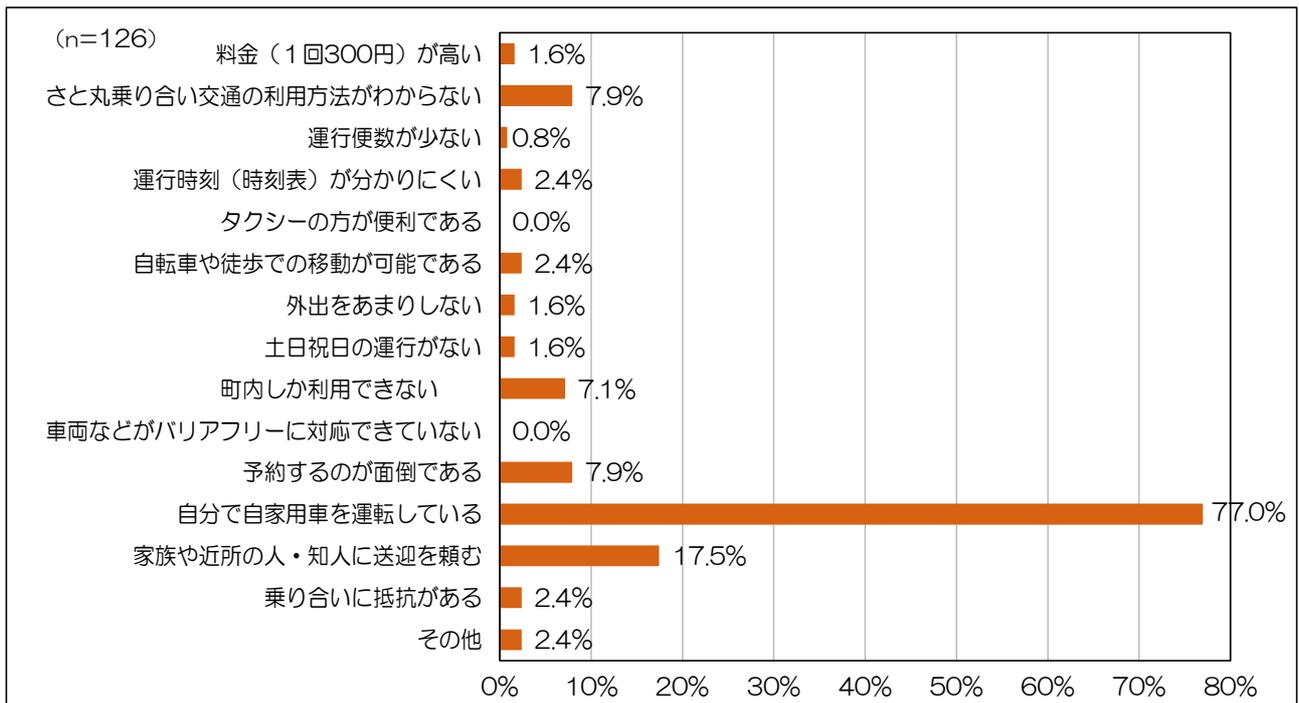
【さと丸乗り合い交通を利用しない理由】(回答3つ以内)

(前設問で「ほとんど利用しない」「全く利用しない」と回答された方が回答)

「自分で自家用車を運転している」が77.0%で最も多い。

次いで「家族や近所の人・知人に送迎を頼む」が17.5%、「さと丸乗り合い交通の利用方法がわからない」「予約するのが面倒である」が7.9%の順に多い。

その他の内容「他の手段がある」「利用する必要がない」等。



4.11 交通事業者ヒアリング

■ヒアリング対象者：中鉄北部バス

■日時：令和4年9月28日

■路線バス：「津山駅～行方線」及び「津山駅～馬桑線」

※ヒアリング時は、「津山駅～馬桑線」が運行されていたが、令和5年8月1日より「津山駅～小坂線」が運行されている。

1 路線バスの利用者の状況・特徴について

- ◇主には高校への通学者が多く、通勤で利用する人はほぼいない。
- ◇昼間はイオンモール津山への買い物客、津山中央病院の通院者が利用している。
- ◇ピークの時間帯は朝や16時頃で、昼間の利用者は少ない。
- ◇利用者の多いバス停留所は、自衛隊前、行方、馬桑である。

2 路線バスの運行に係る問題点・課題について

①運行ルートの変更予定について

- ◇変更予定は今のところない。

②運行ダイヤ(時刻表)について

- ◇改正時期は決まっていない。また、現在は改正する予定はない。
- ◇改正する場合、町とは3ヶ月前には準備のための協議を行う。確定したものは1ヶ月前には連絡する。

③料金・割引制度について

- ◇距離が長い路線のため、運賃は高くなってしま(津山駅から馬桑は片道1,010円)。
- ◇定期券利用者(通学)より高いと言われる。
- ◇運賃は距離に応じて設定している。
- ◇運賃を下げることは難しい。
- ◇定額制(サブスクリプション)・QRコード決済の導入予定はない。
- ◇交通系ICカードの導入は検討しているが、導入時期は未定である。
- ◇バスカードは割引制度の一つである。

④バス停の設置場所・名称変更等について

- ◇設置場所・名称変更の予定はない。
- ◇バス停の更新は岡山県バス協会の協力により行い、わかりやすくなっている。

⑤バス停周辺施設(駐車場、駐輪場)の整備について

- ◇現在改修予定はない。

⑥待合環境(上屋、ベンチ等)の整備及びバリアフリーへの対応状況について

- ◇上屋はスペースが必要になり、設置が難しい。自社では用意できないため、岡山県バス協会と年1回設置できるときに相談し検討を行う。古いものは改修が必要だが、今のところ考えていない。
- ◇ベンチ設置には国土交通省の許可が必要になり、管理も難しいため、自社では設置していない。今後設置する予定もない。住民が好意で設置してくれている箇所もある。

⑦バスロケーションシステムの設置等について

- ◇デジタルサイネージの整備は直近で行う予定はないが、今後設置について検討する必要がある。

◇インターネット上でバスの位置情報をリアルタイムで確認できるように津山市内では一部整備している。町内を走る路線はできていない。

⑧利用者からの意見について

◇アンケート用の目安箱を用意し、津山駅前の乗車券売り場前に設置している。ご意見は少ない。

◇利用者からは、便数が少ない、1時間おきに運行してほしいという声を直接いただいている。

◇学校からの要望で、部活動の時間に間に合わすため、5～10分遅らせたことがある。

◇鉄道への接続の要望はあるが、来年のダイヤ改正に合わせてできることは実施していく。

5 路線バスの将来計画等について

①運行における安全施策について

◇今まで事故はない。

②利用促進策について

◇観光案内付きの時刻表を作成している。奈義町では津山駅から現代美術館行きを載せている。

◇1年前から始業式の時期に、奈義中学校にポケットサイズの時刻表を配布している。

◇自衛隊へは時刻表を配布し、PR活動している。

◇全世帯への時刻表の配布はできていない。

◇乗り方教室は奈義町ではできていないが、津山市では老人会や小学校等で実施した。町から依頼があれば行うことはできる。

◇町内企業への利用の呼びかけはできていない。

③運転手の確保について

◇運転手の平均年齢は55歳ぐらいである。

◇ハローワーク、人材派遣、自社広報で募集をかけているが、厳しい状態である。

◇乗務員の知り合いにお願いして来てもらっている。

◇コロナ禍での失業等によって就職した例がある。

④車両購入について

◇基本的には自前で購入している。町からは運行費の補助金をいただいている。

◇購入していかないといけないが、コロナ禍で収入落ち込んでおり、対応が難しい。

◇今後5年以内には購入したいが費用の出所について要検討している。

⑤経営状態について

◇廃止予定の路線は今のところない。

◇廃止の数値的な基準はないが、利用者や費用対効果、補助金等を勘案して検討する。また事前には町に相談・協議を行い、対応策を検討する。

⑥コロナ禍の影響について

◇利用者数は、高校生は戻ってきたが、買い物等は近場(町内)で済ますようになっていることが考えられ、コロナ禍前の数値にはなかなか戻っていない。

5 その他

◇利用者を増やすことを目標として、高齢化によって免許返納者が増えることが考えられることから、免許返納をした人でも利用しやすい交通機関の構築を行っていきたい。

◇お年寄りからはバス停が遠いと聞かため、良い提案があればしてほしい。

■ヒアリング対象者:ビジット奈義

■日時:令和4年8月頃(書面にて回答)

■ア. なぎバス

1 なぎバスの利用者の状況・特徴について

◇高校生の通学手段を念頭に置いてダイヤを作成したものであり、林野高校・勝間田高校の学生が主な利用者で、「林野高校」「勝間田高校」停留所が乗降の多くを占めている。

◇7:20 ナギテラス発及び 17:35 勝間田駅発の便に利用者が集中しており、昼間は奈義町から美作市内へ通勤者、美作インター～明見東の間での買い物・通院目的の利用者が数名おり、美作共同バスとの併用で利用している。

2 なぎバスの運行に係る問題点・課題について

①運行ルートについて

◇現在はルート変更を考えていないが、少子化による高校統廃合など、運行の目的から大きく乖離する事態があれば変更を検討しなければならないと思う。

②運行ダイヤ(時刻表)について

◇ダイヤ変更は予定していない。

③料金・割引制度について

◇奈義町から美作市内に入ると運賃が500円となるため割高感があり、アンケートでは400円または300円という声もあった。また定期券の発行希望も比較的多くあった。

◇奈義町が独自に実施している「ナギフトカード」(ポイント付与・電子決済サービス)での支払いを可能にすべく計画中である。

④バス停について

◇バス停を更新する予定は現在なく、新規に整備する予定はない。

⑤バス停周辺施設(駐車場、駐輪場)について

◇整備、改修等の予定はない。

⑥待合環境(上屋、ベンチ等)、バリアフリー化について

◇整備、改修等の予定はない。

⑦バスロケーションシステムについて

◇デジタルサイネージの整備予定はない。

⑧利用者からの声について

◇現在3往復のダイヤで運行しているが、4~8往復以上運行の要望がある。

◇最終便は部活動後に利用できるよう、現在より時間を遅らせる要望がある。

◇運賃は300~400円の希望が多い。

◇定期券発行の要望が多い。

3 なぎバスの将来計画等について

①運行における改善点について

◇平成31年4月より運行を開始し、現在まで物損を含む交通事故及び車内事故・その他人員に対する傷害事案はない。

②利用促進について

◇令和4年7月より令和5年3月末までの間、経済対策・物価高騰対策の観点よりさと丸乗り合い交通と連携し300円割引サービスを実施している。

◇乗り方教室は実施可能だと思うが、なぎバスを利用する方で対象となる方々が思いつかな

い。

◇時刻表は令和元年運行に先立ち奈義町内は全戸へ、美作市及び勝央町には 4,000 部ほど配布したと記憶している。

◇町内企業への呼びかけは行っていない。

③運転手の確保について

◇運転手の平均年齢は 60.2 歳である。

◇毎年、会計年度任用職員の募集を行っているが応募者はいない。しかしながら就職援護組織などと協力し希望者を募っている。

④コロナ禍の影響

◇コロナ禍の影響は感じていない。

5 その他

◇ワンマン機器搭載の路線バスの導入を希望する。

◇運転手は、なぎバス・さと丸乗り合い交通・スクールバスを兼務で運行している。

■イ.さと丸乗り合い交通

1 さと丸乗り合い交通の利用者の状況・特徴について

◇利用者は 80 歳代を中心として 70 歳代～90 歳代の女性が主に利用されている。男女の比率は女性 90%、男性 10%である。

◇利用時間は主に午前中に集中しており、医療機関への送迎・買い物での利用が多く、9:00～11:30 がピークの時間帯となる。

2 さと丸乗り合い交通の運行に係る問題点・課題について

①料金・割引制度

◇中学校から 70 歳未満は 300 円で「料金が高い」との声をいただいている。しかしながら期間限定ではあるが、料金を現在一律 100 円としており、今までご利用の無かった方もご利用を始められた。

②利用者からの声

◇日曜祝日も運行してほしいという要望がある。

◇運行時間を午前7時あるいは8時から午後6時から8時まで延長を希望する声があった。

3 さと丸乗り合い交通の将来計画等について

①運行における改善点

◇令和元年7月より運行を開始し、現在まで物損を含む交通事故及び車内事故・その他人員に対する傷害事案はない。

◇利用者が増加し運行回数が増えれば、AI 等を活用した配車システムの導入及び乗務員・車両の増加は要検討事項になると思う。

②利用促進

◇乗り方教室を実施することは可能だが、今のところ必要性は感じていない。

③運転手の確保

◇(なぎバスと同じ)

④コロナ禍の影響

◇蔓延防止等重点措置が発表されるたびに利用者が4割から5割減る月が多くあったが、現在は月間の利用者が400名を超えており、新規利用者の増加も相まって堅調に推移している。

4 その他

◇老朽化した車両の買い替えを希望する。

■ウ. スクールバス

1 スクールバスの運行に係る問題点・課題について

①利用者・保護者からの声

◇通園・通学バスは教育委員会と連携を取り運行しているため、利用者・保護者の声は間接的に聞きいている。

②一般客混乗について

◇さと丸乗り合い交通等で対処しているため、地域の方（一般客）がスクールバスに乗りたいという要望はない。

2 スクールバスの将来計画等について

①運行における改善点

◇物損を含む交通事故及び車内事故・その他人員に対する傷害事案はない。

②運転手の確保

◇（なぎバスと同じ）

第5章 地域公共交通に関する問題点と課題の整理

5.1 問題点の整理

これまでの調査・分析結果を踏まえ、奈義町における地域公共交通に関わる問題点を以下のように整理します。

問題点① 路線バスの利用者が減少している

路線バスの利用者は、現在、減少傾向にあり(平成 30 年度 130,119 人→令和4年度 109,460 人)、今後もこの傾向は続くものと思われます。

利用者が減ることで路線バスに対する補助額の増加は止むを得ず、このことが町の財政負担の一因となっています(中鉄北部バスへの補助額:平成 29 年度 5,299 千円→令和4年度 8,379 千円)。

問題点② 10人に1人が「希望どおりの外出ができていない」と感じている

希望どおりの外出が「あまりできていない・できていない」と回答された方は 9.5%で、これらのほとんどが高齢者です。それらの方の外出できていない理由としては、「体力的につらい」が 66.7%で最も多く、次いで「移動手段がない」が 60.0%と続いています。(住民アンケート調査:第4章 59~60 ページ参照)

問題点③ 公共交通が移動手段の選択肢になっていない

通勤・通学の帰宅時間は 18 時以降が 36.4%で2番目に多いですが、路線バスは、奈義町方面へ約 2時間に4本の運行であり、次のバスまで 50 分近く待つときもあるなど、その利便性に問題を残しています。(住民アンケート調査:第4章 60 ページ参照)

また、「自家用車、バイク・原付を利用する方」と「公共交通を利用する方」の通院先を比較したとき、「公共交通」は「自家用車、バイク・原付」と同じ目的地まで行くことができず、住民にとって公共交通が移動手段の選択肢になっていないことが考えられます。加えて町内には早朝や深夜に利用できるタクシーが存在しない状況です。そのため、住民の移動手段のほとんどが使い勝手が良い自家用車となっています。(自分で自家用車を運転:通院 70.0%、買い物 77.4%。(住民アンケート調査:第4章 61 ページ参照))

なお、路線バス利用と自家用車利用で、奈義町役場と津山中央病院間の往復時間を比較すると、往路、復路ともに自家用車が路線バスの約 1/2(路線バス 44 分、自家用車 24 分。バス停の待ち時間を 10 分とした場合)となっています。

問題点④ 住民に公共交通の適切な情報が行き届いていない

さと丸乗り合い交通の認知度は住民全体で「知らない」が 27.5%、利用されない方の理由で「利用方法がわからない」が 7.9%となり、公共交通としてまだまだ認知されておらず、利用方法がわからず利用に至っていない方がおり、適切な情報が行き届いていないのが現状です。(住民アンケート調査:第4章 62、63 ページ参照)

問題点⑤ 専門的な資格を有する運転手が不足している

交通事業者のヒアリングより、公共交通の運転手には大型自動車免許や第二種運転免許等の有資格者が求められますが、交通事業者や物流事業者の間では慢性的な有資格者の人員不足が続いております。このことが、利便性の高い公共交通の運営に対する大きな支障となっています。

運転手が不足することで、公共交通の運行本数が減るなど、利便性の低下につながります。

5.2 課題の整理

「5.1 問題点の整理」で記載した問題点から課題を以下のように整理します。

課題① 移動手段として選ばれる利用しやすい公共交通の構築

問題点②より、希望どおりの外出が「あまりできていない・できていない」と回答された方のほとんどが高齢者であるため、高齢者が利用しやすい公共交通の構築が必要です。

また、問題点③より、公共交通は利用したい時間帯の運行本数が少なく、行きたい目的地まで行くことができず、日曜日には運行していない公共交通や、早朝や深夜の時間帯に利用できるタクシーが町内には無い状況です。

したがって、住民にとって公共交通が移動手段の選択肢となるためには、利用しやすい公共交通の構築が必須です。

【関連する問題点①、②、③、⑤】

課題② 利用者や住民にとってわかりやすい情報提供

問題点④で明らかなように現在の公共交通（さと丸乗り合い交通）の情報は、住民にいきわたっておらず、便利な交通手段であるにも拘わらず十分な利用につながっていません。

十分な広報やわかりやすい説明会の実施など、まずは、現在のサービスを広く住民に知って頂くことが重要です。

【関連する問題点②、④】

課題③ 公共交通の担い手となる運転手の確保

問題点⑤より、公共交通を運行させる運転手が不足しており、利用しやすい公共交通の担い手を確保することが急務です。

【関連する問題点⑤】

課題④ 公共交通を維持・確保するための財源確保

公共交通を運行させるためには、人材（運転手、オペレーター等）やハード整備（車両、バス停等）、燃料などが必要であり、これらを確保するための財源が必要です。近年では問題点①のように路線バスの補助額の増加や、燃料の高騰などの影響で財源確保が厳しい状況が続いており、利用者の増加による利用料金の増収と併せてこれらに対する対策が必要です。

【関連する問題点①、③、④】

第6章 地域公共交通の形成に向けた基本方針

6.1 地域公共交通のあるべき姿の整理

奈義町における地域公共交通のあるべき姿を下記のように整理します。

- ①: 誰もが必要なときに必要な移動ができる
- ②: 高齢者が安心して免許証を返納できる
- ③: 単に住民の移動のみならず、観光など奈義町の今後の振興、活性化にも貢献する
- ④: 公共交通が充実しているため、他からの移住者が安心して移住できる
- ⑤: 奈義町の強みである子育て支援を補完している
- ⑥: リアルタイムで公共交通の情報を取得できる
- ⑦: 他自治体との交流を活発にさせる
- ⑧: 住民誰もが奈義町の公共交通を知っている

6.2 地域公共交通が目指す将来像

上位・関連計画の基本目標などを踏まえ、奈義町の地域公共交通のあるべき姿や課題より、本計画が目指す将来像を設定します。

誰もがわかりやすく、安心して利用でき、共につくり、考える持続可能な公共交通

6.3 計画の基本方針

基本方針① 誰もが安心して利用できる、住民から選ばれる公共交通サービスづくり

- 公共交通を利用したい時間帯の運行本数を確保し、住民から選ばれる公共交通を目指します。
- 利用者にとって利用しやすいさと丸乗り合い交通を構築するために、日曜日の運行や新たな町外の乗降場所の設定などの検討を行います。
- 住民が移動する目的地は町内だけではなく、町外（特に津山市、美作市、勝央町）にもあり、これらの要求に対応していくために、他市町への移動手段としての路線バスやなぎバスの運行を維持します。
- 高齢化に伴い自分で自家用車を運転できなくなった方が、安心して運転免許を返納できるように、高齢者に優しい公共交通を構築します。
- 小学生が安全に通学するためや、その親が安心して学校に送り出すために、今後もスクールバスの運行を維持します。

【関連する課題①】

基本方針② 誰もがわかりやすく安心して利用できる、公共交通環境づくり

- 希望どおりの外出ができていない高齢者などにわかりやすく情報を提供します。
- 公共交通の乗り方教室を実施するなど、誰もが利用しやすい便利な交通手段として知っていただき、その利用を促進します。
- 情報案内板や広報紙、インターネット等の各種情報媒体については、ユニバーサルデザインに配慮するとともに、わかりやすい情報提供を充実させます。

【関連する課題②】

基本方針③ みんなで考え、共につくる、持続可能な公共交通の仕組みづくり

- 公共交通の維持に向けて、みんなで考え、共につくるために、交通事業者や奈義町だけではなく、住民や学識経験者、まちづくり組織を含めた産学官民の協働による取組を推進します。
- 運転手の確保に向けた対策を検討し、具体的な採用活動に活かします。
- 公共交通を運行させるための財源確保を継続的に検討します。また、限られた財源の中で効率的・効果的な運行を行うために、財源の観点からも運行方法の見直しを行います。

【関連する課題③、④】

基本方針④ 観光を支える公共交通の仕組みづくり

- 奈義町の賑わい創出の一助となるよう、観光客が利用しやすい公共交通を構築します。

【関連する課題①】

6.4 地域公共交通の将来イメージ



6.5 地域公共交通の位置づけ

(1) 交通手段の位置づけ

機能の分類	交通手段	位置づけ
広域幹線 (鉄道)	鉄道	◇町外にある JR 津山駅、勝間田駅、林野駅等を経由し、他都市への広域移動に対応する定時性のある交通手段。 ○広域幹線(バス)と連携し、近隣市町との連絡や広域移動を担う。
広域幹線 (バス)	路線バス (中鉄北部バス)	◇主に町内と津山市を直結する利便性が高い広域移動手段。 ○町内と津山市を結ぶ広域移動を担う。
	市町村運営有償運送 路線バス (なぎバス)	◇主に通学を目的とし、町内と美作市・勝央町を直結する利便性が高い広域移動手段。 ○町内と美作市・勝央町を結ぶ広域移動を担う。
支線 (地域内交通)	エリア型デマンド交通 (さと丸乗り合い交通)	◇町内の移動を支援する主要な交通手段。 ○身近な交通として、町内間の移動を担う。 (町外移動できるのは、日本原病院のみ)
その他	スクールバス	◇小学生の通学を目的とした交通手段。 ○通学生の登下校時に合わせた運行により、通学における移動を担う。(新設される町立こども園の児童の通園支援についても検討)

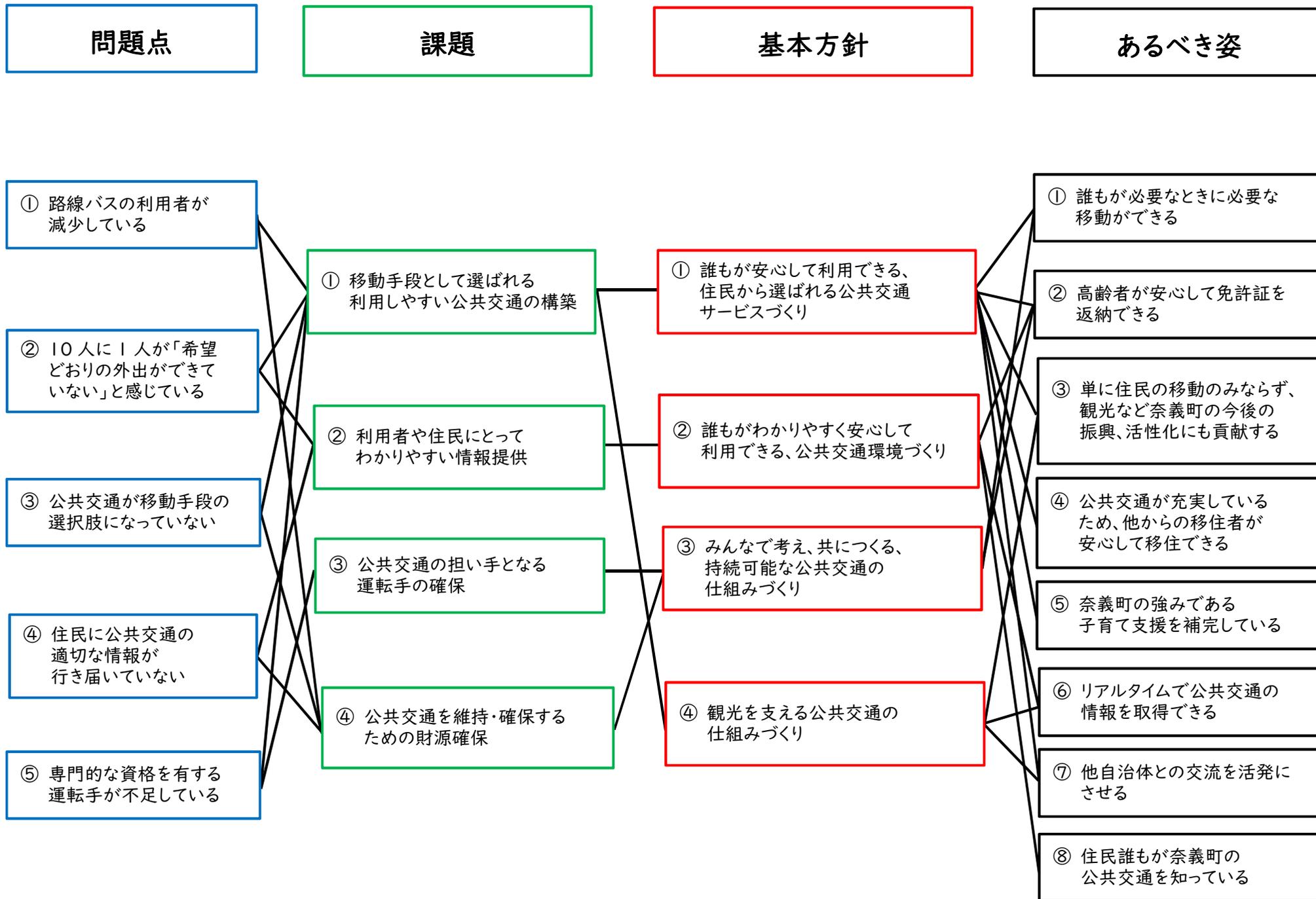
(2) 活用が見込まれる補助事業

地域公共交通確保維持事業(幹線補助)	充当する路線:行方・小坂線(津山駅～行方)
事業の必要性 ◇行方・小坂線は、奈義町と津山市の中心拠点を結ぶ広域幹線(バス)であり、地域間の交流を支えている。特に行方を発着する系統は、主に高校生が通学のために利用する移動サービスである。 ◇一方で、交通事業者の経営努力や奈義町からの支援だけでは将来にわたって路線を維持・確保することが困難であるため、地域公共交通確保維持事業(幹線補助)により、路線を維持・確保する必要がある。	
系統名	行方・小坂線(津山駅～行方)
種別	一般乗合旅客自動車運送事業
運行様態	路線定期運行
事業許可区分	第4条乗合
実施主体	中鉄北部バス

地域公共交通確保維持事業(フィーダー補助)	充当する路線:エリア型デマンド交通 さと丸乗り合い交通
事業の必要性 ◇さと丸乗り合い交通は奈義町内の移動を支援する支線(地域内交通)であり、身近な移動サービスである。 ◇一方で、奈義町からの支援だけでは将来にわたってさと丸乗り合い交通を維持・確保することが困難であるため、地域公共交通確保維持事業(フィーダー補助)により、エリア型デマンド交通を維持・確保する必要がある。	
系統名	エリア型デマンド交通 さと丸乗り合い交通 (運行エリア:奈義町内全域(個人宅含む)及び日本原病院)
種別	自家用有償旅客運送
運行様態	市町村運営有償運送(交通空白地有償運送)
事業許可区分	第79条
実施主体	奈義町

(3) 交通結節点の位置づけ

機能の分類	交通結節点	位置づけ
広域・地域内 交通結節点	ナギテラス	◇路線バス(中鉄北部バス)やなぎバスのバス停があり、これらの交通手段と、さと丸乗り合い交通との乗り換え場所となる交通結節点。 ○広域移動や町内への円滑な移動を支援する。



第7章 基本方針を実現するための施策・事業

7.1 施策・事業体系

基本方針	施策	事業
①誰もが安心して利用できる、住民から選ばれる公共交通サービスづくり	①広域交通の維持・確保	①路線バス（津山市方面）の運行維持・支援
	②通学手段の維持・確保	②なぎバスの運行改善 ③スクールバスの維持・確保
	③身近な交通手段の運行改善	④さと丸乗り合い交通の運行改善
	④早朝・深夜に利用できる交通手段の確保	⑤さと丸乗り合い交通の運行時間の拡大の検討【再掲】
②誰もがわかりやすく安心して利用できる、公共交通環境づくり	⑤モビリティマネジメントの実施	⑥乗り方教室の実施 ⑦観光施設やイベントとの連携
	⑥わかりやすい公共交通の情報提供	⑧広報紙を活用した定期的な情報提供 ⑨ホームページ等による情報提供 ⑩公共交通マップの作成
	⑦待合環境の整備	⑪バス停・ベンチ・上屋等の更新・改修【地域公共交通特定事業】
③みんなで考え、共につくる、持続可能な公共交通の仕組みづくり	⑧協働による公共交通の見直し	⑫奈義町地域公共交通会議の定期開催 ⑬地域公共交通の見直しに向けた意見聴取 ⑭目的地となる施設との情報交換
	⑨運転手の確保	⑮多様な働き方の検討 ⑯第二種運転免許の取得支援
④観光を支える公共交通の仕組みづくり	⑩観光との連携	⑰公共交通を利用した観光ルートやプランの設定 ⑱さと丸乗り合い交通の観光利用の検討

【地域公共交通特定事業】

→地域公共交通計画に基づき、事業者等が地方公共団体の支援を受けつつ実施する事業。利便性の高い地域旅客運送サービスの提供を図るための事業である「地域公共交通利便増進事業」や地域旅客運送サービスの継続を図る事業としての「地域旅客運送サービス継続事業」などがある。

7.2 施策・事業の主な内容

基本方針①	誰もが安心して利用できる、住民から選ばれる公共交通サービスづくり
施策①	広域交通の維持・確保
目的	奈義町内を運行する路線バスの利便性向上を図り、広域交通としての機能の強化を図り、町内外をスムーズに移動できるようにします。

事業名①	路線バス(津山市方面)の運行維持・支援															
事業の概要	<p>利用者のニーズを確認しながら、必要に応じてダイヤ改正を検討します。</p> <p>また、下記の内容についても検討します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇通学・通勤定期券購入者に対する支援 ◇高等学校等就学支援金事業の継続実施 ◇キャッシュレス化(ナギフトカード、交通系 IC カード、QR コード決済等) ◇ピーク時(特に夕方)のダイヤ確保 ◇新たな車両を購入する際は、バリアフリー対応や利用人数に応じた車両サイズ等を選択 ◇バスロケーションシステムの導入検討 															
実施主体	奈義町、交通事業者															
実施時期	<table border="1"> <thead> <tr> <th>令和6年度</th> <th>令和7年度</th> <th>令和8年度</th> <th>令和9年度</th> <th>令和10年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>キャッシュレス化の検討</td> <td></td> <td>バスロケーションシステムの導入検討</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>可能なことから随時実施</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度		キャッシュレス化の検討		バスロケーションシステムの導入検討				可能なことから随時実施		
令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度												
	キャッシュレス化の検討		バスロケーションシステムの導入検討													
		可能なことから随時実施														

▼ナギフト



キャッシュレス化を検討

たまる × 使える × 電子マネー

<p>お客様や加盟店、店舗でポイントがたまる!</p> <p>ポイントがたまる!</p> <p>ナギフトカード加盟店のご利用でポイントがたまる!</p>	<p>たまったポイントはナギフトカード加盟店で1ポイント=1円で使える!</p> <p>ナギフトポイントは、左記ナギフトカードマークが表示されたナギフトカード加盟店でご利用いただけます。</p>	<p>ナギフトカードにチャージして加盟店で電子マネーとしてご利用可能なカードでのお買い物で、お会計がスムーズ!</p> <p>指定のナギフトマネー加盟店等で現金をチャージすると、お財布いらずの電子マネーとしてご利用いただけます。</p> <p>ナギフトマネーは、左記ナギフトマネーカードマークが表示されたナギフトマネー加盟店でご利用いただけます。</p>
--	---	---

基本方針①	誰もが安心して利用できる、住民から選ばれる公共交通サービスづくり
施策②	通学手段の維持・確保
目的	児童・生徒が安全に通学するためや、その親が安心して学校に送り出すために、今後も通学するためのバスやスクールバスの運行を維持・確保します。

事業名②	なぎバスの運行改善															
事業の概要	<p>高等学校の始業や帰宅の時間に合わせたダイヤ改正を検討します。</p> <p>また、下記の内容についても検討します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇定期券の販売 ◇高等学校等就学支援金事業の継続実施 ◇キャッシュレス化(ナギギフトカード、交通系 IC カード、QR コード決済等) ◇部活動終了時に合わせた増便 															
実施主体	奈義町、交通事業者															
実施時期	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>令和6年度</th> <th>令和7年度</th> <th>令和8年度</th> <th>令和9年度</th> <th>令和10年度</th> </tr> <tr> <td colspan="2">部活動終了時に合わせた増便の検討</td> <td>キャッシュレス化の検討</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>可能なことから随時実施</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	部活動終了時に合わせた増便の検討		キャッシュレス化の検討					可能なことから随時実施		
令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度												
部活動終了時に合わせた増便の検討		キャッシュレス化の検討														
		可能なことから随時実施														

▼なぎバスの時刻表

なぎバス時刻表			
ナギテラス発 林野高校経由 勝間田駅行き	1便	3便	5便
1.ナギテラス	7:20	11:10	16:20
2.豊沢	7:21	11:11	16:21
3.奈義小前	7:22	11:12	16:22
4.柿	7:23	11:13	16:23
5.油尾	7:24	11:14	16:24
6.金面	7:25	11:15	16:25
7.屯地	7:27	11:17	16:27
8.観音堂	7:30	11:20	16:30
9.真加部上	7:30	11:20	16:30
10.真加部下	7:31	11:21	16:31
11.南町	7:32	11:22	16:32
12.河内	7:33	11:23	16:33
13.小畑	7:33	11:23	16:33
14.矢田	7:34	11:24	16:34
15.矢田下	7:35	11:25	16:35
16.広山口	7:37	11:27	16:37
17.和田	7:37	11:27	16:37
18.一色橋	7:38	11:28	16:38
19.吉	7:40	11:30	16:40
20.北山	7:42	11:32	16:42
21.美作インター	7:43	11:33	16:43
22.豊国原	7:44	11:34	16:44
23.ナンバ美作店前	7:45	11:35	16:45
24.明見東	7:46	11:36	16:46
25.林野駅前	7:48	11:38	16:48
26.栄町	7:49	11:39	16:49
27.林野高校	7:54	11:44	16:54
28.黒土上	8:02	11:52	17:02
29.勝間田高校	8:06	11:56	17:06
30.勝間田駅	8:07	11:57	17:07

勝間田駅発 林野高校経由 ナギテラス行き	2便	4便	6便
30.勝間田駅	8:30	12:20	17:35
29.勝間田高校	8:31	12:26	17:36
28.黒土上	8:35	12:30	17:40
25.林野駅前	8:40	12:35	17:45
26.栄町	8:41	12:36	17:46
27.林野高校	8:46	12:41	17:51
24.明見東	8:50	12:45	17:55
23.ナンバ美作店前	8:51	12:46	17:56
22.豊国原	8:52	12:47	17:57
21.美作インター	8:53	12:48	17:58
20.北山	8:54	12:49	17:59
19.吉	8:56	12:51	18:01
18.一色橋	8:58	12:53	18:03
17.和田	8:58	12:53	18:03
16.広山口	8:59	12:54	18:04
15.矢田下	9:01	12:56	18:06
14.矢田	9:02	12:57	18:07
13.小畑	9:02	12:57	18:07
12.河内	9:03	12:58	18:08
11.南町	9:04	12:59	18:09
10.真加部下	9:05	13:00	18:10
9.真加部上	9:06	13:01	18:11
8.観音堂	9:06	13:01	18:11
7.屯地	9:09	13:04	18:14
6.金面	9:11	13:06	18:16
5.油尾	9:12	13:07	18:17
4.柿	9:13	13:08	18:18
3.奈義小前	9:14	13:09	18:19
2.豊沢	9:15	13:10	18:20
1.ナギテラス	9:16	13:11	18:21

アンケート等で要望があった部活動終了時間帯の増便を検討

事業名③	スクールバスの維持・確保				
事業の概要	山間部の小学生が安全に通学するために、今後もスクールバスの運行を維持・確保します。 また、現在対象としている地区以外のニーズ調査を行うとともに、新設される町立こども園の児童の通園支援と合わせて、運行範囲についても検討します。				
実施主体	奈義町、交通事業者				
実施時期	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
			運行を維持・確保		

基本方針①	誰もが安心して利用できる、住民から選ばれる公共交通サービスづくり
施策③	身近な交通手段の運行改善
目的	主に高齢者の通院や公共施設への移動手段を確保するために、自宅付近の指定場所から目的地まで事前の予約に応じて運行する「デマンド型交通」を引き続き確保し、運行改善を行います。

事業名④	さと丸乗り合い交通の運行改善															
事業の概要	<p>利用者が増加傾向にあることから、利用者のニーズを見定めながら増便を検討します。また、下記の内容についても検討します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇料金の見直し ◇日曜日の運行 ◇運行時間の拡大 ◇観光客の利用推進 ◇キャッシュレス化(ナギフトカード、交通系 IC カード、QR コード決済等) ◇サブスクリプション(定額乗り放題)、回数券等 ◇新たな車両を購入する際、バリアフリー対応や利用人数に応じた車両サイズを選択 ◇効率的な運行のための配車システムの導入 ◇スマートフォンアプリを使った予約システムの導入 ◇運転員研修 															
実施主体	奈義町、交通事業者															
実施時期	<table border="1"> <thead> <tr> <th>令和6年度</th> <th>令和7年度</th> <th>令和8年度</th> <th>令和9年度</th> <th>令和10年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">配車システムを導入するための実証実験の実施</td> <td colspan="3">配車システムを導入した本格運行の開始</td> </tr> <tr> <td colspan="2">サブスクリプションの検討</td> <td colspan="3">可能なことから随時実施</td> </tr> </tbody> </table>	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	配車システムを導入するための実証実験の実施		配車システムを導入した本格運行の開始			サブスクリプションの検討		可能なことから随時実施		
令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度												
配車システムを導入するための実証実験の実施		配車システムを導入した本格運行の開始														
サブスクリプションの検討		可能なことから随時実施														

▼事例:デマンド交通カッピ어의りあい号(岡山県久米南町)

AIを活用した予約配車で便利!

運行時間内ならいつでも好きなときに利用できる!

時刻の定めがなくなり、いつでも、町内どこへでもけるように

時刻表なし

乗車の直前まで予約が可能に

いまからきて

さらに 電話だけでなく、スマートフォンで予約ができる!

電話で予約

予約受付番号
ダイヤル 0120-728-306

※ 必要情報
乗車場所
希望時刻

スマートフォンで予約

予約サイトのURLやQRコードなど詳しくは次のページで説明します。

配車システムの導入による運行の効率化

基本方針①	誰もが安心して利用できる、住民から選ばれる公共交通サービスづくり
施策④	早朝・深夜に利用できる交通手段の確保
目的	現在、奈義町内には早朝・深夜に利用できる交通手段がないため、確保に向けて取組を実施します。

事業名⑤	さと丸乗り合い交通の運行時間の拡大の検討【再掲】				
事業の概要	住民アンケート等を実施し、ニーズを見極めながら、さと丸乗り合い交通の運行時間の拡大を検討します。				
実施主体	奈義町				
実施時期	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	住民アンケートの実施		運行時間の拡大を検討	検討結果の反映	

基本方針②	誰もがわかりやすく安心して利用できる、公共交通環境づくり
施策⑤	モビリティマネジメントの実施
目的	モビリティマネジメントの実施を通じて、公共交通の認知度を高め、誰もが利用しやすく感じるようにし、利用促進を図ります。

モビリティマネジメントとは

公共交通の維持・活用や環境、あるいは個人の健康等の問題に配慮して、自家用車の利用に頼る状態から公共交通、自転車、徒歩に自発的に転換することを促す、コミュニケーションを中心とした交通施策です。

具体的には、地域、職場、学校等を対象に公共交通に関する情報提供、行動プランの提案、ワークショップの開催などを行い、公共交通の利用や自家用車の自粛などを促します。

事業名⑥	乗り方教室の実施				
事業の概要	<p>高齢者を主な対象とした「さと丸乗り合い交通」の乗り方教室を検討します。</p> <p>また、中学生を主な対象とした「路線バス」の乗り方教室を検討します。</p> <p>※特に、中学生が高等学校への進学先を選ぶ際、通学的手段として公共交通があることを認識し、進路の選択肢が増えるようにすることが重要です。また、通学的手段として日常的に利用できるよう、中学生の間に公共交通の使い方を知っておくことが大切と考えられます。</p>				
実施主体	奈義町、交通事業者、町民				
実施時期	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	 年2回実施				

▼事例：デマンド型乗合タクシー運行説明会（千葉県君津市）

千葉県君津市では、デマンド型乗合タクシー「きみびよん号」を運行している。運行はドアツードア型で観光目的でも利用できる。また、コミュニティバス廃止に伴い遠距離通学の小中学生の交通手段として、一部の時間帯でスクールバスとして活用している。

利用促進に向けた取組として、運行説明会を実証実験時に延べ38回、本運行時に4回開催している。

◆実証実験：平成23年11月～平成25年9月
◆本運行：平成25年10月～



「路線バス」や「さと丸乗り合い交通」の乗り方教室を検討

事業名⑦	観光施設やイベントとの連携				
事業の概要	観光施設や奈義町が主催・協賛するイベント案内には路線バスのダイヤなどを掲載し、公共交通の利用を呼びかけます。				
実施主体	奈義町、交通事業者				
実施時期	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	可能なことから随時実施			▶	

▼イベント情報



奈義町 菜の花まつり 2023

4/16 sun 10:00 - 15:00
奈義中央広場 すばーく奈義

自衛隊音楽隊 / 自衛隊周遊車 / 宝探し / 迷路 / グッズマーケット
ビュースポット / フォトコンテスト / 餅投げ
スポット所在地 岡山県岡田郡奈義町 滝本地区 / 豊沢地区など

主催 奈義町菜の花まつり2023 / お問い合わせ 0868-36-4114

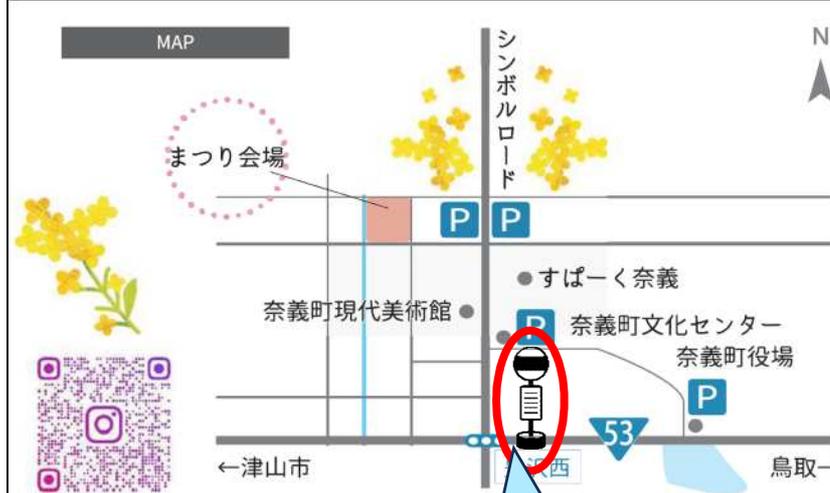
フォトコンテスト

対象：今年奈義町内で撮影された菜の花の写真
期間：4月中旬～4月28日
応募方法：応募表にご記入の上、奈義町役場産業振興課へデータを持参・郵送してください。
mail:nagi.nanohana@gmail.com



前回特選作品

MAP



まったり会場

シンボルロード

すばーく奈義

奈義町現代美術館

奈義町文化センター

奈義町役場

←津山市 西 鳥取→

詳しくは Instagram・HP▶ <http://www.town.nagi.oka.jp/kankou/nanohana2019.html>

バス停の位置図を入れる

路線バスの時刻表を入れ、利用を呼びかける

さと丸乗り合い交通を利用した観光についても検討【再掲】

【奈義町現代美術館】→【まったり会場】のバスダイヤ													
津山駅	山北	津山駅前	東津山	津山中央病院	津山センター	イオン津山	押入中	善光寺前	日本原	海本局前	ナギテラス	行方	方
7:06	—	—	7:13	—	7:16	—	7:18	7:30	7:32	7:37	7:40	7:44	—
8:30	—	—	8:38	—	8:41	—	8:44	8:48	9:00	9:02	9:07	9:10	9:14
9:25	—	—	9:33	—	9:36	—	9:39	9:43	9:55	9:57	10:02	10:05	10:09
10:25	—	—	10:33	10:39	10:42	10:45	10:49	11:01	11:03	11:08	11:11	11:15	—
11:25	—	—	11:33	11:39	11:42	11:45	11:49	12:01	12:03	12:08	12:11	12:15	—
12:25	—	—	12:33	12:39	12:42	12:45	12:49	13:01	13:03	13:08	13:11	13:15	—
13:25	—	—	13:33	13:39	13:42	13:45	13:49	14:01	14:03	14:08	14:11	14:15	14:18
14:25	—	—	14:33	14:39	14:42	14:45	14:49	15:01	15:03	15:08	15:11	15:15	15:18
(特)15:40	15:48	15:50	—	—	—	—	—	16:12	16:14	16:19	16:22	16:26	16:29
16:25	—	—	16:33	—	16:36	16:39	16:43	16:55	16:57	17:02	17:05	17:09	—
●(特)16:40	16:48	16:50	—	—	—	—	—	17:12	17:14	17:19	17:22	17:26	17:29
17:25	—	—	17:33	—	17:36	17:39	17:43	17:55	17:57	18:02	18:05	18:09	—
20:00	18:05	18:17	—	—	—	—	—	18:38	18:40	18:45	18:48	18:52	18:55
18:30	—	—	18:38	—	18:41	18:44	18:48	19:00	19:02	19:07	19:10	19:14	—
19:25	—	—	19:33	—	19:36	19:39	19:43	19:55	19:57	20:02	20:05	20:09	—
20:00	—	—	20:08	—	20:11	20:14	20:18	20:30	20:32	20:37	20:40	20:44	—

【さと丸乗り合い交通】のバスダイヤ													
小坂	行方	ナギテラス	海本局前	日本原	善光寺前	押入中	イオン津山	津山センター	津山中央病院	東津山	津山駅前	山北	津山駅
(特) 6:54	6:57	7:01	7:04	7:09	7:11	—	—	—	—	—	7:33	7:35	7:45
■(特) 7:06	7:10	7:13	7:16	7:20	7:22	—	—	—	—	—	7:38	7:40	7:50
(高) 7:12	7:15	7:19	7:22	7:27	7:29	—	—	—	—	—	7:50	7:52	8:00
7:45	7:48	7:52	7:55	8:00	8:02	8:14	8:16	8:19	8:25	—	—	—	8:33
8:21	8:25	8:28	8:33	8:35	8:47	—	—	8:49	8:52	8:58	—	—	9:06
9:26	9:30	9:33	9:38	9:40	9:52	9:56	9:59	10:02	10:08	—	—	—	10:16
11:06	11:10	11:13	11:18	11:20	11:32	11:36	11:39	11:42	11:48	—	—	—	11:56
12:06	12:10	12:13	12:18	12:20	12:32	12:36	12:39	12:42	12:48	—	—	—	12:56
13:06	13:10	13:13	13:18	13:20	13:32	13:36	13:39	13:42	13:48	—	—	—	13:56
14:06	14:10	14:13	14:18	14:20	14:32	14:36	14:39	14:42	14:48	—	—	—	14:56
15:06	15:10	15:13	15:18	15:20	15:32	15:36	15:39	15:42	15:48	—	—	—	15:56
16:06	16:10	16:13	16:18	16:20	16:32	16:36	16:39	16:42	16:48	—	—	—	16:56
17:06	17:10	17:13	17:18	17:20	17:32	17:36	17:39	—	—	—	—	—	17:50
18:06	18:10	18:13	18:18	18:20	18:32	18:36	18:39	—	—	—	—	—	18:50
19:06	19:10	19:13	19:18	19:20	19:32	19:36	19:39	—	—	—	—	—	19:50

【さと丸乗り合い交通をご利用の方へ】 特設所ナギテラスにおいて、中鉄バス/伊豆バスと相互利用される場合乗降特典として搭乗/入の料金を300円助成されます。

基本方針②	誰もがわかりやすく安心して利用できる、公共交通環境づくり
施策⑥	わかりやすい公共交通の情報提供
目的	公共交通の情報を町民や移住者にわかりやすく提供し、公共交通の認知度を高め、利用促進を図ります。

事業名⑧	広報紙を活用した定期的な情報提供				
事業の概要	「広報なぎ」において、公共交通に関する情報を定期的に掲載し、公共交通の現状や利用するメリット、利用の仕方などの情報を提供します。				
実施主体	奈義町、交通事業者				
実施時期	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	年4回程度掲載			→	

▼「広報なぎ」(上段:2022年2月号/
下段:2022年7月号)

▼事例:「広報みしま」2020年10月15日号
(静岡県三島市)

1/15 「さと丸乗合交通」利用者1万人達成!

「さと丸乗合交通」の利用者が1万人に達しました。
「さと丸乗合交通」は、乗車したい日時と場所、目的地を、事前に電話で予約することで、自宅付近などの指定場所まで車が迎えに来て、目的地まで送迎するデマンド型交通です。町内全域で運行しており、公共施設、商店、病院などへの移動にご利用いただいています。
令和元年7月1日に運行を開始して以来、多くの方に利用いただき、この度利用者延べ1万人を達成しました。



1万人目となった 上原福江さん(中殿西)

● 問い合わせ先 総務課 ☎36-4111 ●

特集 乗って守る地域公共交通
～三島市の地域公共交通の今～



問合せ 地域情報・安全課 ☎36-4111

■ 苦しい地域公共交通の現状
皆さんは最近、バス、タクシー、鉄道を利用していませんか。三島市内の地域公共交通がコロナの影響もあり、利用者が減少し、現状の交通網を維持することが困難となっています。各事業者は人口減少社会を見据えて、将来的な利用者減少に備えていますが、突然の利用客の大幅な減少に直面し、このままの状況が続くと地域公共交通の存続に影響を及ぼしかねません。この特集では、私たちの暮らしに欠かせない存在である地域公共交通の魅力や必要経路について改めて考えます。

■ 地域公共交通は街の循環
「学校に行こう」「病院に行こう」「買い物したい」といったように、人が何かをするには移動が必要になります。地域の人の移動が活発になれば街は明るく、魅力の向上にもつながりますが、反対に停滞してしまいます。街全体が衰退していき、そうした流れを作る地域公共交通は人間で例えると血脈のような重要な役割を担っていると言えます。

地域公共交通の負のスパイラル
公共交通利用者の減少 → 交通事業者の収益の悪化 → 公共交通サービスの低下 → 公共交通利用者の減少

三島市コミュニティバスの乗車人数の推移
乗車人数(千人)
175
170
165
160
155
150
145
100 101 102 103 104 105 106 107 108 109 110 111 112 113 114 115
年々減少

2020.10.15 | 広報みしま 6

さと丸乗り合い交通 祝運行3周年!

皆様にご利用いただいているデマンド(予約)型乗合交通「さと丸乗り合い交通」が、7月1日で運行3周年を迎えました。

<これまでのあゆみ>

- ・令和元年7月 実証運行開始(1日8便)
- ・令和2年4月 本格運行開始(1日15便)
- ・令和3年4月 土曜日運行の開始(1日15便 土曜日のみ11便)
- ・令和4年1月 利用者延べ1万人達成

<利用者の声>

- ・「通院や買い物に利用している。家まで送迎してくれて感謝」
- ・「土曜日運行があって助かる」
- ・「運転免許を返したら積極的に利用したい。このような仕組みがあると安心」

今後も皆様のご意見を聴かせていただき、ナギフトカードでの支払導入や運行体系の見直し等、より使いやすい交通手段を目指してまいります。安心・安全な運行を第一に心がけ、皆様のご利用をお待ちしております。

● 問い合わせ先 総務課 ☎36-4111 ・ 予約専用ダイヤル 0120-310-531 ●

公共交通についての情報発信が
散発的になっている

4ページにわたって、
公共交通の現状・メリット・運行先について
わかりやすく情報提供されている

事業名⑨	ホームページ等による情報提供				
事業の概要	奈義町のホームページに公共交通専用のコーナーを追加し、わかりやすい情報を提供するとともに、町公式アプリケーションを活用しながら迅速な情報発信を行います。 また、交通事業者のホームページにおいても、わかりやすい情報を提供します。				
実施主体	奈義町、交通事業者				
実施時期	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	町のHPに公共交通専用のコーナーの追加		必要に応じて随時更新(奈義町)		
			必要に応じて随時更新(交通事業者)		

▼奈義町ホームページ



公共交通専用のホームページを開設することで、情報をまとめて取得できる

▼事例：公共交通専用のホームページ(香川県坂出市)



▼中鉄バスホームページ

(中鉄北部バスの路線バスの情報)



以下の基本情報を提供しつつ、拡張情報についても検討します。

「基本情報」

- ・路線図、時刻表、料金表、乗り方

「拡張情報」

- ・運行状況(悪天候や事故等に伴う運休について)
- ・公共交通と関連したイベント等に関する情報
- ・観光地その他の地域情報 等

基本方針②	誰もがわかりやすく安心して利用できる、公共交通環境づくり
施策⑦	待合環境の整備
目的	誰もが安心して利用できるように、待合環境の整備に努めます。

事業名①	バス停・ベンチ・上屋等の更新・改修【地域公共交通特定事業】				
事業の概要	必要に応じて、バス停・ベンチ・上屋等の更新・改修を検討します。 また、交通結節点になるナギテラスに、バス案内デジタルサイネージ(バスロケーションの表示)の設置を検討します。				
実施主体	奈義町、交通事業者				
実施時期	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	可能なことから随時実施			バスロケーションシステムの導入検討	

▼事例:バス停「ナギテラス」



▼事例:デジタルサイネージ(徳島県三好市)



バスナビゲーションシステムの表示域
バスのリアルタイム運行情報を表示します。

インフォメーションの表示域
交通事業者からのお知らせをテロップ表示します。

基本方針③	みんなで考え、共につくる、持続可能な公共交通の仕組みづくり
施策⑧	協働による公共交通の見直し
目的	奈義町や交通事業者・関係者・町民の協働によって、公共交通の持続可能な運営や利便性を向上させます。

事業名⑫	奈義町地域公共交通会議の定期開催				
事業の概要	<p>毎年、奈義町地域公共交通会議を開催し、意見交換や議論を通じて利用者や町民のニーズ等の情報共有を行い、公共交通の運行内容への反映や利用促進策などを検討します。</p> <p>【検討内容の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇運行計画など各種情報の共有 ◇ダイヤ改正 ◇料金体系の見直し ◇乗継などの現状改善 ◇先行事例調査、勉強会 等 				
実施主体	奈義町、交通事業者、関係者、町民代表、利用者代表				
実施時期	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
					
			年2回以上の開催		

▼奈義町地域公共交通会議の様子



事業名⑬	地域公共交通の見直しに向けた意見聴取				
事業の概要	<p>毎年実施している「町民まんぞく量調査」の補足調査を行い、公共交通の運行内容の改善や町民ニーズの把握に努めます。</p> <p>また、町ホームページ内の投稿フォームを作成、行政懇談会の場におけるヒアリング等により、広く地域住民からの意見を聴く場を設けます。</p>				
実施主体	奈義町、交通事業者、町民				
実施時期	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	年1回以上の開催			➔	

▼町民まんぞく量調査結果の紹介(広報なき)



事業名⑭	目的地となる施設との情報交換				
事業の概要	<p>目的地となる医療・商業施設などにヒアリングを実施し、公共交通の利用者の状況や利用促進などについて情報交換を行います。</p>				
実施主体	奈義町、交通事業者、関係施設				
実施時期	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	年1回以上の実施			➔	

基本方針③	みんなで考え、共につくる、持続可能な公共交通の仕組みづくり
施策⑨	運転手の確保
目的	現状、運転手の確保が難しい状況であるため、公共交通サービスの品質や継続性に影響を与えないように、運転手確保のための処遇改善に努めます。

事業名⑮	多様な働き方の検討															
事業の概要	働きやすさの向上や女性活躍といった観点から、時短勤務制の導入や女性乗務員の積極採用等を検討します。 また、自衛隊関係者にも働きかけながら、公共交通の担い手を確保します。															
実施主体	奈義町、交通事業者															
実施時期	<table border="1"> <thead> <tr> <th>令和6年度</th> <th>令和7年度</th> <th>令和8年度</th> <th>令和9年度</th> <th>令和10年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>■</td> <td>■</td> <td>■</td> <td>■</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>可能なことから随時実施</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	■	■	■	■	■			可能なことから随時実施		
令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度												
■	■	■	■	■												
		可能なことから随時実施														

事業名⑯	第二種運転免許の取得支援															
事業の概要	津山圏域公共交通連絡協議会にて実施している「津山圏域第二種免許取得支援補助金」について、継続実施を検討します。 当該補助金についての周知を行い、活用を推進します。															
実施主体	津山圏域公共交通連絡協議会															
実施時期	<table border="1"> <thead> <tr> <th>令和6年度</th> <th>令和7年度</th> <th>令和8年度</th> <th>令和9年度</th> <th>令和10年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>■</td> <td>■</td> <td>■</td> <td>■</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>定例会議の場で継続検討</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	■	■	■	■	■			定例会議の場で継続検討		
令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度												
■	■	■	■	■												
		定例会議の場で継続検討														

基本方針④	観光を支える公共交通の仕組みづくり
施策⑩	観光との連携
目的	観光地への需要に対応し、既存の公共交通の活用のあり方や新たな交通手段について検討し、幅広い観光客のニーズに応えた仕組みを構築します。

事業名⑰	公共交通を利用した観光ルートやプランの設定											
事業の概要	観光客の増加と公共交通の利用を促進するため、周辺自治体や交通事業者と連携し、公共交通を利用した観光ルートやプランの設定を検討します。											
実施主体	奈義町、周辺自治体、交通事業者											
実施時期	<table border="1"> <thead> <tr> <th>令和6年度</th> <th>令和7年度</th> <th>令和8年度</th> <th>令和9年度</th> <th>令和10年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">→ 周辺自治体や交通事業者との協議</td> <td>→ 観光ルートやプランの設定を検討</td> <td colspan="3">→ 検討結果の反映</td> </tr> </tbody> </table>	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	→ 周辺自治体や交通事業者との協議		→ 観光ルートやプランの設定を検討	→ 検討結果の反映		
令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度								
→ 周辺自治体や交通事業者との協議		→ 観光ルートやプランの設定を検討	→ 検討結果の反映									

事業名⑱	さと丸乗り合い交通の観光利用の検討																				
事業の概要	観光イベント開催時における臨時便の導入、町内の観光スポット周遊ツアー等、さと丸乗り合い交通の観光客向け周知と体制整備について検討します。																				
実施主体	奈義町、交通事業者																				
実施時期	<table border="1"> <thead> <tr> <th>令和6年度</th> <th>令和7年度</th> <th>令和8年度</th> <th>令和9年度</th> <th>令和10年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>→ 体制整備</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">-----</td> <td>-----</td> <td>-----</td> <td>→</td> </tr> <tr> <td colspan="5">可能なことから随時実施</td> </tr> </tbody> </table>	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	→ 体制整備					-----		-----	-----	→	可能なことから随時実施				
令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度																	
→ 体制整備																					
-----		-----	-----	→																	
可能なことから随時実施																					

▼観光イベント開催時における臨時便の導入を検討



第 8 章 基本方針の評価指標と進捗管理

8.1 基本方針の評価指標の設定

(1) 計画全体の評価指標

本計画の実現化を図るため、計画期間中に達成すべき基本方針の評価指標及び目標値を設定します。計画全体の評価指標は、基本方針1～4の施策・事業を実施した結果を確認する指標とします。評価は、奈義町地域公共交通会議にて行います。

計画全体の評価指標① 地域間幹線（行方・小坂線（中鉄北部バス運行））の経常収支率

指標	現状値 (令和4年度)	目標値 (令和10年度)	目標値の考え方
収支率(%)	42.1	42.1	利用者ニーズに合わせた運行と利用促進を行い、現状の利用者数の維持し、収支状況の改善・維持を目指す。

データ取得方法：中鉄北部バスの保有データ

計画全体の評価指標② なぎバス・さと丸乗り合い交通の経常収支率

指標	現状値 (令和4年度)	目標値 (令和10年度)	目標値の考え方
収支率(%)	12.0	12.0	利用者ニーズに合わせた運行と利用促進を行い、現状の利用者数の維持・増加させ、収支状況の改善・維持を目指す。

データ取得方法：町の保有データ

計画全体の評価指標③ 地域間幹線（行方・小坂線（中鉄北部バス運行））に対する町の負担額

指標	現状値 (令和4年度)	目標値 (令和10年度)	目標値の考え方
事業者への補助額 (千円)	8,301	8,300 以下	利用者の増加を図ることで収支状況の改善を目指し、町の負担額を抑え、他の公共交通サービスに資源を再配分する。

データ取得方法：町の保有データ

計画全体の評価指標④ なぎバス・さと丸乗り合い交通の運行事業費

指標	現状値 (令和4年度)	目標値 (令和10年度)	目標値の考え方
運行事業費(千円)	25,871	25,871 以下	利用者の増加を図り、収支状況の改善を目指す。

データ取得方法：町の保有データ

計画全体の評価指標⑤ 路線バス・なぎバスの年間利用者数

指標	現状値 (令和4年度)	目標値 (令和10年度)	目標値の考え方
行方・小坂線の 年間輸送人員(人)	109,460	109,400	人口減少に伴い、通学・通勤・通院での 利用者の減少が見込まれるが、通学費 用の補助や観光情報を含むわかりやす い情報提供など、利用者ニーズに合わ せた運行と利用促進を行い、現状の利 用者数の維持を目指す。
なぎバスの 年間利用者数(人)	5,631	5,600	

データ取得方法:中鉄北部バスの保有データ(行方・小坂線)

データ取得方法:町の保有データ(なぎバス)

計画全体の評価指標⑥ さと丸乗り合い交通の年間利用者数

指標	現状値 (令和4年度)	目標値 (令和10年度)	目標値の考え方
年間利用者数(人)	5,718	8,000	休日の増便等利用者ニーズに合わせた 運行を進めることで、利用者の増加を 目指す。

データ取得方法:町の保有データ

計画全体の評価指標⑦ 町民まんどく量調査における公共交通の評価値

指標	現状値 (令和5年度)	目標値 (令和10年度)	目標値の考え方
公共交通機関が乗りや すく便利である(バス・汽 車など)(%)	47.7	52.5	毎年町が実施する「町民まんどく量調 査」における調査項目『公共交通が乗 りやすく便利である』の値を現状の1割 程度向上させる。なお、まんどく量が低 い理由について補足調査を実施する。

データ取得方法:町の保有データ(町民まんどく量調査)

(2) 基本方針の評価指標

各基本方針の評価指標を設定し、施策・事業の評価を行います。

基本方針①の評価指標

指標	現状値 (令和4年度)	目標値 (令和10年度)	目標値の考え方
さと丸乗り合い交通の認知度(%)	72.5	80.0	町広報紙や乗り方教室の実施により、公共交通としての認知度を高める。 ※評価は町民まんどく量調査の補足調査にて行う。

データ取得方法:町の保有データ(町民まんどく量調査)

基本方針②の評価指標

指標	現状値 (令和5年度)	目標値 (令和10年度)	目標値の考え方
乗り方教室の実施(回)	0	年2回程度	さと丸乗り合い交通の主な利用者である高齢者向けに乗り方教室を開催する。
広報紙による情報提供(回)	0	年4回程度	公共交通の情報を定期的に掲載する。
町ホームページに公共交通専用ページを開設	未開設	開設	時刻表、運行実績、イベント情報等を集約したページを開設する。
公共交通マップの作成	未作成	作成	町内公共交通に関するすべての情報を網羅したわかりやすく携帯可能な公共交通マップを作成する。

データ取得方法:町の保有データ

基本方針③の評価指標

指標	現状値 (令和5年度)	目標値 (令和10年度)	目標値の考え方
目的地となる施設との情報交換の実施(回)	0	年1回	医療・商業施設などにヒアリングを実施し、公共交通の利用者などについて情報交換を行う。
第二種運転免許取得支援交付金の交付件数(人)	0	年1人	本制度の活用を促進し、年間1人程度の活用者を確保することで、バス等運転員の就職を支援する。

データ取得方法:町の保有データ(目的地となる施設との情報交換)

データ取得方法:津山圏域公共交通連絡協議会の保有データ(第二種運転免許取得支援交付金)

基本方針④の評価指標

指標	現状値 (令和5年度)	目標値 (令和10年度)	目標値の考え方
既存イベント告知時の公共交通利用案内(件)	0	年3件	既存のイベントに公共交通による来場者を増加させるため、イベントチラシ等に情報を掲載する。
さと丸乗り合い交通を利用した観光スポット周遊ツアーの開催(件)	0	年1件	町内の観光スポット(現代美術館、なぎビカリアミュージアム、菜の花畑等)を巡るツアーを開催する。

データ取得方法:町の保有データ

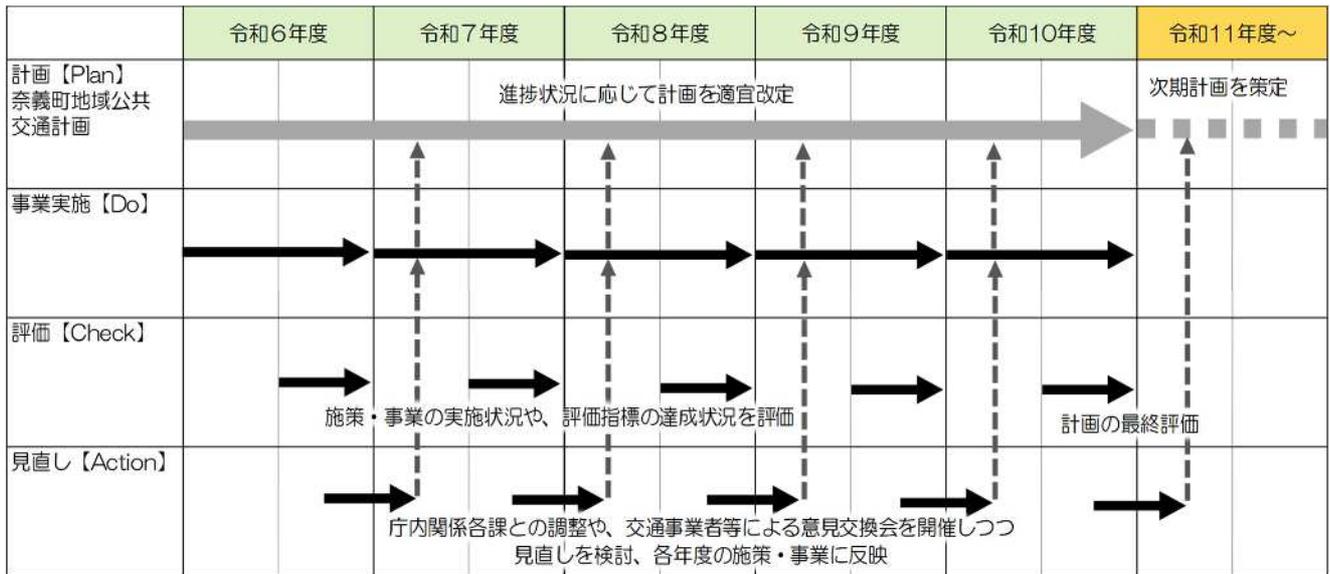
8.2 計画の実施及び進捗管理の体制

(1) 計画の実施

計画の進捗状況の報告・評価は、PDCA サイクルにもとづき、毎年度実施する奈義町地域公共交通会議において実施します。

また、計画の進捗状況を踏まえて庁内関係各課との調整や、交通事業者等による意見交換会を開催し、施策・事業の実効性の向上や実態に合った計画の見直しを図ります。

▼PDCA サイクルのイメージ



(2) 計画の進捗管理

本計画の進捗管理は、奈義町地域公共交通会議により行います。

(奈義町地域公共交通会議)

委員及び専門員 20 人以内で構成

・ 委員

- (1) 町長及び町長が指名する職員
- (2) 一般旅客自動車運送事業者の代表
- (3) 一般旅客自動車運送事業者の運転手が組織する団体の代表
- (4) 住民又は利用者の代表
- (5) 道路管理者が指名する者
- (6) 美作警察署長が指名する者
- (7) 学識経験者
- (8) その他町長が特に必要と認める者

・ 専門員

中国運輸局岡山運輸支局ほか公共交通に関し専門的な知識を有する者

○奈義町地域公共交通会議設置要綱

平成24年6月1日

要綱第10号

改正 令和4年12月22日 要綱第39号

(目的)

第1条 道路運送法(昭和26年法律第183号)の規定に基づき、地域における需要に応じた住民の生活に必要なバス等の旅客輸送の確保その他旅客の利便の増進を図り、地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項を協議するとともに、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律(平成19年法律第59号)第6条第1項の規定に基づき、地域旅客運送サービスの持続可能な提供の確保に資する地域公共交通の活性化及び再生を推進するための計画(以下「交通計画」という。)の作成に関する協議を行うため、奈義町地域公共交通会議(以下「交通会議」という。)を設置する。

(協議事項)

第2条 交通会議は、次に掲げる事項を協議するものとする。

- (1) 地域の実情に応じた適切な乗合旅客運送の態様及び運賃・料金等に関する事項
- (2) 町運営運送の必要性及び旅客から収受する対価に関する事項
- (3) 交通計画の策定、変更の協議に関する事項
- (4) 交通計画の実施に係る協議に関する事項
- (5) 交通計画に位置付けられた事業の実施に関する事項
- (6) 交通会議の運営方法その他交通会議が必要と認める事項

(組織)

第3条 交通会議は、委員及び専門員20人以内で構成する。

2 委員は、次の各号に掲げるものについて町長が委嘱する。

- (1) 町長及びその指名する者
- (2) 一般旅客自動車運送事業者の代表

- (3) 一般旅客自動車運送事業者の運転手が組織する団体の代表
 - (4) 住民又は利用者の代表
 - (5) 道路管理者が指名する者
 - (6) 美作警察署長が指名する者
 - (7) 学識経験者
 - (8) 前各号に掲げる者のほか、町長が特に必要と認める者
- 3 専門員は、中国運輸局岡山運輸支局ほか公共交通に関し専門的な知識を有する者であり、町長が必要と認めた者とする。

(任期)

第4条 委員の任期は、委嘱の日から2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任することができる。

(会長及び副会長)

第5条 交通会議に会長及び副会長1人を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選により定める。

3 会長は、交通会議を代表し、会務を総理する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 会議は、必要に応じて会長が招集し、会長が議長となる。

2 会議を招集するときは、委員に対し、会議の目的たる事項及び内容並びに日時及び場所等を通知しなければならない。

3 会議は、委員の過半数の出席がなければ開くことができない。

4 前各項の規定にかかわらず、緊急その他やむを得ない事由により会議の招集が困難と会長が認める場合には、書面又は電磁的記録による会議(以下、「書面会議等」という。)により開催することができる。

(議決)

第7条 会議の議決の方法は、委員による全会一致を原則とする。

2 前項により難しい場合は、出席した委員の過半数の同意をもって決し、可否同数のときは、議長がこれを決する。

3 やむを得ない理由により会議に出席することができない委員は、あらかじめ通知された事項について、書面をもって表決し、又は他の委員を代理人として表決を委任することができる。この場合に

において、前2項の規定の適用については、出席したものとみなす。

(協議結果の取扱い)

第8条 会議において協議が調った事項について、委員及び関係者はその結果を尊重し、当該事項の誠実な実施に努めるものとする。

(会議の公開)

第9条 会議は原則として公開とする。ただし、開催日時及び場所、議題、協議の概要、合意事項等を記載した議事概要の公開をもってこれに代えることができる。

(幹事会)

第10条 交通会議は、申請内容その他交通会議の運営に当たって必要な事項を処理するため、幹事会を置くことができる。

2 幹事会の構成員は、委員の中から会長が選任する。

3 幹事会は、必要に応じて、関係者を招集し意見を聞くことができる。

4 幹事会は、申請内容の事前審査、交通会議の円滑な運営のための方法の審査を行い、幹事会において審査した事項に関して交通会議に報告する。ただし、運行回数及び運行時刻の変更等、関係者の合意に関する事項を除くものについては、幹事会で審査したものをもって、交通会議の議決とみなし、書面をもって各委員に通知するものとする。

(事務局)

第11条 交通会議の事務局を総務課に置く。

(その他)

第12条 この要綱に定めるもののほか、交通会議の運営に関して必要な事項は会長が交通会議に諮り定める。

附 則

この要綱は、公布の日から施行する。

附 則(令和4年12月22日要綱第39号)

この規則は、公布の日から施行する。

奈義町地域公共交通会議 委員名簿

令和6年3月現在

区分	所属	役職	氏名
会長	奈義町	町長	奥 正親
副会長	岡山大学学術研究院 環境生命自然科学学域	教授	橋本 成仁
委員	奈義町	副町長	金田 知巳
委員	中鉄北部バス株式会社	営業部長	難波 昭裕
委員	岡山県タクシー協会	津山支部 会長	下山 武紀
委員	中鉄北部バス株式会社	運転者労働組合 書記長	船本 充
委員	一般社団法人ビジット奈義	代表理事	磯田 卓志
委員	奈義町区長会	会長	水島 和文
委員	奈義町区長会	副会長	芦田 潤治
委員	奈義町区長会	副会長	延原 健
委員	公共交通利用者	さと丸乗り合い交通 利用者	上原 婦じ江
委員	岡山県美作県民局建設部 勝英地域管理課	課長	中山 昌則
委員	美作警察署交通課	課長	中島 亮
委員	奈義町 こども・長寿課	課長	中井 正和
専門員	中国運輸局岡山運輸支局	首席運輸企画専門官	吉田 奈美
専門員	岡山県県民生活部 県民生活交通課	主事	西村 良太

